

# KAWASAKI CITY MUSEUM ANNUAL REPORT

2014.4-2015.3

平成 26 年度

## 川崎市市民ミュージアム年報

はじめに	3
概 要	4
平成 26 年度市民ミュージアム組織表	5
展示・上映	
1 企画展	6
2 アートギャラリー展示	12
3 博物館展示（考古・歴史・民俗）	15
4 マンスリー展示	16
5 特集展示	16
6 館外展示	16
7 ミュージアムライブラリー（映像・図書）	17
8 映画上映	17
9 ビデオ・DVD 上映	20
10 ミニホール ビデオ上映	22
11 他団体の展示等	25
収集・整理・保存	
1 収集	25
2 整理・保存・修復	26
3 収蔵品の貸出・他館への協力	27
調査研究	
1 調査研究	30
2 出 版	31
職員の派遣	32
教育・普及	
1 教育普及	33
2 実習生の受入れ	39
3 イベント	39
4 広報活動	40
5 友の会	41
資料	
川崎市市民ミュージアム条例	43
川崎市市民ミュージアム条例施行規則	46
企画展一覧	49
ギャラリー展示一覧	52
特別資料室展示一覧	55
企画上映一覧（映画）	56
平成 26 年度市民ミュージアム利用者統計表	62
平成 26 年度歳出予算	63
川崎市市民ミュージアム協議会	64
川崎市市民ミュージアム資料等収集委員会	64
川崎市市民ミュージアム資料等評価委員	65
かわさき市美術展運営委員会	65
施設概要	66
職 員	67



## はじめに

川崎市市民ミュージアムは、博物館と美術館の複合施設として昭和63年（1988年）11月に開館して以来、博物館・美術館の2つの側面から収集されたコレクションと独自性のある企画を館の特色として、様々な事業を展開してきました。

川崎市は平成26年に市制90周年を迎え、当館では、市制90周年事業として、近代川崎の発展の礎を築いた人々にスポットをあて、近代川崎の姿をその人物像からひも解き紹介した展覧会「近代川崎人物伝」を開催しました。この他にも、横尾作品におけるポートレイトの特質とその魅力に迫る展覧会「横尾忠則 肖像図鑑」、油絵の持つ表現の可能性を探り続けてきた画家・田中 岑の稀有なる色彩表現と質感が織りなす作品を展示した回顧展「いろいろ、そうそう－田中 岑展」、日清・日露戦争の開戦から、120年・110年の節目の年に、錦絵、風刺画、写真などで当時の戦争の伝え方を紹介した「日清・日露戦争とメディア展」、光と最新のデジタル技術を駆使した参加型の現代アートの展覧会「魔法の美術館 ひかりのたまてばこ」など、様々な分野にわたる展示を意欲的に行いました。

また「アートとあそぼう」をテーマに子供から大人まで、どんな人でも身近にアートを楽しめ、来場者がアートに触れ、アートを体験し、アートを感じ、アートを語り合う場として、『BRA－BA！（ブラーバ）2014』かわさきアートフェスティバルを開催しました。

この他にも、子育て中の親同士が、気軽に情報交換できる「ママカフェ」や、小さなお子様と一緒に展示を鑑賞いただける「ベビーカートゥアー」、障がいのある方もない方も楽しめる「福祉プログラム」など幅広い来館者のサポートにも力を入れています。

市民ミュージアムは、これまで推進してきた、「全国に発信できるミュージアム」、「市民文化の伝承と創造の発信拠点としてのミュージアム」、「地域の活性化に貢献できる拠点としてのミュージアム」の3つのめざす姿を再確認するとともに、市民ミュージアムがより皆様に愛されご利用頂けるよう、「文化芸術を活かしたまちづくりの拠点」として、地域の活性化を推進する取り組みを展開してまいります。

皆様の御理解と御支援を賜りますよう、今後ともよろしくお願い申し上げます。

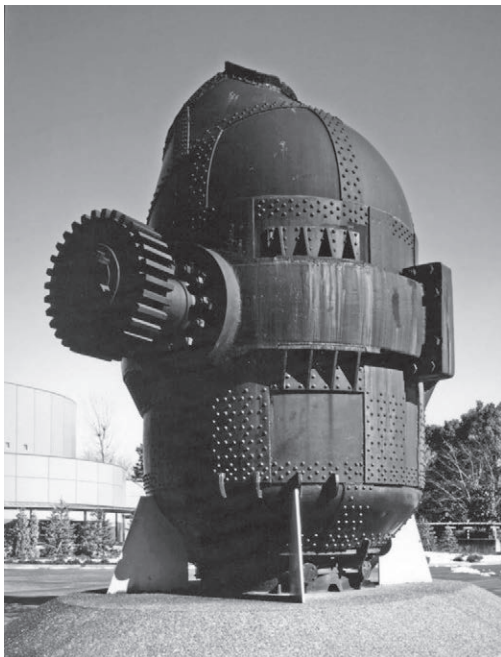
川崎市市民ミュージアム  
館長 澤村 正彦

## 概要

川崎市市民ミュージアムは1988（昭和63）年11月、「都市と人間」を基本テーマに開館した。

都市は、さまざまな人が集まり次々と新しい文化を生み出している。市民ミュージアムは、都市の発展過程やそこで生まれ育った文化を見つめるための資料や作品を収集・展示・調査・研究している。

特に、今日私たちの暮らしに深い関わりをもち、都市文化の形成に大きな役割を果たしてきたポスター、版画、写真、漫画、映画、ビデオといった複製技術による芸術作品、川崎に関連する考古・歴史・民俗資料及び芸術家の作品を対象に基本テーマを追求するほか、市民ミュージアムの情報を活用しながら、利用者が楽しく学習できるような学習講座も行っている。



トーマス転炉（日本鋼管 現 J F E 寄贈）

英国人シドニー・G・トーマスが発明した燐を含む鉄鉱石の製鋼炉。

1937年から1957年（昭和12年から32年）まで稼働。日本の鉄鋼業界の発展に大きく貢献。京浜工業地帯発展史のなかでも象徴的な産業遺産といえる。

## 沿革（開館まで）

1980年（昭和55年）

川崎市博物館構想委員会を設置（担当教育委員会）

漫画・写真・映像文化センター構想を発表（担当企画調整局）

1981年（昭和56年）

川崎市博物館基本構想を策定

現代映像文化センター基本構想を策定

1982年（昭和57年）

川崎市博物館建設調査委員会を設置（教育委員会）

し、同時に展示基本計画書を策定

現代映像文化センター基本計画委員会を設置（企画調整局）し、基本計画を策定

1983年（昭和58年）

川崎市博物館資料収集委員会（教育委員会）、現代映像文化センター収集委員会を設置（企画調整局）し、

収集事業がスタート両計画を一体化するため、仮称川崎市博物館・現代映像文化センター一体化に関わる委員会を設置（企画調整局）し、基本計画を策定

1985年（昭和60年）3月  
建築基本設計を完了

1985年（昭和60年）3月  
展示基本設計を完了

1985年（昭和60年）4月  
教育委員会に市民ミュージアム準備事務室が発足

1985年（昭和60年）11月  
建築実施設計を完了

1985年（昭和61年）3月  
展示実施設計を完了

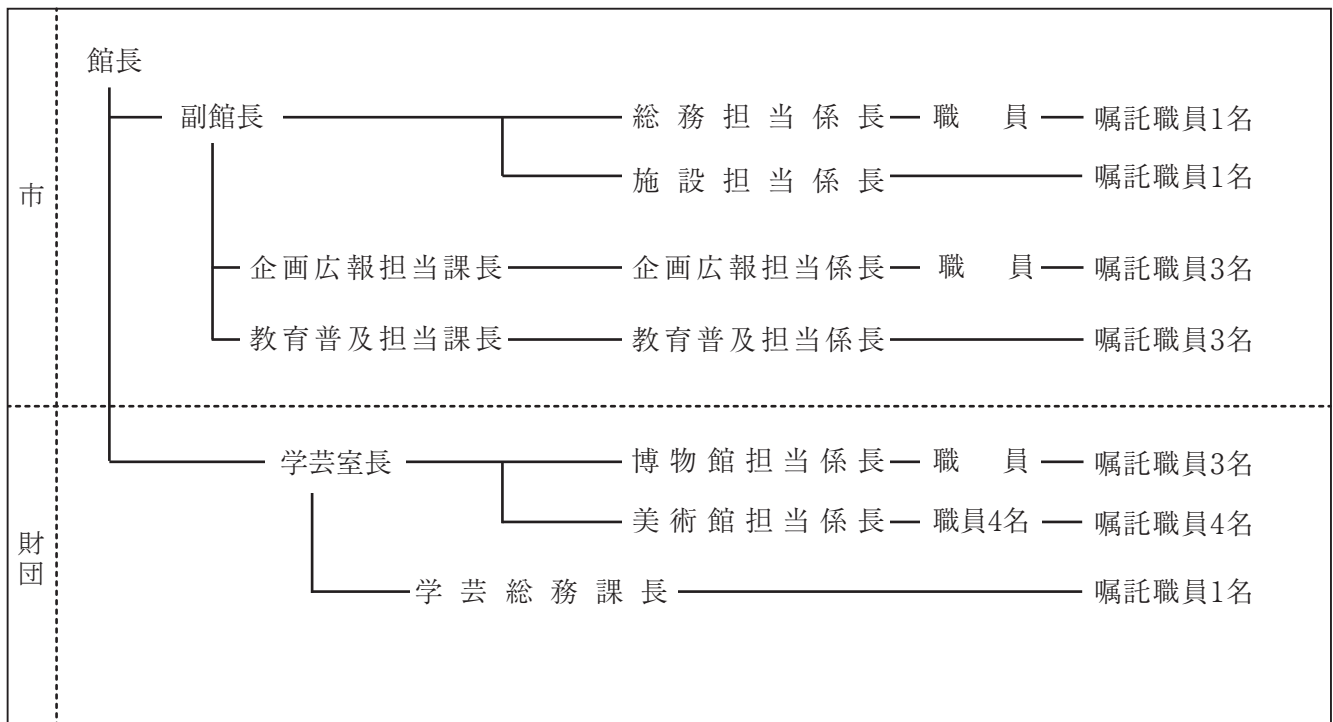
1986年（昭和61年）3月  
建築工事着手

1987年（昭和62年）7月  
展示工事着手

川崎市市民ミュージアム条例を制定

1988年（昭和63年）11月  
川崎市市民ミュージアム開館

平成26年度 市民ミュージアム組織表



# 展示・上映

## 1 企画展

### 市制 90 周年記念 近代川崎人物伝

〔会 期〕 6月7日～8月24日

〔主 催〕 川崎市市民ミュージアム

〔後 援〕 朝日新聞川崎支局・読売新聞川崎支局・東京新聞川崎支局・毎日新聞川崎支局・産経新聞横浜総局・日本経済新聞社川崎支局・神奈川新聞社・NHK 横浜放送局・かわさき FM

〔協 力〕 株式会社チッタエンタテイメント

〔観 覧 料〕 一般 500 円  
学生・65 歳以上 400 円  
中学生以下 無料

〔入 場 者〕 2,914 人

〔開催趣旨〕

平成 26 年、川崎市は市制 90 周年を迎えた。近代以降、産業都市として発展してきた川崎であるが、それは川崎に生れ育ち、また川崎を愛しその発展を願った多くの先人たちの努力によるもの、と言って過言ではないだろう。そこで本展では、政治・産業・文化・地域振興などの分野で近代川崎の発展の礎を築いた人々、特に、これまで歴史の表舞台には取り上げられることの少なかった地域人にスポットをあてることとし、近代川崎の姿を伝説的人物からひもとき紹介した。

〔主な内容・展示品〕

- 石井泰助／初代川崎市長、産業都市の礎を作る
- 安藤 安／丸子橋の架橋に尽力するとともに、地域発展に貢献
- 池上幸操／県会議員、自由党員として民権運動で活躍
- 上田忠一郎／県会議員、自由党員として民権運動で活躍、地域の文化的中心者
- 井田文三／県会議員、改進黨員として民権運動で活躍
- 鈴木久弥／県会議員、自由党員として民権運動で活躍  
地域教育に貢献
- 森 安治郎／初代川崎市会議長、地域文化の継承に貢献
- 岡 重孝／医者として地域医療に貢献、村長なども歴任して地域発展に貢献
- 平川平五郎／小泉次大夫や田中休愚の泉田二君の顕彰に尽力
- 美須 鑞／元祖・映画の街川崎を作る
- 箕輪政次郎・亥作・嘉夫／三代にわたり細王舎を経営、

農機具のトップメーカーとなる  
○古文書・産業資料など約 300 点

〔印刷物〕

図 録：A4 判 64 頁  
チ ラ シ：A4 判  
ポスター：B2、B3 判

〔関連イベント〕

◎オープニング・レセプション

日 程：6月6日  
開会式 企画展示室 2 入口  
内覧会 企画展示室 2  
懇親会 ラウンジ

参加人数：52 名

◎連続講座「近代川崎人物伝」

日 程：7月5日・7月12日・7月19日・7月26日  
会 場：第 2 研修室  
参 加 料：1,500 円  
参加人数：19 名

◎学芸員による展示解説

日 程：6月14日・6月22日・6月28日・7月6日・  
7月20日・7月21日・8月9日・8月17日・  
8月23日  
参加人数：71 名



◎友の会・ボランティア向け解説

日 程：7月5日

参加人数：17名

◎7月1日市制記念日 絵葉書配布

日 程：7月1日

配 布：45セット

◎夏休み子ども用ワークシート

日 程：7月19日～8月24日

配 布：950枚

## 横尾忠則 肖像図鑑 HUMAN ICONS

〔会 期〕6月28日～9月23日

〔主 催〕川崎市市民ミュージアム、日本経済新聞社

〔観 覧 料〕一般 700円

学生・65歳以上 600円

中学生以下 無 料

〔入 場 者〕6,614人

〔開催趣旨〕

美術界の第一線で活躍してきた芸術家・横尾忠則の個展を開催することで、当館の魅力を発信する。さらに、作家独自の多彩な表現によるこれらの作品群から、横尾作品におけるポートレイトの特質とその魅力に迫るとともに、新聞、書籍、ポスターなど様々なメディアや印刷物の世界と関わりの深い内容とすることにより、芸術という枠にとどまらない横尾忠則作品を通じて、幅広い層に芸術作品を楽しんでもらうことを主眼とする。

〔主な展示品〕

○文豪肖像画シリーズ

○瀬戸内寂聴『奇縁まんだら』挿画

○初期のイラストレーションから、ポスター、絵画など現在にいたるまでのポートレイト作品

〔印刷物〕

図 録：A4 変形版 126頁

チ ラ シ：A4判

ポスター：B1判、B2判、B3判

レセプション：案内カード、封筒、図録引換券、FAXシート

〔関連イベント〕

◎「顔」ドレスコード割引

顔のプリントされた衣服を着てきた来場者は、100円引きにて入場可能とした。

参加人数：631名

◎オープニング・レセプション

日 程：6月27日

開会式 逍遙展示空間

内覧会 企画展示室1

懇親会 ラウンジ

参加人数：147名

◎展示とワークショップ「遺影プロジェクト」

本展の開催趣旨を踏まえ、参加者の「遺影」を撮影し、死と生の境界に意識を向けさせる若手作家・倉谷拓朴（写真家／現代美術）による「遺影プロジェクト」により、写真としての「肖像画」に意識を向け、「肖像」という概念の奥深さを知ってもらうとともに、若手作家の作品発表の機会とした。

日 程（展示）：6月28日～7月21日

日 程（撮影イベント）：7月6日・7月20日・7月21日

会 場：逍遙展示空間

作 家：倉谷拓朴

参 加 料（撮影イベント）：2,000円

参加人数：31名

◎体験コーナー

肖像図鑑展出品作品を福笑いにして、ちょっとした表情の違いで変わってしまう人の顔の面白さを感じていただいた。また、作品をスタンプにして、来場者に自由に押しつけて帰ってもらい、作品に親しんでいただいた。

日 程：6月28日～9月23日

会 場：エントランスホール

◎制作×鑑賞プログラム「コラージュを作ろう」

「コラージュ」はそもそも「糊で貼る」という意味から生まれた現代美術の技法で、横尾忠則の作品にもしばしば使われている。展示室で作品を鑑賞した後、実際に画用紙に糊で様々な紙を貼付けて「コラージュ」制作を行った。

日 程：8月3日

会 場：逍遙展示空間

参 加 料：無料

参加人数：19名

◎木下直之（東京大学教授）によるスペシャル・レクチャー

今回の「肖像図鑑」展出品作について、本展カタログに寄稿いただいた木下直之教授に、「肖像画」の歴史や、



西洋の「肖像画」という概念を明治時代に移入した後の日本独自の展開、江戸時代に描かれた将軍や高僧の肖像画との違いなど、「肖像画」を巡る多様な広がりについて特別講義をいただいた。

日 程：9月15日  
会 場：ミニホール  
参加料：無料（展覧会チケットが必要）  
参加人数：30名

◎みうらじゅんによるスペシャル・トーク

横尾忠則を敬愛するみうらじゅんによる特別講演を行った。

日 程：9月20日  
会 場：映像ホール  
参加料：無料  
参加人数：193名

◎ベビーカートツアー

日 程：7月8日・7月17日  
参加人数：8組 18名

◎学芸員による展示解説

日 程：7月27日・8月24日・8月31日・9月7日・  
9月21日  
参加人数：126名

◎関連上映「横尾忠則 映画曼荼羅」

映像ホールで横尾忠則が出演する映画など関連した映画の上映プログラムを実施した。

鑑賞人数：980名



## いろいろ、そうそうー田中 岑

〔会 期〕9月6日～11月3日  
〔主 催〕川崎市市民ミュージアム  
〔観 覧 料〕一般 600円  
学生・65歳以上 500円  
中学生以下 無料  
〔入 場 者〕4,663人

〔開催趣旨〕

透徹した色彩と研ぎ澄まされた構図によって、戦後日本美術史にその足跡を残した田中岑（1921 - 2014）は、画家を目指して1939年に上京してから2014年4月に亡くなるまで、一貫して油彩画の可能性を追求し続けてきた。

本展では、作家が海老原喜之助の勧めにより日本大学芸術学部に入塾した1940年頃の初期の作品から最晩年の作品までを、「色をもとめて」「画布との対話」「絵筆の記憶」「光をとらえる」の4つのテーマによって構成し、田中岑の長大な画歴を回顧した。

〔主な展示品〕

- 《自画像》1939年、香川県立ミュージアム蔵
- 《海辺》1956年、東京国立近代美術館蔵
- 《丘原》1956年、神奈川県立近代美術館蔵
- 《飛行》1961年、高松市美術館蔵
- 《この扉を》1992年、川崎市市民ミュージアム蔵

〔印刷物〕

図 録：B5変形判 156頁  
（カラー：96頁／モノクロ：60頁）  
チ ラ シ：A4判  
ポスター：B1、B2、B3判

〔関連イベント〕

◎オープニング・レセプション

日 程：9月5日  
開 会 式 逍遥展示空間  
内 覧 会 企画展示室2  
懇 親 会 ラウンジ

参加人数：105名

◎ワークショップ「油絵具できいろ・いろいろ」

日 程：10月5日  
会 場：体験学習室  
講 師：鈴木俊輔（画家）

参加料：800円

参加人数：11名

◎親子鑑賞プログラム「いっしょにみると？」

日 程：9月13日・10月11日

会 場：企画展示室2

参加料：無料

鑑賞人数：3組5名

◎絵本読み聞かせ「絵本をみる・きく」

日 程：9月27日・10月25日

会 場：企画展示室2

講 師：読み聞かせボランティア「おはなしの小箱」

参加料：無料

参加人数：23名

◎学芸員による展示解説

日 程：9月21日・10月18日・11月2日

参加人数：75名

◎ベビーカートツアー

日 程：9月18日・10月15日

参加人数：4組9名

◎中原図書館における絵本パネル展示

日 程：9月1日～10月19日

会 場：中原図書館 多目的室

◎親子いっしょ割

中学生以下のお子様と一緒に観覧する保護者は、2割引きにて入場可能とした（割引適応は保護者2名まで）。

参加人数：48名



田中岑展

いろいろ、そうそう

2014.9.6(土)～11.31(月・祝)

TANAKA Takashi: A Retrospective

川崎市市民ミュージアム  
企画展示室2

## 日清・日露戦争とメディア

〔会 期〕10月4日～11月24日

〔主 催〕川崎市市民ミュージアム

〔観 覧 料〕一般 500円

学生・65歳以上 400円

中学生以下 無料

〔入 場 者〕2,074人

〔開催趣旨〕

日本は、明治27年（1894）に清と、また10年後の同37年（1904）にはロシアとの間で戦争となった。この二つの戦争は、世界に肩を並べる近代国家日本の確立といった面で、多くの国民の興味、関心を引き、新聞をはじめ雑誌や錦絵、漫画、写真といったさまざまなメディアによって取り上げられ、記録された。欧米のメディアも、二つの大国と新興国の日本との戦いに注目して取り上げた。

本展では、当館が数多く収蔵する、日清・日露戦争に関わる錦絵、漫画、写真、ポスター、雑誌、歴史資料などの作品・資料を総合的に展示することで、近代日本におけるこの二つの戦争でメディアが果たした役割を見ていただいた。また、川崎出身の兵士が戦地から送った手紙など、両戦争に関する川崎の市域資料もあわせて紹介した。

〔主な展示品〕

- 『团团珍聞』
- 小林清親「金州城落城之図」
- 『日清戦争写真図』
- ビゴー『トバエ』
- 軍事郵便絵葉書（石井家文書より）

〔印刷物〕

チラシ：A4判

ポスター：B2判、B3判

〔関連イベント〕

◎講演会（2回）

記念講演会

①「ビゴーと日清・日露戦争」

日 程：10月19日

講 師：清水勲（漫画研究家）

参加人数：31名

②「日清・日露戦争と写真報道」

日 程：11月9日

講師：井上祐子(近現代メディア史研究家)

参加人数：21名

◎ベビーカーツァー

日程：10月24日・11月6日

参加人数：4組8名

◎学芸員による展示解説

日程：10月11日・10月18日・10月26日・11月3日・  
11月8日・11月22日・11月24日

参加人数：112名

◎見学会「戦艦三笠と猿島の戦争遺跡」

日本海海戦に臨み、横須賀に永久保存された戦艦三笠の見学と、その沖にある猿島の軍事施設の遺構を見学する。

日程：11月1日

参加料：1,500円

参加人数：22名

◎関連上映「二百三高地」(東映 1980年)

日程：11月16日

鑑賞人数：97名



## 魔法の美術館 ひかりのたまてばこ

〔会 期〕12月4日～平成27年1月12日

〔主 催〕川崎市市民ミュージアム

〔企 画〕株式会社ステップ・イースト

〔観 覧 料〕一般 800円

大・高生・65歳以上 600円

小・中学生 200円

未就学児 無料

〔入 場 者〕8,414人

〔開催趣旨〕

当館の取組方針である現代アートへの取組みとして、光と最新のデジタル技術を駆使し、インタラクティブ(双方向)性を重視した体感型のアート展を開催することにより、子供から大人まで幅広い世代にアートを気軽に楽しんでもらうことを目的に開催した。

〔主な展示品〕

○光であそぶ(アトリエオモヤ)

○七色小道(坪倉輝明)

○Dancing Mirror(松村誠一郎)

○レイヨ=グラフィィー(森脇裕之)

○Lake Awareness(森脇裕之)

○Time Scanner(岡田憲一)

○Splash Display(的場やすし/山野真吾/徳井太郎)

○happy halloween!(真鍋大度/比嘉了)

○音めがね(緒方壽人)

○さくら(緒方壽人)

○Immersive Shadow(藤本直明)

○Secret Garden(小松宏誠)

○his philosophy(小松宏誠)

○Lifelog\_シャンデリア(小松宏誠)

○Lifelog\_mobile(小松宏誠)

〔印刷物〕

チラシ：A4判

ポスター：B1版、B2判、B3判

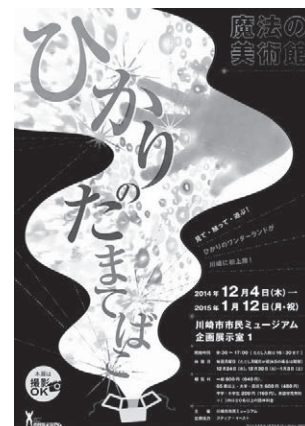
〔関連イベント〕

◎内 覧 会

日 程：12月3日

会 場：企画展示室1

参加人数：110名(中原区の小学生)



◎ワークショップ「光を感じるクリスマスアートリースをつくろう!!」

日 程：12月14日

会 場：体験学習室・企画展示室1

講 師：小松宏誠（アーティスト）

参加料：500円

参加人数：19名

## 第48回かわさき市美術展

〔会 期〕12月20日～平成27年1月11日

〔会 場〕企画展示室2

〔主 催〕川崎市、かわさき市美術展運営委員会

〔後 援〕川崎市教育委員会

〔協 賛〕川崎信用金庫、セレサ川崎農業協同組合

〔観 覧 料〕無 料

〔入 場 者〕2,338人

〔開催趣旨〕

市民による文化創造を奨励するため、第48回をむかえ、平面部門にCG作品を加え、彫刻・立体造形・工芸・書・写真・中高生の各部門で応募作品の審査を行い、入賞・入選作品を展示することで、多くの市民への鑑賞の機会を創出し、かわさきの美術分野における文化的な質を高め、市民ミュージアムと市内の美術家、教育機関、各種団体の相互交流、連携を図った。



## かわさき市美術展最優秀作品展

〔会 期〕12月20日～平成27年1月12日

〔会 場〕ミュージアムギャラリー

〔主 催〕川崎市市民ミュージアム

〔観 覧 料〕無 料

〔入 場 者〕1,289人

〔開催趣旨〕

かわさき市美術展は、1967年に公募展としてはじまり、本年48回を迎えた。市政90年記念事業の一環として、最優秀賞受賞作品を一堂に介し、その歴史を紹介した。

## 2014 川崎フロンターレ展

〔会 期〕12月20日～平成27年1月12日

〔主 催〕川崎市市民ミュージアム、川崎フロンターレ後援会、川崎フロンターレ

〔観 覧 料〕無 料（一部、2015年度川崎フロンターレ後援会会員限定）

〔開催趣旨〕

川崎フロンターレの2014年の戦いの軌跡を写真・映像で紹介するとともに、フロンターレ関連資料（ユニフォームやシューズ、ポスター等）を用いてバラエティに富む展示を行った。また、展示だけでなく、市民が参加でき、楽しめる多彩なイベント（トークショー等）を開催した。

〔主な展示品〕

- 川崎フロンターレの2014年シーズンの戦いを記録した写真と映像
- 等々力グラウンド改修に伴う記念コーナー〔写真、歴代ユニフォーム、ポスター、メッセージ等〕
- 選手全員の等身大写真、選手スパイク
- 幼稚園児が描いたふろん太くんの似顔絵（総論展示室）
- 「わたしの川崎フロンターレ」フォトコンテスト作品（総論展示室）

〔印刷物〕

チ ラ シ：A4判

ポスター：B2判、B3判

〔関連イベント〕

◎チャリティトークショー（2015年度後援会会員限定）

日 程：12月20日

会 場：逍遥展示空間

出 演：天野春果、伊藤宏樹

参加人数：223名

◎段ボール迷路に挑戦！ミニ四駆が走る！

日 程：12月20日・12月21日・12月23日

会 場：アートギャラリー3

参加人数：136名

◎食品サンプル作り

日 程：12月23日  
会 場：体験学習室  
参加人数：25名

◎キャンドル作り

日 程：12月23日  
会 場：体験学習室  
参加人数：36名

◎羊毛人形作り

日 程：平成27年1月10日  
会 場：体験学習室  
参加人数：50名

◎ヒロキーをさがせ！ in フロンターレ展

日 程：平成27年1月10日～12日  
会 場：アートギャラリー3  
参加人数：688名

◎成人の日イベント「ふろん太&カブレラと記念撮影会」

日 程：平成27年1月12日  
会 場：エントランス

〔関連展示〕

◎「わたしの川崎フロンターレ」フォトコンテスト

日 程：12月20日～平成27年1月12日  
会 場：総論展示室  
出 品 者：138名

◎「幼稚園児が描いたふろん太くん似顔絵」展示

日 程：12月20日～平成27年1月12日  
会 場：総論展示室  
出 品 者：61名



## 2 アートギャラリー展示

### 顔

〔会 期〕6月3日～8月3日（前期6月3日～7月6日、  
後期7月8日～8月3日）

〔会 場〕アートギャラリー1・2・3

〔観 覧 料〕無料

〔開催趣旨〕

本展では、企画展「横尾忠則 肖像図鑑」展にあわせ、彫刻家や写真家、漫画家など、さまざまなアーティスト達が作った「顔」をテーマにした作品を展示した。

北野謙による「our face」という写真シリーズは、原宿に集まる少女や、高野山の僧侶、広島で慰霊の灯籠を流す人々など、ある一つの場所に同じ時間に集まった人々の顔を一人一人撮影した後に一枚の写真として重ねあわせた作品。大勢の人の顔が集まった写真でありながら、一人の顔に見える不思議な作品は、それぞれの被写体となった人々の人生が重なりあった時間の彫刻にも見えて来る。

また、歌川国芳によって嘉永元（1848）年に描かれた役者の似顔絵は、天保の改革によって贅沢が禁止された時に役者の似顔絵も禁止されたため、わざと壁に釘でひっかいたような手法で描かれ、似顔絵ではなく落書きであるというタイトルをつけて取り締まりを逃れた作品となっている。

「顔」という一つのテーマを、写真家や彫刻家、画家や漫画家といったさまざまなジャンルの芸術家達がどのように作品に仕上げているかを展示した。

〔出品作家〕

北野謙、田村茂、宮武東洋、松本徳彦、松島進、歌川国芳、岡本一平、清水崑、アンディー・ウォーホル

〔関連イベント〕

◎ワークショップ「思い出のかけらをあつめて大きな顔をつくろう」

自分の顔や思い出のもの、好きなものを撮った写真を切って貼ってみんなで大きな顔を制作した。

講 師：進藤環（美術家）

日 程：7月5日

会 場：アートギャラリー

参加料：300円

参加人数：8名



## ナツ・アニメ・マンガ in KAWASAKI トムス・エンタテインメント アニメと歩んだ50年展

〔会 期〕8月9日～10月5日  
〔会 場〕アートギャラリー1  
〔観 覧 料〕無料

### 〔開催趣旨〕

1964年のテレビアニメ「ビックX」（原作：手塚治虫）の制作をはじめ、数多くのテレビアニメ・劇場アニメを世に送り出してきたアニメーション制作会社「トムス・エンタテインメント」が、今年で50周年を迎える。本展示は、その50年間の歩みを作品年表や作品パネル、貴重な制作資料、映像で紹介する。

### 〔主な展示品〕

○「ルパン」「コナン」セル画・絵コンテ・ポスターなど

### 〔関連イベント〕

◎学芸員による展示解説

日 程：9月20日・10月4日  
参加人数：5名

◎関連上映

日 程：8月9日・8月10日・8月16日・8月17日  
8月23日・8月24日  
参加人数：409名

## ナツ・アニメ・マンガ in KAWASAKI 水野英子展 わたしのマンガの描き方

〔会 場〕8月9日～10月5日  
〔会 場〕アートギャラリー2  
〔観 覧 料〕無料

### 〔開催趣旨〕

川崎市多摩区在住のマンガ家、水野英子（1939 - ）は、1955年に15歳でデビュー、1960年代から長編少女漫画を発表し、活躍している。本展ではマンガを描く水野英子をビデオで撮影し、手書きで効果線を描くところなどの映像を展示室に投影した。また、実際に使用している道具、原画の高画質な複製を展示した。

### 〔主な展示品〕

○「月光石」ざくろ石・薔薇水晶・真珠・トパーズ・ブ  
ログ・表紙絵

○「オペラへご招待 魅力の名作オペラ10選」表紙絵・  
椿姫・トゥーランドット・ワルキューレ・アイダ・  
カルメン・蝶々夫人・ドンジョバンニ・ラポエーム屋  
根裏部屋の芸術家たち・魔弾の射手・魔笛

### 〔関連イベント〕

◎学芸員による展示解説

日 程：8月16日・8月30日  
参加人数：3名

## ナツ・アニメ・マンガ in KAWASAKI 下川凹天と日本近代漫画の系譜

〔会 期〕8月9日～10月5日  
〔会 場〕アートギャラリー3  
〔観 覧 料〕無料

### 〔開催趣旨〕

戦前の主要漫画家の1人であり、日本最初のアニメーション作家でもある下川凹天（しもかわへこてん／おうてん、1892～1973）について、その仕事と業績にさまざまな角度から紹介した。また、彼の活躍した日本の戦前の漫画界を俯瞰できる資料をあわせて展示し、激動する戦前日本の世相の中に下川凹天を位置付けることにより、館の漫画分野の収蔵品の強みである戦前の漫画資料を活かした展示を行った。なお、本展は学習院大学との共同研究プロジェクトの成果発表の場となった。

### 〔主な展示品〕

○「読売サンデー漫画」1930年、創刊号  
○「東京パック」1905年、創刊号  
○下川凹天による原画、書籍

### 〔関連イベント〕

◎学習院大学共同研究トークイベント「下川凹天からた  
どる日本近代漫画の系譜」

日 程：8月10日  
講 師：野田謙介、夏目房之介、佐々木果  
参加人数：25名

◎学芸員による展示解説

日 程：9月6日  
参加人数：7名

◎ワークショップ「ふみふみこのひらめき☆マンガ教室」

日 程：9月13日  
会 場：第2研修室  
講 師：ふみふみこ（漫画家）  
参加料：300円  
参加人数：10名

## 日本のグラフィックデザイナー 勝井三雄：色光のゆらぎ

〔会 期〕10月11日～12月7日  
〔会 場〕アートギャラリー1  
〔観 覧 料〕無料

### 〔開催趣旨〕

日本のグラフィックデザイナーをひとりずつ取り上げて紹介するシリーズ展。今回はデジタル・アートやメディアアートの世界へも影響を与えた勝井三雄（1931-）のポスターを「色光のゆらぎ」というテーマで切り取って展示し、わが国のポスター芸術の豊かな表現を見ていただいた。

### 〔主な展示品〕

- 勝井三雄のポスター作品
- 「DNP グラフィックデザイン・アーアイヴ CREATORS FILE- グラフィックデザインの時代を築いた20人の証言-」を上映した。他、関連書籍を展示した。

### 〔関連イベント〕

- ◎学芸員による展示解説  
日 程：10月18日・11月15日  
参加人数：7名

## のぞき⇔のぞかれ

〔会 期〕10月11日～12月7日  
〔会 場〕アートギャラリー2  
〔観 覧 料〕無料

### 〔開催趣旨〕

視線の交錯、視点の逆転、視線の移動といった「見る」ことの独自のありかたを強く感じさせる収蔵作品から選択し、「のぞく」という行為を意識することによって鑑賞者の意識を刺激する展示を行った。写真の原点となるカメラオブスキュラや、現代美術作家松本力の体験型作品も展示し、ワークショップもあわせて、身体を通じて作

品理解をうながす鑑賞を提案した。

### 〔主な展示品〕

- モホイ＝ナジ、ウィージーの写真作品
- 松本俊夫の映像作品
- 安田靫彦、田中岑の絵画作品
- 松本力による、絵画、インスタレーション作品

### 〔関連イベント〕

- ◎学芸員による展示解説  
日 程：12月6日  
参加人数：6名

### ◎ピンホールシネマ・ワークショップ

- 日 程：11月24日
- 講 師：フワリラボ
- 会 場：逍遥展示空間
- 参加料：1,400円
- 参加人数：10名

## 本の美術

〔会 期〕10月11日～12月7日  
〔会 場〕アートギャラリー3  
〔観 覧 料〕無料

### 〔開催趣旨〕

日本画家安田靫彦の谷崎潤一郎や川端康成の装丁、洋画家中尾進の司馬遼太郎、柴田錬三郎といった歴史小説の装丁など画家からの視点と、佐藤惣之助や岡本かの子といった文学的視点から「本」を展示し、絵画や版画作品とはまた違った美術の見方、楽しみ方として、「本」をテーマとして収蔵作品を紹介した。

### 〔主な展示品〕

- 岡本かの子『老妓抄』（昭和14年 中央公論社）
- 佐藤惣之助『深紅の人』（大正10年 日本評論社）
- 中尾進、田中岑の挿絵原画
- 安田靫彦『川端康成全集』（昭和24年 新潮社）など60点

### 〔関連イベント〕

- ◎学芸員による展示解説  
日 程：11月1日・11月29日  
参加人数：8名

### 3 博物館展示（考古・歴史・民俗）

#### 常設展示「博物館展示」

2007年（平成19年）4月から、時系列に沿って川崎市域の歴史と文化を紹介する展示場としてリニューアルオープンした博物館展示室は、「民俗」、「原始」、「古代」、「中世・近世1」、「近世2」、「近・現代」（「文化財シアター」を改修し2012年（平成24）5月にリニューアルオープンした）の6室で構成している。展示場の壁面に設置した大きな年表を参照しながら、それぞれの時代を特徴付ける展示資料を観覧できる。

また、展示資料も、現在の調査研究成果を踏まえたものに変更し、新収集品の積極的な公開にも努めている。

#### 第1室「民俗」

川崎市が商工業の発達にともなって都市化への道を歩み始めた頃、多摩川沿いに広がる農村部では稲作を中心とした暮らしが営まれていた。民俗展示室では、そのような村の人々の日常生活、行事、信仰、生産活動を振り返り、どのような地域社会が形成されていったのか、往時の共同体意識・村意識について考察している。導入部に復元されている登戸台和地区の「セエノカミのオコモリ小屋」は、現在では見るができなくなっているもので、貴重な資料として展示している。

##### 〔主な展示品〕

セエノカミのオコモリ小屋（多摩区登戸・台和地区）的祭りの的・弓・矢（中原区・日枝神社、多摩区・子之神社）、平の初卯祭「蛇」（宮前区平・白幡八幡大神）、大山講御神酒杵箱、念仏講道具、講中の掛軸、宮内の雨乞い「ジャ・雷・蛙・オタマジャクシ」（中原区宮内）獅子頭（宮前区初山・菅生神社）、屋根替模型、稲作農具（唐箕、足踏式脱穀機）など

#### 第2室「原始」

川崎に人類が住み始めた旧石器時代は、いわゆる氷河時代で、日本列島は大陸と南北でつながっていた。この時代、川崎にも小規模ながらいくつかの遺跡が確認されている。約13000年前頃から地球規模で温暖化が始まり、それとともに土器や弓矢が発明された。縄文時代の始まりである。約1万年間つづいた縄文時代は、狩猟・採集に基礎をおきながら、後半は植物の管理・栽培も行われていた社会だ。川崎には最も古い段階から、縄文時代終焉までの集落や貝塚などの遺跡が豊富である。農耕が本格化する弥生時代は、集落を溝で囲む環壕集落が登場し、

階級社会への歩みを始める時代。第2室では、こうした時代の資料を展示している。

##### 〔主な展示品〕

旧石器時代資料（宮前区鷲ヶ峰遺跡）、貝塚出土資料（高津区子母口貝塚・新作貝塚）、貝層剥取り標本（子母口貝塚）、植物調理資料（多摩区No. 61遺跡）、草創期～晩期の土器・石器、弥生時代の土器・石器・ガラス製品など

#### 第3室「古代」

原始農耕社会が円熟してくると、人びとの地域的なまとまりが強くなり、階級が生じてくる。その一つの象徴が古墳である。特定の個人のために大きな墓を作る古墳時代は、川崎周辺では4世紀になって登場するようになった。その後6世紀後半になると古墳の築造が多くなり、崖面に横穴を掘り、これを古墳とする横穴墓も7世紀まで盛んに作られるようになる。しかし、律令国家・仏教思想の進展とともに、次第に古墳築造にかわり、寺院の建立や国衙・郡家の創設とその支配を受けるようになる。川崎の大部分は武蔵国橘樹郡（評）であり、影向寺と千年周辺が、橘樹郡の中心地となった。

##### 〔主な展示品〕

幸区白山古墳出土品（複製）、埴輪（高津区久本山古墳・稲荷塚古墳）、横穴墓出土品（多摩区長者穴、麻生区早野など）、瓦（宮前区影向寺、麻生区岡上4遺跡、麻生区宮添）、骨蔵器（多摩区鴛鴦沼）、橘樹郡家ジオラマなど

#### 第4室「中世・近世1」

古代律令国家が崩壊し、11世紀になると多くの土地が荘園・公領に編成される。川崎市域にも荘園・公領が確認されるが、ここでは中でも比較的伝来のわかる稲毛荘に関わる資料を展示している。一方、戦国時代になると、川崎市域は小田原城を拠点とする北条氏の支配地となるが、北条氏の滅亡に伴い、徳川氏の領地となり、近世をむかえることとなる。

近世の川崎市域は、江戸近郊に位置することもあり、大部分が幕府直轄領と、旗本の領地となった。しかし、平野部以外に臨海部、丘陵部、河川部など、その地理的条件により、村のくらしは異なっている。これら領主に関わる資料、人々の生業に関わる資料、平野部の耕作を支えた二ヶ領用水に関する資料を展示している。



〔主な展示品〕

多摩川流域絵図（複製）、稲毛本荘検注目録（複製）、鰐口（複製）、鎌倉将軍家寄進状（複製）、北条氏政判物（複製）、岡上村御縄打水帳、大師河原村塩浜耕地絵図（複製）、稲毛川崎二ヶ領用水絵図上流部・下流部（複製）、小杉・等々力地境争論裁許状（複製）など

## 第5室「近世2」

江戸時代の川崎を代表する場所として、川崎宿があげられる。東海道の宿場である川崎宿には本陣や問屋場などの機能が備えられ、多くの人々が行き交った。また、江戸より川崎宿に入る手前には多摩川を渡る「六郷の渡し」があり、渡船場が設けられていた。これら街道に関わる資料のほか、幕末の動乱に巻き込まれてゆく、地域の様子がわかる資料を展示している。

〔主な展示品〕

川崎宿ジオラマ、川崎宿問屋記録、宿方明細帳、万年屋模型、松平肥前守様御関札一件、横浜開港関係瓦版、外国人遊歩区域地図（複製）など

## 第6室「近代・現代」

明治政府による改革によって近代化が進められる中、官設鉄道の一停車場として川崎駅も新設される。そして東日本で最初の電気鉄道である京浜電気鉄道が開通し、昭和時代に入ると南武鉄道も開業し徐々に路線を拡大していく。これにより川崎駅から川崎大師にかけての都市化や、京浜工業地帯の発展の礎が築かれていくのである。川崎地域の近代化の始まりから、工業地帯の埋立地の拡大、戦時下の軍需産業に沸いた時期、そして高度経済成長期の川崎に関連する資料を展示している。

〔主な展示品〕

京浜電気鉄道車両模型、東京郊外電車回遊図絵、書簡図絵「工場は川崎へ」、浅野総一郎地先埋立予定地内池上家所有地実測図、川崎港案内など

## 4 マンスリー展示

2003年（平成15年）7月から、博物館展示室第5室の一部にマンスリー展示のコーナーを設置。マンスリー展示では、毎月テーマを設定して収蔵品を中心に資料紹介をしている。また、学芸員によるマンスリートーク（展示解説）を月1回土曜日に開催している。

6月3日～6月27日	甦った文化財―修復 Before/After―
6月28日～7月25日	飯盛女―宿場で働く女性―
7月26日～8月22日	夏休み子どもマンスリー お台場―150年前のウォーターフロント―
8月23日～9月26日	村のお殿さま I―土橋村・久本村の領主 旗本長坂家―
9月27日～10月24日	オリンピック 6年後再び東京で
10月25日～11月21日	長州征討―幕末川崎宿の大混乱―
11月22日～12月28日	村のお殿さま II―岡上村の領主 旗本大久保家―
1月4日～1月12日	初春マンスリー カルタとスゴロク
3月17日～4月17日	江戸時代の海難事故―川崎沖難破一件―

## 5 特集展示

2012年（平成24年）5月から、博物館常設展示室「近代・現代」の一部に特集展示コーナーを設置し、川崎地域の近現代史におけるさまざまなテーマを設定し、収蔵品を中心にトピック的な展示を行っている。

6月3日～8月15日	川崎市誕生90年！
8月16日～11月14日	川崎に生きた蘭方医
11月15日～1月12日	川崎の海と漁業組合
3月17日～5月15日	戦後70周年～PART1 川崎大空襲

## 6 館外展示

市役所第三庁舎一階ロビーでは、「川崎の歴史と文化」をメインテーマとして、川崎市市民ミュージアムの収蔵品の中から地域に根差したテーマを選んでサテライト展示を行っている。

第9期	4月7日～6月20日	「シリーズ川崎の遺跡Ⅰ 加瀬台古墳群」
第10期	6月23日～8月29日	「市制90周年 川崎市の成り立ち」
第11期	9月1日～11月28日	「シリーズ川崎の遺跡Ⅱ 長尾台北遺跡」
第12期	12月1日～2015年1月30日	「御札」
第13期	2月2日～3月27日	「考古発掘速報展」

## 7 ミュージアムライブラリー(映像・図書)

### 映像

3階のミュージアムライブラリーでは、VHSテープの邦画と洋画、レーザーディスクを新たに公開し、テレビドキュメンタリー、ニュースを個人の研究視聴として公開している。

個人視聴ブース10台、15インチの液晶テレビでDVDとVHSに対応している。

[公開映像一覧]

○牛山純一のテレビドキュメンタリー作品

〈ノンフィクション劇場〉シリーズ

〈すばらしい世界旅行〉シリーズ

〈20世紀アワー〉シリーズ

〈たのしい歴史旅行〉シリーズ

〈ナブ号の世界動物探検〉シリーズ

〈生きている人間旅行〉シリーズ

〈知られざる世界〉シリーズ

〈ドキュメント人生の劇場〉シリーズ

〈ナゾの海底探検〉シリーズ

〈ワールドスペシャル〉シリーズ

〈牛山純一の世界〉シリーズ

〈牛山純一と仲間たち〉シリーズ

〈スペシャル番組〉シリーズ

○日本ニュース映画(1940～1951)

○神奈川ニュース映画 市政ダイジェスト

○米国制作の戦争のドキュメンタリー

○祭りの記録映像

### 図書

来館者の利用を主眼とした図書室で、約8万冊の書籍の閲覧が可能。また、各分野に関する専門図書をコンピュータによって検索することもできるほか、一部の図書は開架式で自由に閲覧も可能である。

## 8 映画上映

[会場] 映像ホール

[主催] 川崎市市民ミュージアム

[鑑賞人数] 3,769人

[上映回数] 136回

### ●シネマテーク・コレクション

#### インドの映像詩人 G. アラヴィンダン特集

6月7日

11:30～ 黄金のシーター

14:00～ エスタッパン

6月8日

11:30～ サーカス

14:15～ サハジャ／アナディ・ダラ

6月14日

11:30～ 魔法使いのおじいさん

14:00～ 子象ちゃん／ひとり歩む賢者

6月15日

11:30～ エスタッパン

14:00～ 黄金のシーター

6月21日

11:30～ サハジャ／アナディ・ダラ

14:00～ サーカス

6月22日

11:30～ 子象ちゃん／ひとり歩む賢者

14:00～ 魔法使いのおじいさん

### ●「横尾忠則 肖像図鑑 HUMAN ICONS」

#### 関連上映 横尾忠則 映画曼荼羅

6月28日

11:30～ 新宿泥棒日記

14:00～ ヤングパワー・シリーズ 新宿番外地

6月29日

11:30～ ヤングパワー・シリーズ 新宿番外地

14:00～ 黒蜥蜴

7月5日

11:30～ 黒蜥蜴

14:00～ 寺山修司実験映像ワールド

檻囚／マルドロールの歌／トマトケチャップ

皇帝[短縮版]／蝶服記／迷宮譚

7月6日

11:30～ 豚小屋

14:00～ フェリーニの道化師

- 7月12日  
 11:30～ フェリーニの道化師  
 14:00～ アポロンの地獄
- 7月13日  
 11:30～ 僕は天使じゃないよ  
 14:00～ 憎いあんちくしょう
- 7月19日  
 11:30～ 愛の渴き  
 14:00～ ホーリー・マウンテン
- 7月20日  
 11:30～ エル・トポ  
 14:00～ ドナルド・リッチー作品集  
 熱海ブルース（1962年/20分）／Life（1965年/4分）／のぞき物語（1967年/20分）／五つの哲学的物語（1967年/47分）
- 7月21日  
 11:30～ 東京家族  
 14:00～ 日本侠客伝
- 7月26日  
 11:30～ 憎いあんちくしょう  
 14:00～ 東京家族
- 7月27日  
 11:00～ 新網走番外地 さいはての流れ者  
 14:00～ 愛の渴き
- 8月2日  
 11:30～ ホーリー・マウンテン  
 14:00～ エル・トポ
- 8月3日  
 11:30～ 僕は天使じゃないよ  
 14:00～ 新宿泥棒日記
- トムス・エンタテインメント アニメと歩んだ50年
- 8月9日 1960年代  
 11:30～ TVアニメセレクション Part.1  
 ビッグX 第48話、怪物くん 第46話、アタック No.1 第67話、珍豪ムチャ兵衛 第1話  
 14:00～ 劇場版 巨人の星（劇場版第1作）
- 8月10日 1970年代①  
 11:30～ TVアニメセレクション Part.2  
 ど根性ガエル 第78話、天才バカボン 第8話、侍ジャイアンツ 第1話、はじめ人間ギャートルズ 第1話  
 14:00～ アタック NO.1 富士見学園の新星
- 8月16日 1970年代②  
 11:30～ TVアニメセレクション Part.3  
 ガンバの冒険 第1話、元祖天才バカボン 第77話、宝島 第6話、ベルサイユのばら 第8話  
 14:00～ 劇場版 エースをねらえ！
- 8月17日 1980年代①  
 11:30～ TVアニメセレクション Part.4  
 六神合体ゴッドマーズ 第12話、おはよう！スパイク 第11話、じゃりン子チエ 第1話、スペースコブラ 第1話  
 14:00～ 劇場版 家なき子
- 8月23日 1980年代②  
 11:30～ TVアニメセレクション Part.5  
 キャッツ・アイ 第4話、Bug ってハニー 第1話、おねがいでん！サミアどん 第1話、名探偵ホームズ 第3話  
 14:00～ 劇場版 あしたのジョー 2
- 8月24日 1990年代  
 11:30～ TVアニメセレクション Part.6  
 魔法騎士レイアース 第14話、怪盗セイント・テール 第1話、超電動ロボ鉄人28号FX 第13話、B'T-X 第1話  
 14:00～ ガンバとカワウソの冒険
- 8月30日 2000年代  
 11:30～ TVアニメセレクション Part.7  
 ぷるるんっ！しずくちゃん 第1話、パタパタ飛行船の冒険 第1話、愛してるぜベイベ★★ 第1話、甲虫王者ムシキング～森の民の伝説～ 第1話  
 14:00～ テレビスペシャル ルパン三世 VS 名探偵コナン
- 8月31日 親子上映会  
 11:30～ パンダコパンダ／パンダコパンダ 雨ふりサーカス  
 14:00～ パンダコパンダ／パンダコパンダ 雨ふりサーカス
- 9月6日 テレビスペシャル作品  
 11:30～ 坊っちゃん  
 14:00～ 姿三四郎
- 9月7日  
 11:30～ 劇場版 巨人の星（劇場版第1作）  
 14:00～ 劇場版 あしたのジョー 2
- 9月13日  
 11:30～ 劇場版 アタック No.1 富士見学園の新星  
 14:00～ 劇場版 エースをねらえ！
- 9月14日  
 11:30～ テレビスペシャル ルパン三世 VS 名探偵コナン  
 14:00～ 劇場版 家なき子

## ●日本のドキュメンタリーの系譜 vol.1

- 9月15日 戦前戦後の動乱①  
11:30～ プロキノ作品集  
13:00～ セレバス 海軍報道班員の記録版
- 9月21日 戦前戦後の動乱②  
11:30～ 信濃風土記より 小林一茶／平和祈念  
都市ひろしま／ひろしま 産業の再建／生きていてよかった  
14:00～ 世界は恐怖する 死の灰の正体
- 9月23日 復興の時代  
11:30～ 流血の記録 砂川／安保条約／西陣  
13:10～ 絵を描く子どもたち - 児童画を理解するために - /雪舟／日本の舞踊
- 9月27日 未知の領域への視線  
11:30～ 標高8125米 マナスルに立つ  
14:00～ 南米パタゴニア探検隊 大氷河を行く
- 9月28日 カワサキ・ドキュメント  
11:30～ 川崎市浄水第四期拡張工事記録 滾々として  
尽きず／川崎の水  
14:00～ 二十世紀裂を作る／都市化と文化財／川崎の  
養蚕と信仰

## ●シネマテーク・コレクション

### 日本のドキュメンタリーの系譜 vol.2

- 10月4日 岩波映画と「青の会」  
11:30～ わが愛北海道／青年の海 四人の通信教育生  
たち  
14:00～ 圧殺の森 高崎経済大学闘争の記録
- 10月5日 世界の動乱  
11:30～ ベトナム  
14:00～ ユンボギの日記／につぼん零年
- 10月18日 小川伸介  
11:30～ 現認報告書 羽田闘争の記録  
13:30～ 三里塚 第二砦の人々
- 10月19日 土本典昭①  
11:30～ 医学としての水俣病 <第1部 = 資料・証言  
篇>  
14:00～ パルチザン前史
- 10月25日 土本典昭②  
11:30～ 医学としての水俣病 <第2部 = 病理・病像  
篇>  
14:00～ 医学としての水俣病 <第3部 = 臨床・疫学  
篇>
- 10月26日 原一男  
11:30～ さよならCP  
14:00～ 極私的エロス恋歌1974

## ●特集上映 脚本家 笠原和夫

- 11月1日  
11:30～ 港祭りに来た男  
14:00～ 風流深川唄
- 11月2日  
11:30～ 日本侠客伝  
14:00～ 博徒七人
- 11月3日  
11:30～ 緋牡丹博徒 鉄火場列伝  
14:00～ 女渡世人 おたの申します
- 11月8日  
11:30～ 人生劇場 新・飛車角  
14:00～ 懲役十八年
- 11月9日  
11:30～ 博奕打ち 総長賭博  
14:00～ 博奕打ち いのち札  
15:55～ トークショー〈ゲスト：荒井晴彦 [脚本家・  
映画監督]〉
- 11月16日  
12:30～ 二百三高地
- 11月22日  
11:00～ 日本暗殺秘録  
14:00～ 226
- 11月23日  
12:30～ 大日本帝国
- 11月24日  
11:00～ あゝ決戦航空隊  
14:30～ 肉体の門
- 11月29日  
11:30～ 仁義なき戦い 広島死闘編  
14:00～ 仁義なき戦い 代理戦争  
15:50～ トークショー〈ゲスト：高田宏治 [脚本家]〉
- 11月30日  
11:30～ 県警対組織暴力  
14:00～ やくざの墓場 くちなしの花

## ●映画上映+現代アート 藤村豪&内野清香

### ふたりの喧嘩は三人目の愉しみ

- 12月12日  
11:30～ ふたりのヌーヴェルヴァーグ ゴダールとト  
リュフォー  
14:00～ 大人は判ってくれない／アントワーヌとコ  
レット<「二十歳の恋」より>
- 12月13日  
11:30～ 夜霧の恋人たち

- イベント「映画を見終えた人々の出来事」(ゲスト: 曾我部恵一)
- 12月14日  
11:30 ~ 家庭  
14:00 ~ 逃げ去る恋
- 12月20日  
11:30 ~ ふたりのヌーヴェルヴァーグ ゴダールとトリュフォー  
14:00 ~ アントワーンとコレット<「二十歳の恋」より> / 夜霧の恋人たち
- 12月21日  
11:30 ~ 家庭  
14:00 ~ 大人は判ってくれない
- 12月23日  
11:30 ~ 逃げ去る恋  
イベント「映画を見終えた人々の出来事」(ゲスト: 前野健太、市川秀之)
- 12月26日  
11:30 ~ 夜霧の恋人たち  
14:00 ~ 家庭
- 12月27日  
11:30 ~ 大人は判ってくれない  
イベント「映画を見終えた人々の出来事」(ゲスト: 藤村豪 & 内野清香)
- 12月28日  
11:30 ~ ふたりのヌーヴェルヴァーグ ゴダールとトリュフォー  
14:00 ~ アントワーンとコレット<「二十歳の恋」より> / 逃げ去る森

### ●シネマテーク・コレクション

#### レンフィルム - ベレストロイカ以前 / 以後 -

- 1月4日 政府の介入と新しい潮流  
11:30 ~ パツァーニ  
14:00 ~ ミュージアム・ヴィジター
- 1月11日 ソクーロフと表現の自由  
11:30 ~ 孤独な声  
14:00 ~ 日陽はしづかに発酵し...
- 1月12日 ゲルマンの〈解放〉  
11:30 ~ 道中の点検  
14:00 ~ わが友イワン・ラブシン

### ●親子上映会 童話アニメーション

- 3月21日 日本の昔話  
11:30 ~ 彦一とんち話 / したきりすずめ / かぐや姫

- 14:00 ~ 泣いた赤おに / つるのおんがえし / あんじゅとずしおう 森鷗外作「山椒大夫」より
- 3月22日 世界の童話・日本の童話  
11:30 ~ みにくいあひるの子 / にんぎょひめ / マッチ売りの少女 / いなかねずみとまちなねずみ  
14:00 ~ セロひきのゴージュ / 花のき村と盗人たち / 月夜とめがね / モチモチの木
- 3月28日 世界の童話・日本の童話  
11:30 ~ セロひきのゴージュ / 花のき村と盗人たち / 月夜とめがね / モチモチの木  
14:00 ~ みにくいあひるの子 / にんぎょひめ / マッチ売りの少女 / いなかねずみとまちなねずみ
- 3月29日 日本の昔話  
11:30 ~ 泣いた赤おに / かぐや姫 / あんじゅとずしおう 森鷗外作「山椒大夫」より  
14:00 ~ 彦一とんち話 / したきりすずめ / つるのおんがえし

## 9 ビデオ・DVD上映

- 〔会場〕映像ホール  
〔主催〕川崎市市民ミュージアム  
〔入場者〕303人  
〔上映回数〕68回  
〔日程〕毎週水曜日 14:00 ~

### ●市制ニュース映画で見る川崎・川崎の民俗行事

- 6月4日 「昭和26年~27年」  
川崎市議会の予算審議・稲田授産所竣工・復興する川崎大師など 20分  
「民具のつくりかた オミキグチ」(神さまにお供えする竹細工) 60分
- 6月11日 「昭和28年~29年」  
大師海苔・利用される衛生試験所・関東弓道大会など 20分  
「民具のつくりかた あしなか (小さな草履)」17分
- 6月18日 「昭和30年~31年」  
建設すすむ川崎港・川崎の文化財・国体に湧く工都など  
「民具のつくりかた ぞうり (履物)」17分
- 6月25日 「昭和32年~33年」  
躍進「川崎」・町の有線放送・多摩川梨など  
「民具のつくりかた わらじ (鼻緒履物)」21分
- 7月2日 「昭和34年~35年」  
消防始式・大工業港めざして・長尾団地の造成はじま



- るなど  
「民具のつくりかた 牛馬のくつ・くつこ（田仕事で牛馬にはかせたもの）30分
- 7月9日「昭和36年～37年」  
早春の王禅寺・65万人の玄関・放射能を監視するなど  
「民具のつくりかた 俵 米の貯蔵と運搬に使われたもの」27分
- 7月16日「昭和38年～39年」  
六郷の立体交差道路開通・楽しく子供遊園会・公園の整備すすむなど  
「宮前区 土間といろり」35分
- 7月23日「昭和40年～41年」  
防火と美化運動の凧あげ大会・立体化工事始まる川崎駅前・大戸青少年会館ひらく  
「中原区 地形と唄」31分
- 7月30日「昭和42年～43年」  
充実する都市施設・多摩川にすてきな広場・完成した陸上競技場など  
「高津区 千年の紺屋」35分
- 8月6日「昭和44年～45年」  
川崎散歩－ 民家園をたずねて、等々力緑地と周辺、宮内の史跡・天然記念物など  
「川崎区 稲毛神社 山王まつり」47分
- 8月13日「昭和46年～47年」  
新装なった水産物卸売市場、公害防止施策を進める、オープンした動物コーナー－ 夢見ヶ崎公園など  
「中原区 川崎の盆行事」31分
- 8月20日「昭和48年～49年」  
市バスの現状、水銀ヘッドロを浚渫処理、造成すすむ岡上営農団地など  
「幸区 小向の獅子舞」45分
- 8月27日「昭和50年～51年」  
地震・火災から命をまもろう、ろうあ者相談員誕生、待望のナイター設備 中原区 宮内の雨乞行事 21分
- 9月3日「昭和52年～53年」  
完成した武道の殿堂、多摩図書館完成、岡上文化センター完成「多摩区 菅薬師の獅子舞」58分
- 9月10日「昭和54年～55年」  
近代的なゴミ処理施設－川崎市堤根清掃事務所－・第2回かわさき市民祭り・川崎ではじめての市民葬など  
「川崎区 沖縄舞踊」33分
- 9月17日「昭和56年～57年」  
雪の八ヶ岳市民休暇村・麻生区・宮前区誕生－5区から7区へーなど  
「川崎のさきやま（木を切る職人）24分
- 10月1日「昭和58年～59年」
- 中原平和公園オープン・国際彫刻シンポジウム・彫刻のある広場完成中原平和公園  
「高津区 宗隆寺の御会式」30分
- 10月8日「昭和60年～61年」  
青空へキック！来秋オープンへ！川崎地下街「アゼリア」・21世紀へのまちづくりなど  
「宮前区 初山の獅子舞」50分
- 10月15日「昭和62年～63年」  
蘭・世界大博覧会、南武線 高架化工事急ピッチ進む下水道整備など  
「麻生区 早野子供会の記録」24分
- 10月22日「昭和64年～平成元年」  
豊かな高齢社会を、好きです！きれいな川崎ごみの減量化、川崎新市長決まるなど  
「川崎の万作踊（飴売りの行商人が客寄せに歌い踊ったもの）」60分
- 10月29日「平成2年～3年」  
「藤ノ木古墳とその時代」展－川崎市市民ミュージアム－・川崎区総合庁舎オープン・カラーガード隊！“レッドウイングス”誕生など  
「中原区 新城の囃子曲持（力自慢の曲芸）」45分
- 11月5日「平成4年～5年」  
貴重な文化財を火災から守る・川崎市平和館オープン・第15回かわさき市民祭り・市役所第3庁舎オープンなど  
「多摩区・麻生区 手作りのお茶」30分
- 11月12日「平成6年～7年」  
ヴェルディ川崎 初代チャンピオンにこどもたちの大壁画が完成！・全国初！ごみの鉄道輸送など  
「麻生区 高石神社のヤブサメ」21分
- 11月19日「平成8年～9年」  
水がめがピンチ！－節水にご協力を－入江崎温水プールオープン－汚泥焼却余熱を有効利用－・かわさき健康都市宣言など  
「麻生区 黒川のセエノ神」20分
- 11月26日「平成10年～11年」  
東京湾アクアライン開通・リサイクル推進都市をめざして、救急ヘリ運用開始など  
「多摩区 菅・子之神社のオマト」20分
- 12月3日「平成12年～13年」  
ありがとう川崎球場－半世紀の歴史に幕－・陰翳礼讃 フランスの現代写真－川崎市市民ミュージアム企画展－・市内の民俗芸能 集合！など  
「多摩区 台和のせえの神」34分
- 12月10日「平成14年～15年」  
中国瀋陽市と友好提携20周年、学童疎開体験ツアー・

めざせ J1 川崎フロンターレなど

「中原区 中丸子のオビシャシメヨリ」32分

12月17日「平成16年～17年」

市制80周年記念 大川崎祭・川崎に新駅誕生「はるひ野駅」・「明日の神話」完成への道展 岡本太郎美術館など

「中原区 日枝神社のオビシャ」32分

## ●祭りの映像記録 上映

6月10日『田植踊りの祭り』

「吉良川の御田祭」(高知)「田原の御田」(京都)「樋越神明宮の春鞆祭(群馬)」「霧島神宮のお田植祭」(鹿児島)

7月8日『泣きと笑いの祭り』

「東和町の泣き相撲」(岩手)「笑い祭」(和歌山)「生子神社の泣き相撲」(栃木)「笑い講」(山口)

8月12日『穢れと祓いの祭り』

「能代ねぶながし」(秋田)「見鳥のかせどり」(佐賀)「上賀茂神社の夏越大祓」(京都)「滑川のネブタ流し」(富山)

9月9日『元気な踊りの祭り』

「よさこいソーラン祭り」(北海道)「みのくよさこい祭り」(宮城)「スーパーよさこい」(東京)「牛深ハイヤ祭り」(熊本)

10月14日

休館のため上映は休み

11月11日『日本のユネスコ無形文化財(1)』

日立風流物(茨城)・京都祇園祭の山鉾行事(京都)・甕島のトシドシ(鹿児島)・奥能登のあえのこと(石川)・早池峰神楽(岩手)

12月9日『日本のユネスコ無形文化財(2)』

秋保の田植踊(宮城)・チャッキラコ(神奈川)・大日堂舞楽(秋田)・題目立(奈良)・アイヌ古式舞踊(北海道)・組踊(沖縄)・壬生の花田植(広島)・佐陀神能(島根)・那智の田楽(和歌山)

## 10 ミニホール ビデオ上映

ミニホールでは、「アニメーション」の上映と「日本映画傑作選」「美術教育ビデオ」を定期的に上映し、市民のホームシアターとして楽しんでいただいた。

〔利用者数〕307人

〔上映回数〕53回

## ●アニメーション 上映

6月6日

鉄腕アトム

116話・117話 史上最大のロボット(前・後)編、26話 アトラスの巻、126話 ロボイドの巻 全102分 白黒

6月13日

鉄腕アトム

179話・180話 青騎士(前・後)、71話 地球最後の日、172話 ヘラルド兄弟 全100分 白黒

6月20日

鉄腕アトム

19話 アトム対魔人、91話 ガロン逆襲、32話 ホットドッグ兵団、82話 ロボット競技会 全100分 白黒

6月27日

鉄腕アトム

44話 エジプト陰謀団、45話 クレオパトラの首飾り、73話 ビッグタイタン、148話 ロビオとロビエット全100分 白黒

7月4日

鉄腕アトム

1話 アトム誕生、4話 ゲルニカ、17話 ロボットランド、33話 三人の魔術師 全90分 白黒

7月11日

鉄腕アトム

5話 スフィンクス、8話 幽霊製造機、10話 イワンの馬鹿、37話 ウランちゃん 全90分 白黒

7月18日

鉄腕アトム

2話 フランケン、3話 火星探検、11話 タイムマシン、20話 気体人 全90分 白黒

7月25日

鉄腕アトム

21話 人工衛星R-45、22話 海蛇島、41話 X爆弾、90話 ロボット砦 全90分 白黒

8月1日

鉄腕アトム

6話 電光人間、7話 アトム大使、9話 ブラックルックス、12話 十字架島 全90分 白黒

8月8日

鉄腕アトム

13話 キリストの眼、14話 人工太陽、15話 植物人間、16話 白い惑星号 全90分 白黒

8月15日

鉄腕アトム

18話 ガデム、23話 ミュータント、24話 海底王国、25話 地底戦車 全90分 白黒

8月22日

鉄腕アトム

27話 パール星、28話 マッドマシーン、29話 想い出の日、30話 ZZZ スリーゼット総統 全90分 白黒

8月29日

鉄腕アトム

31話 黒い宇宙線、35話 人間牧場、36話 プイプイ教、38話 狂った小惑星 全90分 白黒

9月5日

鉄腕アトム

39話 赤い猫、40話 ネオ・シーザー、42話 黄色い馬、43話 デッドクロス殿下 全90分 白黒

9月12日

鉄腕アトム

46話 ロボット宇宙艇、47話 宇宙ガ二、48話 天馬族、49話 透明巨人 全90分 白黒

9月19日

鉄腕アトム

50話 アトム西部へ行く、51話 小象プーラ、52話 雪ライオン、54話 アルプスの決闘 全90分 白黒

9月26日

鉄腕アトム

55話 若返りガス、56話 地球防衛隊、57話 ロボット学校、58話 13の怪神像 全90分 白黒

10月3日

鉄腕アトム

59話 白熱人間、60話 ゲーマの宮殿、61話 宇宙の寄生虫、62話 幽霊船 全90分 白黒

10月10日

ジャングル大帝 1巻

1話 行けパンジャの子、2話 砂漠の風、3話 動物学校、4話 猛牛サムソン 全100分 カラー

10月17日

ジャングル大帝 2巻

5話 まぶたの大陸、6話 飢えたサバンナ、7話 ドンガの決闘、8話 きちがい雲 全100分 カラー ※タイトル等は、原作者のオリジナルな表現を尊重しております。

10月24日

ジャングル大帝 3巻

9話 翼ある王者、10話 ふたつの心、11話 12話 コンガ狩猟区(前)(後) 全100分 カラー

10月31日

ジャングル大帝 4巻

13話 密林の大合唱、14話 アンドロクロス物語、15話 卵・卵・卵 16話 燃える河 全100分 カラー

11月7日

ジャングル大帝 5巻

17話 不気味な青蛇、18話 ベラと勲章、19話 開かずの小屋、20話 レストラン騒動 全100分 カラー

11月14日

ジャングル大帝 6巻

21話 帰ってきたサンデイ、22話 パーシとつつあん、23話 大怪虫、24話 森のマミー 全100分 カラー

11月21日

ジャングル大帝 7巻

25話 子象ジャンボ、26話 平和の肉、27話 悲しいカメレオン、28話 山猫ミュー 全100分 カラー

11月28日

ジャングル大帝 8巻

29話「食獣花アラウネ」、30話「追跡旅行」、31話「死びと洞の謎」、32話「最後の密猟者」 全100分 カラー

12月5日

ジャングル大帝 9巻

33話「牙なしヒューク事件」、34話「黒豹トットの逆襲(前)」、35話「黒豹トットの逆襲(後)」、36話「マスク谷の怪物」 全100分 カラー

12月12日

ジャングル大帝 10巻

37話「吼える魔像」、38話「火山湖島」、39話「狂気の季節」、40話「草原の暴れん坊」 全100分 カラー

12月19日

ジャングル大帝 11巻

41話「さすらいの死神」、42話「わんぱく作戦」、43話「怒りのチミセット」、44話「虹の谷」 全100分 カラー

12月26日

ジャングル大帝 12巻

45話「まぼろしの山」、46話「町から来たジェーン」、47話「まだらぐも」、48話「赤い牙」 全100分 カラー

## ●日本映画傑作選 上映 昭和の喜劇役者たち

6月24日

「エノケン千万長者」 昭和11年 モノクロ 110分

7月22日

休館のため上映休み

8月26日

「ロッパ歌の都に行く」 昭和14年 モノクロ 75分  
出演 古川緑波 他

9月23日

「結婚の生態」 昭和16年 モノクロ 98分 出演 原節子 他

10月28日



「東京五人組」

昭和 20 年 モノクロ 85 分 出演 古川緑波、横山エンタツ 他

12月23日

「三等重役」昭和 27 年 モノクロ 85 分 出演 森繁久彌、越路吹雪 他

## ●美術ビデオ 上映

6月21日

美術のみかた 1 巻「光と影」 21 分

ラ・トゥール、レンブラント、ドラクロワ、ゴヤなどの絵画における光のとらえ方を鑑賞。光の方向、明暗により、物や人間の表情はどのように変化するかなどを、具体的な実験を行いながら解説。 出演 井出則雄（彫刻家・元宮城教育大学教授）

美術のみかた 2 巻「見えるままに描くまで」 23 分

絵画の歴史の中で、物を見えるままに描けるようになって 500 年。それまでの表現方法について紹介。児童画の発展段階と比較し、石器時代の壁画から現代までの絵画の歴史をたどって、表現の意味を考えた。 出演 井出則雄（彫刻家・元宮城教育大学教授）

7月19日

美術のみかた 3 巻「透視画法」 22 分

イタリア・ルネッサンス時代に完成された透視画法（遠近法）は、絵画の表現方法を変える。ジョット、フランチェスカ、ラファエロ、そしてロイスダール、ゴッホなどの作品を鑑賞し、遠近法が完成するまでのプロセスなどを解説。 出演 井出則雄（彫刻家・元宮城教育大学教授）

美術のみかた 4 巻「近代の人間像」 22 分

インドやアステカの人体像から古代ギリシア、中世、ルネッサンスにわたる彫刻の歴史を探訪。さらに近代彫刻の父、ロダン、ブールデル、マイヨール、ヘンリー・ムーアなどの人間像を鑑賞しながら、近代における彫刻の精神的、空間的な意義をあらゆる角度から解説。 出演 中山公男（美術評論）

8月16日

美術のみかた 5 巻「印象派と色彩」 23 分

日常の風俗や自然を目に映る通りに描き、ヨーロッパや日本の絵画に大きな印象を与えた印象派。コロ、マネ、モネ、スーラなどの作品を、実技を主眼にしなが、その色の使い方、光がうみだす色彩の効果などを、光の実験などを行いながら具体的に解説。 出演 井出則雄（彫刻家・元宮城教育大学教授）

美術のみかた 6 巻「ジャポニズムの時代」 24 分

日本の浮世絵はヨーロッパの絵画の発展に深いかわりをもっている。この巻は、広重や北斎などの浮世絵がヨーロッパの画家たち、特に、マネ、モネ、ゴッホ、ドガ、ロートレック、セザンヌなどにどのような影響を与えたのかを、名画を鑑賞しながら探った。

出演 井出則雄（彫刻家・元宮城教育大学教授）

9月20日

美術のみかた 7 巻「セザンヌと造形」 23 分

「自然は、円錐、円筒、球からなりたっている」というセザンヌの考えにもとづいた作品の数々を鑑賞した。遠近法を用いず、いかに物の存在の確固とした画面に作りあげるかというセザンヌ独自の構図を通して、新しい近代絵画の発生と、造形の魅力を追求した。 出演 稲木秀臣（造形作家・東京総合写真専門学校講師）

美術のみかた 8 巻「視覚の変貌」 23 分

ピカソやブラックなどのいわゆる立体派（キュービズム）の出現は、20 世紀絵画における一大事件だった。視線と視点の変化により、平面上に時間や人間の心理をとりこんでキュービクな表現を実験などにより興味深く解説。現代美術に通じる表現方法やその意味を考えた。 出演 井出則雄（彫刻家・元宮城教育大学教授）

10月18日

美術のみかた 9 巻「構図の探求」 24 分

絵を描く場合、描きたい物をどう表現するか、そのための画面効果をどのように表すかが大切である。その基本となる構図法を紹介する。さらに、藤島武二、ミレー、ドラクロワ、ジェリコ、さらにセザンヌなどの絵が、どのような構図、構成のもとに描かれているかを紹介。 出演 中山義典（画家・都留文化大学教授）

美術のみかた 10 巻「10 巻絵画を読む」 23 分

一枚の絵には、さまざまなメッセージがこめられている。これを読みとることで、絵から作者の心の在り方が見えてくる。作品鑑賞のための心がまえについて解説。 出演：井出則雄（彫刻家・元宮城教育大学教授）

11月15日

オルセー美術館「リアリズムの道」「印象派の誕生」

58 分

代表作「泉」の画家、アングルとドラクロワ。ドーミエ、「落穂拾い」「晩鐘」を描いたミレー、クールベなどの画家の作品を紹介。古典的な絵画に対して新たなリアリズムの美を追求した画家たちのたどった道。印象派の先駆者。1874 年第 1 回印象派展、都市を描

くモネ、晩年、自宅に日本庭園を築き睡蓮の庭をテーマに光と空間の広がりを探求したモネの作品を紹介。

12月20日

オルセー美術館 「光と色彩の讃歌」「都市の自画像」  
58分

ルノワールの作品「ムーラン・ド・ラ・ギャレット」、印象派のコレクター、代表作「赤い屋根」のピサロ、詩情溢れる水辺の光景を描いたシスレー、色彩を統合する様式をつくりだしたルノワールを紹介。パリ都市改造、パリを描く画家、若きドガ、馬と踊り子を描くドガ、パリのシンボルとなるエッフェル塔、都市の哀歎ロートレックを紹介。

3月21日

オルセー美術館 「近代彫刻の展開」「広がるアール・ヌーヴォー」 58分

カルポアの彫刻、オペラ座、都市の彫刻、ロダンを紹介。19世紀末のヨーロッパに広まった流れるような曲線でデザインされた建物の装飾、家具、陶器など生活空間にあらわれ、その源流をたどった。

## 11 他団体の展示等

### MOA 美術館川崎市児童作品展

〔会 期〕 11月7日～11月9日

〔会 場〕 企画展示室2、ミュージアムギャラリー

〔入 場 者〕 2,224人

〔主 催〕 MOA 美術館川崎市児童作品展実行委員会

## 収集・整理・保存

### 1 収集

#### (1) 考古担当

〔収集方針〕

川崎市域で発掘・発見された考古資料を中心に、周辺地域の関係資料の収集活動を行っている。

〔寄贈資料〕

坂田全徳氏寄贈資料 遺物収納用コンテナ1箱（高津区久末361番地表採の縄文土器・石器）

清水義之氏寄贈資料 1点（宮内出土の古墳時代土器）

#### (2) 歴史担当

〔収集方針〕

川崎市域史に関わる歴史資料、および川崎を描いた絵画資料（絵図類・錦絵など）、また近現代の都市生活資料を中心に収集活動を行っている。

〔寄贈資料〕

吉田哲氏寄贈資料 175点（池田屋資料 古文書他）

鈴木一氏寄贈資料 4点（携帯電話、古写真）

鈴木恕氏寄贈資料 2点（長尾神社幟旗1対）

#### (3) 民俗担当

〔収集方針〕

川崎市域に伝えられてきた民俗資料を中心に収集を行っている。

〔寄贈資料〕

佐々木満寿子氏寄贈資料 2点（ポックリ下駄）

若宮八幡宮寄贈資料 95点（墨壺、匏など大工資料および「水の絵馬」）

吉田哲氏寄贈資料 13点（池田屋資料 民具）

内藤教雄氏寄贈資料 23点（手回しミシン、紙芝居他）

#### (4) 美術・文芸担当

〔収集方針〕

川崎市にかかわる作家の作品、資料の収集を行っている。

〔寄贈作品〕

中村美昭氏寄贈資料 21点（岡本かの子書籍類）

#### (5) グラフィック担当

〔収集方針〕

ポスターと現代版画、および関連資料の収集を行っている。ポスターでは特に、印刷技術の発達により多色刷り・大判のポスター製作が可能になった19世紀から20世紀

前半までのフランスを中心とするヨーロッパのポスターと、現代日本の優れたグラフィックデザイナーのポスター収集に力を入れている。版画ではポップ・アートを中心に収集している。26年度の収集は行っていない。

## (6) 写真担当

〔収集方針〕

国内外の重要なドキュメンタリー作品の収集ならびに写真史の上で貴重な作品資料の収集を行っている。26年度の収集は行っていない。

## (7) 漫画担当

〔収集方針〕

日本漫画史を通観できる作品・資料、日本と相互影響関係にある外国漫画資料を収集している。26年度の収集は行っていない。

## (8) 映画担当

〔収集方針〕

独立プロダクションの作品の収集を基本としている。26年度の収集は行っていない。

## (9) ビデオ担当

〔収集方針〕

20世紀の記録・表現として時代・社会及び文化を反映する貴重な映像を収集することを基本方針としている。26年度の収集は行っていない。

〔寄贈作品〕

濱館美枝氏 16mmフィルム 5巻 昭和3年昭和の大礼など 5点

## 2 整理・保存・修復

### (1) 考古担当

〔整理〕

市内出土の板碑、骨蔵器について状態確認を実施した。

### (2) 歴史担当

〔整理〕

平成25年度に引き続き、収蔵古文書の再整理を行うと共に、データベースの入力作業を進めた。特に25・26年度に収集した新収蔵資料について、中性紙封筒への袋詰め、目録データの作成を行った。

〔保存・修復〕

資料燻蒸 3回

池上家文書の裏打ち修復 9件

佐保田司家文書の裏打ち修復 1点

深瀬家文書の裏打ち修復 6点

### (3) 民俗担当

〔整理〕

平成26年度収集資料の受け入れに伴い、資料のクリーニング、注記、撮影、資料カード作成を実施した。また、民俗資料カードのデータ入力作業を行った。

〔保存・修復〕

資料燻蒸 3回

摺仏掛軸の軸装新調 9点

### (4) 美術・文芸担当

〔整理〕

企画展のうち、田中岑展、渡辺豊重展開催のために、収蔵作品の整理を行った。また、アートギャラリー展「本の美術」開催のため、書籍類と、中尾進作品の整理を行った。

〔保存・修復〕

資料燻蒸 2回

### (5) グラフィック担当

〔整理〕

収蔵作品のフラットニング・作品カード作成・データ化 800件

作品カード作成・データ化 700件

収蔵作品ナンバリング 1470件

〔保存・修復〕

資料燻蒸 2回

### (6) 写真担当

特になし

### (7) 漫画担当

〔整理〕

亜鉛版（約2000点）、片寄貢関連資料（約160点）、横木健二関連資料（約30点）、小川武関連資料（約100点）のカード作成（カード化、データ入力、画像処理、画像貼り込み等を含む）を行った。

〔保存・修復〕

資料燻蒸 3回

### (8) 映画担当

〔整理〕

寄贈16mmフィルム約530作品の状態チェックと整理作業および寄贈脚本資料の整理作業を行なった。

## (9) ビデオ担当

[整理]

実相寺昭雄 第3期寄贈資料(33箱)の寄贈から保存する資料を選定、整理。

## 3 収蔵品の貸出・他館への協力

### (1) 考古担当

[資料貸出] (7件 1,121点)

○黒川No.10 遺跡、下原遺跡、岡上遺跡、宮添遺跡出土品  
ほか1,029点(川崎市立柿生中学校)

○南原遺跡出土資料 49点(川崎市立南原小学校)

○東高根遺跡出土土器 一括(東高根森林公園)

○神庭遺跡出土土器 19点(神奈川県立中原養護学校)

○弥生時代食事模型 一括(横浜市歴史博物館)

○市内出土の古代仏教関連遺物 21点(神奈川県教育委員会文化遺産課)

○鷲ヶ峰遺跡出土石器 一括(川崎市宮前区役所)

[特別利用 6件 29点]

< 熟覧・撮影 >

○影向寺出土瓦 1点(川崎市教育委員会)

○白山古墳出土三角縁神獣鏡 1点(川崎市立東小倉小学校)

○市内出土の古代仏教関連遺物 24点(神奈川県教育委員会文化遺産課)

< 原版使用 >

○下原遺跡出土縄文土器 1点(川崎市教育委員会文化財課)

○鷲ヶ峰遺跡出土石器 一括(川崎市教育委員会文化財課)

< 模造 >

○三角縁神獣鏡(レプリカ) 1点(川崎市幸区役所)

### (2) 歴史担当

[資料貸出 1件 6点]

○「祐之地震道記」1点(神奈川県立歴史博物館、県博講座「災害史資料を読み解く」の関連資料展示)

○被災物品他 5点 川崎市平和館

[特別利用 27件 181点]

< 熟覧 >

○馬絹村文書 2点(個人)

○池上家文書 23点(立正大学)

< 撮影 >

○調布多摩川絵図 1点(個人)

○「祐之地震道記」1点(神奈川県立歴史博物館)

○上田家書簡 1点(個人)

○池上家文書 13点(個人)

○森家文書 14点(個人)

○鈴木家文書 73点(個人)

○成川家文書 7点(個人)

○「祐之地震道記」1点(大磯町郷土資料館)

○京浜電鉄川崎・鶴見住宅地他 6点(個人)

< 原版使用 >

○高野切 1点(公益財団法人日本習字教育財団)

○手回し洗濯機 1点(開隆堂出株式会社)

○川崎市市街地図 1点(東方出版株式会社)

○大師参詣脇道通行取締願 1点(YOUテレビ株式会社)

○関東下知状 1点(株式会社旺文社)

○高野切第二種 1点(公益財団法人日本習字教育財団)

○当所玉川最初鉄道橋之全図 1点(株式会社新泉社)

○ニヶ領用水絵図 1点(株式会社テレビ東京制作)

○川崎町木製水道管他 4点(公益財団法人川崎市生涯学習財団)

○武相中央鉄道近傍之図 1点(狛江市教育委員会)

○大日本職業別明細図之内 川崎市 他 11点(川崎市市民子ども局シティセールス広報室)

○「祐之地震道記」1点(平塚市博物館)

○日本鋼管株式会社(写真)他 1点(川崎区役所地域振興課)

○横浜精糖株式会社(写真)他 2点(川崎市総合企画局臨海部国際戦略室)

○川崎運河工場地帯他 5点(個人)

### (3) 民俗担当

[資料貸出 3件 40点]

○「地獄双紙」ほか 11点(大和市つる舞の里歴史資料館)

○鹿島田念仏講道具 25点(鹿島田念仏講中)

○「王禅寺丸柿出荷帳」4点(横浜市歴史博物館)

[特別利用 21件 96点]

< 熟覧 >

○「元三大師おみくじ判断」、「出雲たより御辻占」2点(個人)

○「水虎之図」『絵本百物語』ほか 4点(大和市つる舞の里歴史資料館)

○唐箕 25点(個人)

○乳母車、乳乞絵馬 2点(横浜市歴史博物館)

○「王禅寺丸柿出荷帳」12点(横浜市歴史博物館)

< 原版使用 >

○錦絵「髪切りの奇談」1点(平凡社)

○「水虎之図」1点(エディキューブ)

○足踏脱穀機、メリーティラー 2点(麻生文化協会)



- 『元三大師おみくじ判断』、「出雲たより御辻占」 2点(個人)
- 「神易辻占十番」1点(ミネルヴァ書房)
- 「河童像」「水虎之図」2点(八千代市立郷土博物館)
- 『絵本百物語』1点(見聞社)
- 『絵本百物語』「水虎之図」「地獄双紙」ほか28点(大和市つる舞の里歴史資料館)
- 影向寺「乳乞い絵馬」1点(宮前区観光協会)
- 『絵本百物語』1点(スタジオ・ジップ)
- 「水虎之図」1点(講談社)
- 「河童像」1点(フォルスタッフ)
- 「水虎之図」「化物絵巻」2点(カワイオフィス)
- 「王禅寺丸柿出荷帳」4点(横浜市歴史博物館)
- 『絵本百物語』1点(見聞社)
- 「黒電話」「炊飯器」2点(川崎市立百合丘小学校)

#### (4) 美術・文芸担当

[資料貸出] (5件 46点)

- 岩崎貴広 9点(DOMANI展 国立新美術館)
- 渡辺豊重 3点(渡辺豊重展 岩手県立美術館)
- 久保一雄 22点(東宝スタジオ展 世田谷美術館)
- 安田鞆彦 6点(大古事記展 奈良県立美術館)
- 安田鞆彦 6点(遊亀と鞆彦展 岐阜県立美術館、愛媛県立美術館)

[特別利用] (4件 10点)

< 原版使用 >

- 濱田庄司「白釉黒流掛大鉢」(婦人画報)
- 安田鞆彦「草薙の剣」(ディアゴステイーニ)
- 岡本かの子「河明かり」など(八木書房)
- 安田鞆彦「埴輪下絵」など(奈良県立美術館紀要)

#### (5) グラフィック担当

[資料貸出] (5件 18点)

- 横山明<燃え落ちる蝶> 1点(日本グラフィックデザイナー協会全国大会)
- 横山明<燃え落ちる蝶> 1点(「平和のカタチ」展 広島県立美術館)
- トゥールーズ=ロートレック<アンバサドゥールのアリストテッド・ブリュアン>他9点(「生誕130年 竹久夢二展」東京新聞/京都・岡山・日本橋・横浜の各高島屋)
- ルウ・ドーフスマン<ストラヴィンスキー「ノアの洪水」>他2点(「ペルソナ50周年記念展」ギンザ・グラフィック・ギャラリー)
- テオフィル=アレクサンドル・スタンラン<黒猫一座巡回公演>他5点(「エリック・サティとその時代」

展 Bunkamura ザ・ミュージアム)

[特別利用] (14件 33点)

< 原版使用 >

- トゥールーズ=ロートレック<アンバサドゥールのアリストテッド・ブリュアン> 1点(平凡社)
  - トゥールーズ=ロートレック<ムーラン・ルージュのラ・グーリュ> 2点(日本放送協会)
  - トゥールーズ=ロートレック<ディヴァン・ジャポネ>他4点(NHKプロモーション)
  - ミュシャ<煙草巻紙 ジョブ>他9点(朝日新聞社)
  - ミュシャ<ジスモンダ>2件(東阪企画)
  - パトリック・コールフィールド<ピクニック・セット>他2点(横須賀美術館)
  - トゥールーズ=ロートレック<ディヴァン・ジャポネ>他3点(ミューザ川崎)
  - トゥールーズ=ロートレック<エグランティエヌ嬢一座>他3点(NHKエデュケーショナル)
  - トゥールーズ=ロートレック<ジャヌ・アヴリル>1点(開隆堂出版)
  - トゥールーズ=ロートレック<ムーラン・ルージュのラ・グーリュ> 1点(東京大学出版会)
  - トゥールーズ=ロートレック<ムーラン・ルージュのラ・グーリュ> 1点(日本文教出版)
  - カッサンドル<ノルマンディ号> 1点(光村図書出版)
- < 熟覧 >
- 「バレエ・リュス第16期パンフレット」他3点(Bunkamura ザ・ミュージアム)

#### (6) 写真担当

[資料貸出] (3件 30点)

- 田附勝「東北」22点(ミュゼふくおかカメラ館)
- 遣欧使節団写真(品川歴史館)6点
- 日清戦争写真図 上巻[画像データとして]、日露戦役写真帖 第1巻[画像データとして]2点(幕末明治の戦争イメージ展 北海道立函館美術館)

[特別利用 15件 3594点]

< 原版使用 >

- 昭和30年代から40年代の川崎市内写真 1点(川崎市東京事務所)
- 昭和30年代から40年代の川崎市内写真 31点(川崎市市民子ども局シティーセールス)
- 昭和30年代から40年代の川崎市内写真 5点(川崎市財政局財政部庶務課)
- 昭和30年代から40年代の川崎市内写真 1点(川崎市財政局税務部市民税管理課)
- 遣欧使節団写真 6点(リゲル社)

- 昭和30年代から40年代の川崎市内写真 12点 (川崎市上下水道局経営管理部)
- 昭和30年代から40年代の川崎市内写真 1点 (日本トンボ学会)
- ダゲレオタイプに撮られた最初の日本人[慎兵衛、岩蔵] 2点 (播磨町郷土資料館)
- 昭和30年代から40年代の川崎市内写真 1点 (川崎市港湾局誘致振興課)
- 昭和30年代から40年代の川崎市内写真 1点 (東奥日報社)
- 昭和30年代から40年代の川崎市内写真 177点 (川崎市公文書館)
- 昭和30年代から40年代の川崎市内写真 1点 (川崎市環境局環境総合研究所)
- 昭和30年代から40年代の川崎市内写真 1点 (川崎市シティーセールス放送映像)
- <熟覧>
- 昭和30年代から40年代の川崎市内写真 3294点 (川崎市公文書館)
- <撮影>
- 遣欧使節団写真 55点 (品川歴史館)
- 「日清戦争写真図上巻 付録 立見枝隊牡丹台攻撃の真実 明治27年9月15日 平壤の戦い」 1点 (東奥日報社)
- NIPPON (1,19,20,25号) 表紙 4点 (小学館)

## (7) 漫画担当

- [資料貸出] (1件 88点)
- 横山裕一「トラベル」など作品 88点 (宮崎県立美術館 横山裕一×シュルレアリスム展)
- [特別利用] (33件 341点)
- <原版使用>
- ビゴー風刺画『トバエ』より「漁父の利」ほか 2点 (有評価問題研究所)
- ビゴー風刺画『トバエ』より「魚釣り遊び」ほか 2点 (株アフロ)
- ビゴー風刺画『トバエ』より「猿まね」 1点 (学校法人高宮学園代々木ゼミナール)
- 『東京パック』より「芋川棕三」 1点 (野田市郷土博物館)
- ビゴー風刺画『トバエ』より「メンザレ号の救出」 1点 (株アフロ)
- 鳥山石燕『画図百鬼夜行』ほか 129点 (株 KADOKAWA 角川学芸出版 ブランドカンパニー)
- 鳥山石燕『画図百鬼夜行』ほか 2点 (日本放送協会 知財センター)
- 『驥尾団子』より「郵便制度」 1点 (株ベネッセコー

- ポレーション)
- ビゴー風刺画『トバエ』より「メンザレ号の救出」ほか 2点 (株山川出版社)
- 鳥山石燕『画図百鬼夜行』ほか 13点 (株ファミリーマガジン)
- 「滑稽万国形勢新地図」 1点 (株ベストセラーズ)
- 鳥山石燕『画図百鬼夜行』ほか 2点 (株ジーグレイブ)
- ビゴー風刺画『トバエ』より「魚釣り遊び」 1点 (株サイドランチ)
- 鳥山石燕『画図百鬼夜行』ほか 4点 (株 集英社)
- 『驥尾団子』より「郵便制度」 1点 (再利用) (株ベネッセコーポレーション)
- 鳥山石燕『画図百鬼夜行』 1点 (株スパイスファクトリー)
- 『団団珍聞』より「ポーツマス条約 半分の鮭」 1点 (株 トップシーン)
- ビゴー風刺画『トバエ』より「猿まね」 1点 (再利用) (学校法人高宮学園代々木ゼミナール)
- 『東京パック』より「都会ヂャズ狂想曲」 1点 (株 小学館)
- 歌川国芳『化物忠臣蔵』ほか 7点 (有フォルスタッフ)
- 歌川国芳『化物忠臣蔵』ほか 7点 (再利用) (有フォルスタッフ)
- 鳥山石燕『画図百鬼夜行』ほか 5点 (有カワイオフィス)
- ビゴー風刺画『トバエ』より「魚釣り遊び」ほか 2点 (再利用) (株アフロ)
- 「滑稽欧亜外交地図」ほか 4点 (茨城県立歴史館)
- 『東京パック』より「軍国主義の風刺画」 1点 (株 新学社)
- 鳥山石燕『画図百鬼夜行』ほか 40点 (株ファミリーマガジン)
- ビゴー風刺画『トバエ』より「猿まね」 1点 (株山川出版社)
- ビゴー風刺画『トバエ』より「魚釣り遊び」ほか 5点 (株第一学習社)
- 鳥山石燕『画図百鬼夜行』ほか 32点 (有ブックポケット)
- <撮影>
- 「伝単」ほか 8点 (個人)
- <熟覧>
- 鳥山石燕「画図百鬼夜行」など 3点 (個人)
- 横山裕一「ドレスアップ」など 22点 (宮崎県立美術館)
- 『団団珍聞』など 37点 (町田市立国際版画美術館)

## (8) 映画担当

[資料貸出]

○ 35mm 映画フィルム「平和祈念都市ひろしま」「ひろしま 産業の再建」 2点 1件（広島市公文書館）

## (9) ビデオ担当

〔資料貸出〕

なし

# 調査研究

## 1 調査研究

### (1) 考古担当

多摩川流域遺跡群研究会との共同研究で、蟹ヶ谷古墳群の発掘調査を5年間で行う事業の第3カ年目の発掘調査を実施した。26年度の発掘調査は、第1・2・3号墳の3基の規模確認を行った。またこれに伴い、調査成果を市民に還元することを目的とした現地説明会を実施した。

### (2) 歴史担当

企画展「近代川崎人物伝」開催にあたり、川崎市初代市長石井泰助をはじめとする、近代川崎の発展の礎を築いた人物に関して調査し、成果を展示公開した。また企画展「日清・日露戦争とメディア」展に際し、市民ミュージアム所蔵石井家文書に含まれる軍事郵便の調査を行い、展示構成および内容に反映させた。その他、小林家寄贈資料の整理、袋詰め、データ化を行った。

### (3) 民俗担当

鶴見大学との共同研究「川崎市市民ミュージアムにおける収蔵品の文化財科学的調査研究」にもとづき、所蔵する石造物の保存方法について協議した。

また、企画展「近代川崎人物伝」開催にあたり、細王舎およびラ チッタデッラの創業者に関して調査し、成果を展示公開した。その他、小向獅子舞保存状況調査、栗谷・須賀神社の算額絵馬調査、金程の古文書調査など、市域の民俗文化財に関して、教育委員会文化財課と協力して調査を行った。

### (4) 美術・文芸担当

企画展「田中岑」展、平成27年度の企画展「渡辺豊重」展開催のための調査、研究を行った。また、アートギャラリー第3期「本の美術」展開催のため、中尾進、田中岑を中心に挿絵の下絵の調査、収蔵資料である書籍類の整理を行った。

### (5) グラフィック担当

横尾忠則展開催に際し、横尾忠則作品および関連文献の調査を行い、収蔵品に関しては、資料整備に伴う調査を日常的に行った。また、マガジン・カバー・コレクションについての調査研究を紀要にまとめた。

### (6) 写真担当

アートギャラリー第一期「顔」展の開催に伴い、写真

の黎明期から現代までの肖像写真を調査した。また、27年度開催の企画展「木村伊兵衛写真賞40周年展」のため、過去40年間の受賞作家の調査を行った。

の日記から－ 佐藤友理

## (7) 漫画担当

学習院大学との共同研究「川崎市市民ミュージアムにおける漫画関係資料の調査研究」にもとづき、下川凹天資料の調査研究を行い、その成果発表をアートギャラリーの展示によって発表した。また、28年度以降、当館での開催を検討する漫画展に関わる調査を行った。

## (8) 映画担当

毎月の企画上映において、上映作品に関する調査を行った。特に企画展示「横尾忠則 HUMAN ICONS」の関連上映では、展覧会にあたっての調査と合わせ、関連作品の調査を行い、特集上映に反映させた。また特集上映「脚色家 笠原和夫」では、脚本家についての調査研究を行った。

## (9) ビデオ担当

神奈川ニュース映画協会で作成した川崎市市制ニュースダイジェストの内容を検索できるようにするため、ナレーションをテキスト化したデータとDVD化した映像をavi拡張子の動画ファイルに変換し、FileMakerProバージョン13を使用したニュース項目ごとに閲覧できるプロトタイプを作成した。この手順について神奈川県博物館協会の博物館会報86号で報告した。

## 2 出版

### (1) 『川崎市市民ミュージアム紀要第27集』

川崎市市民ミュージアム紀要は、考古・歴史・民俗・美術文芸・グラフィック・写真・漫画・映画・ビデオ及び施設運営・管理などに関する論文・資料紹介から構成し、ミュージアム職員の日頃の調査研究の成果を発表したものである。

[内 容]

- 資料紹介 マガジン・カバー・コレクションの概要と特質 - 印刷技術の推移を中心に 平井直子
- 脚本のアーカイブ 山田太一テレビドラマの脚本紹介 濱崎好治
- 戦時期における漫画家の活動 下川凹天を事例として 鈴木麻記 (東京大学大学院学際情報学府社会情報学コース博士課程)
- 資料紹介 日露戦争期の軍事郵便について - 南河原石井家文書を中心に - 大西舞
- 幕末維新期の旗本家と知行村 - 長坂血鐘九郎家家臣



# 職員の派遣

## (1) 博物館

- 5月8日 中原区地域課題対応事業「歴史シンポジウム」中原市民館（学芸室長）
- 5月16日「絵馬について」多摩区の文化財入門講座（民俗担当）
- 6月7日「市民ミュージアムで先人の足跡を追う」川崎市民アカデミー（民俗担当）
- 7月15日「麻生区の年中行事」麻生老人福祉センター（民俗担当）
- 7月22日 職員研修「西丸子・歴史発見！」西丸子小学校（学芸室長）
- 7月17日 戸田小柳遺跡出土鏡の現地指導 戸田小柳遺跡発掘調査事務所（考古担当）
- 7月23日 「麦藁細工を作ってみよう」幸市民館（民俗担当）
- 7月31日「近代川崎人物伝」中原ゆうゆう会（民俗担当）
- 7月31日「川崎宿 麦藁細工を作ろう」川崎区役所（民俗担当）
- 8月1日「川崎宿 麦藁細工を作ろう」川崎区役所（民俗担当）
- 8月8日 小向獅子舞保存状況調査 文化財課（民俗担当）
- 9月12日「岡上と鶴見川」岡上分館（学芸室長）
- 10月1日「麦藁細工講座」教育文化会館（民俗担当）
- 11月6日「川崎の縄文海進」川崎市民アカデミー（考古担当）
- 11月14日「川崎宿と大師道」かながわボランティアガイド協議会 川崎大師平間寺（学芸室長）
- 11月14日「初代川崎市長 石井泰助」川崎区役所（学芸室長）
- 11月18日「古代人の遺跡と暮らし」宮前市民館菅生分館（考古担当）
- 12月6日「江戸時代の村－村人の生活と営み－」川崎市民アカデミー（学芸室長）
- 平成27年1月24日「なかはら発！地元再発見」中原市民館（学芸室長）
- 平成27年2月10日「総合的な学習の時間－夢に向かって－」宮内小学校（学芸室長）
- 平成27年2月13日「岡上の水とくらし」岡上分館（学芸室長）
- 平成27年2月19日「江戸庶民の信仰と暮らし」宮前市民館菅生分館（民俗担当）
- 平成27年2月23日「なかはらの魅力発信講座」中原

区役所（学芸室長）

- 平成27年3月4日「橋樹官衙遺跡群」有馬・野川生涯学習支援施設（学芸室長）
- 平成27年3月14日「馬絹古墳と影向寺」有馬・野川生涯学習支援施設（考古担当）
- 平成27年3月16日東海道かわさき宿交流館運営委員会（学芸室長）

## (2) 美術館

- 4月1日～平成27年3月31日（5回）川崎市アートセンター アルテリオ 上映企画委員会（映画担当）
- 6月19日～12月18日（全7回）友の会 映像部会「20世紀の重大な出来事を映像で学ぶ」講師（映像担当）
- 平成27年3月11日 東京国立近代美術館収集購入委員会（写真担当）
- 平成27年1月24日 なかはらフォトコンテスト表彰式参加及び講評（写真担当）
- 平成27年3月13日 多摩市民館市民ギャラリー展示指導

# 教育・普及

## 1 教育普及

学校や地域との連携を図るとともに、市民ミュージアムを身近に感じ活用してもらえよう事業を展開する。また、子育て支援事業としてのママカフェの実施やボランティア活動の組織化、及びその拡充を図る中でボランティアスタッフと共に事業を推進している。

### (1) スクールプログラム

市民ミュージアムの特性を活かし、市内の小・中・高等学校の児童生徒等を対象とし、学校での学習単元や社会体験に沿ったプログラムを学校等の教育機関と市民ミュージアムが協働して実施するプログラムである。

### ◎社会科教育推進事業

川崎市の公立小学校4年生を対象に、江戸時代に作られた二ヶ領用水の歴史と役割、当時の生活について学ぶプログラムである。各学校への参加希望調査と年間の日程を調整し、学校と市民ミュージアム間の送迎を行った。

日 程：7月2日～平成27年1月9日（61日間）  
会 場：ガイダンスルーム、逍遙展示空間、博物館  
展示室

講 師：教育普及担当

参加校：95校／113校（84％）

地区別参加

川崎区 17／20校（85％）

幸 区 13／13校（100％）

中原区 17／18校（94％）

高津区 14／15校（93％）

宮前区 14／17校（82％）

多摩区 9／14校（64％）

麻生区 11／16校（69％）

参加人数：10,502名（児童9,949名 引率教員553名）

バス借上げ：197台

### ◎博物館・美術館・総合学習プログラム

教育普及担当や学芸員の解説をつけた館及びバックヤード見学、民俗・考古・歴史の常設展示・企画展示の見学、アートギャラリー展、企画展の鑑賞、体験プログラム

日 程：通年

会 場：企画展示室1・2、体験学習室、バックヤード、  
研修室、常設展、アートギャラリー

対 象：小学生～大学生

講 師：教育普及担当、担当学芸員

参加人数：757名 29校

### ◎出張プログラム

学芸員が学校・学校周辺遺跡等に出向いて、学校の要望に沿ったプログラムを行った。

○「縄文時代南原小の下にあった遺跡の説明」

日 程：4月16日

対 象：南原小学校 54名

○「実物資料で学ぶ川崎の遺跡」

日 程：4月17日

対 象：新城小学校 127名

○「実物資料で学ぶ川崎の遺跡」

日 程：4月18日

対 象：高津小学校 184名

○「実物資料で学ぶ地域の遺跡」

日 程：4月21日

対 象：子母口小学校 193名

○「加瀬山での歴史学習 土器や古墳について」

日 程：4月24日

対 象：日吉小学校 117名

○「実物資料で学ぶ川崎の遺跡」

日 程：4月25日

対 象：宮崎小学校 204名

○「加瀬山での歴史学習 古墳について」

日 程：4月28日

対 象：南加瀬小学校 81名

○「縄文・弥生時代のまとめ」

日 程：4月30日

対 象：上作延小学校 91名

○「大昔の暮らし 梶ヶ谷周辺の遺跡」

日 程：5月13日

対 象：西梶ヶ谷小学校 91名

○「江戸時代の旅」

日 程：7月11日

対 象：新城小学校 127名

○「中原街道を中心とした学区（陣屋・御殿・小杉・丸子）の歴史」

日 程：11月18日

対 象：西丸子小学校 88名

○「道具のうつりかわり」

日 程：平成27年1月20日

対 象：中野島小学校 161名

○「道具のうつりかわり」

日 程：平成27年1月26日

対 象：百合丘小学校 102名

- 「道具のうつりかわり」  
日 程：平成27年1月27日  
対 象：西丸子小学校 97名
- 「道具のうつりかわり」  
日 程：平成27年2月2日  
対 象：上丸子小学校 78名
- 「道具のうつりかわり」  
日 程：平成27年2月9日  
対 象：中原小学校 110名
- 「道具のうつりかわり」  
日 程：平成27年2月10日  
対 象：高津小学校 167名
- 「道具のうつりかわり」  
日 程：平成27年2月17日  
対 象：菅生小学校 104名
- 「道具のうつりかわり」  
日 程：平成27年2月18日  
対 象：片平小学校 92名
- 「道具のうつりかわり」  
日 程：平成27年2月20日  
対 象：末長小学校 165名

### ◎職業体験

博物館についてのガイダンス、館内見学、学芸員の仕事、受付監視などを体験した。

- 日 程：通年
- 対 象：主に市内の中学2年生
- 講 師：教育普及担当、担当学芸員
- 参加人数：78名 19校

### ◎学校連携展示会

- 第63回川崎市中学校理科作品展  
主 催：川崎市立中学校教育研究会理科部会、  
川崎市市民ミュージアム  
会 期：9月13日～9月23日  
会 場：ミュージアムギャラリー  
参加人数：827名
- 第57回創造する子ども展  
主 催：川崎市教育委員会、川崎市造形教育連合会、  
川崎市市民ミュージアム  
会 期：11月12日～11月18日  
会 場：企画展示室2  
参加人数：3,387名
- 第48回川崎市立中学校造形展  
主 催：川崎市教育委員会、川崎市立中学校教育  
研究会美術科部会、川崎市市民ミュージアム

- 会 期：11月28日～12月4日
- 会 場：企画展示室2
- 参加人数：794名

### ◎大学連携

大学など専門的な高等教育機関と連携し、学生が活躍する場を提供する。

- アートツールキャラバン  
横浜国立大学の教育人間科学部美術教育ゼミナールが開発したアートツールを使用した造形ワークショップを開催した。  
日 程：11月15日、11月16日  
会 場：逍遥展示空間  
対 象：幼児から小・中学生  
講 師：横浜国立大学教育人間科学部A Eゼミ  
参加人数：570名

### ◎ABCーアート・ブック・クラブ

中高生を対象とし、市民ミュージアムの収蔵分野の技法を使った、本を制作するワークショップ。平成26年度は、版画を題材に、「自分だけの1冊の本」を作るワークショップを計4回実施した。

- 参加者：南菅中学校美術部
- 参加人数：22名

- 第1回 オリエンテーション  
日 程：7月4日（金）  
会 場：南菅中学校 美術室  
講 師：笹川アツコ（ブックデザイナー）、長谷川文子（版画家）、岡田晴菜（版画家）
- 第2回 版画制作ワークショップ  
日 程：第1期 8月5日～7日  
第2期 8月19日～21日  
会 場：アトリエ、体験学習室等  
講 師：第1期 岡田晴菜（版画家）、竹内佳奈（版画家）  
第2期 長谷川文子（版画家）、竹内佳奈（版画家）、担当学芸員
- 第3回 製本ワークショップ  
日 程：9月24日  
会 場：南菅中学校 美術室  
講 師：笹川アツコ
- 第4回 活版印刷ワークショップ  
日 程：11月7日  
会 場：南菅中学校 美術室  
講 師：笹川アツコ、印刷博物館

## (2) 子育て支援

### ◎ママカフェ

幼いころから博物館・美術館に足を運び、文化に親しみを持てるような場を提供する。子育て中の親同士が気軽に集まり、情報を提供・収集する場として活用された。

日 程：第1・第3木曜日

会 場：ラウンジ

対 象：乳幼児～未就学児 25組

参加人数：親子 94組 194名

見守りのボランティアスタッフ：11名

### ◎ベビーカーツアー

乳幼児がいる保護者の来館を促し、幼児が文化芸術に触れる機会を作ることを目的として実施。展示解説と親子で自由見学できるワークシートを用意し実施した。

日 程：通年、企画展ごと計6回実施

会 場：企画展示室1・2

対 象：乳幼児～未就学児の親子6組

参加人数：親子 16組 32名

見守りのボランティアスタッフ：11名

## (3) ミュージアムプログラム

ミュージアムの収蔵品や展示、研究内容を反映した様々なプログラムを実施し、広く市民に還元する普及活動を行った。

### ◎博物館プログラム

#### ○博物館講座

テーマ：暮らしと建物

第1回「民家の保存継承手法における川崎と横浜」

日 程：8月23日

講 師：大野敏（横浜国立大学准教授）

第2回「神奈川の村を中心に民家の見方を探る」

日 程：9月20日

講 師：外山明彦（日本民家園担当課長）

第3回「文化財住宅の公開方法 生活史の視点から」

日 程：10月25日

講 師：小泉和子（小泉和子生活史研究所代表）

会 場：第2研修室（9月20日は日本民家園）

参 加 料：500円

参加人数：25名

○体験講座紋切りワークショップ「暮らしの中で生きている文様をキリガミであそぶ江戸の切り紙もんきりあそび」

文様にターゲットをあて、ミュージアム収蔵資料の中の紋や、収蔵資料などを紹介しながら、江戸の「もんきりあそび」を体験するワークショップを実施した。

日 程：8月9日

会 場：第2研修室

講 師：下中菜穂（造形作家）

参 加 料：800円

参加人数：32名

### ○古文書講座

はじめて古文書を読む人のための4回連続入門講座。古文書を読んで、江戸時代の村の暮らしについて学んだ。

第1回「古文書は日本語です」

日 程：平成27年1月22日

第2回「小杉御殿文書を読んでみよう」

日 程：平成27年1月29日

第3回「村明細帳を読んでみよう」

日 程：平成27年2月5日

第4回「漢字仮名交じり文書を読んでみよう」

日 程：平成27年2月12日

会 場：中原図書館多目的室

講 師：担当学芸員

参 加 料：1,000円

参加人数：38名

### ○ミュージアム遺跡めぐり「多摩区果形の遺跡を歩く」

多摩区果形の山にひろがる、縄文時代の集落跡、古墳や横穴墓をめぐるツアーを実施した。

日 程：平成27年2月8日

講 師：担当学芸員

参 加 料：500円

参加人数：12名

### ○地域のお祭りを見る「白幡八幡大神の初卯祭蛇作り」

宮前区平の白幡八幡大神の境内で3月4日に行われる、初卯祭の準備「蛇作り」を見学した。

日 程：平成27年3月3日

講 師：担当学芸員

参 加 料：200円

参加人数：4名

### ○ミュージアム歴史散策「久本・末長周辺をめぐる」

江戸時代の絵図を片手に、旧久本村と末長村をめぐる、社寺などを訪れた。

日 程：平成27年3月14日  
講 師：担当学芸員  
参 加 料：500円  
参加人数：15名

## ◎美術館プログラム

### ○アートギャラリー第1期ワークショップ「思い出のかけらをあつめて大きな顔をつくろう」

参加者が撮影した写真を貼り合わせて、顔をテーマにした作品を制作するワークショップを開催した。

日 程：7月5日  
会 場：アートギャラリー  
講 師：進藤環（美術家）  
参 加 料：300円  
参加人数：8名

### ○アートギャラリー第2期ワークショップ「ふみふみこのひらめき☆マンガ教室」

漫画を読むこと・つくることのおもしろさや、プロの漫画家とかかわる喜びを実感できるワークショップを開催した。

日 程：9月13日  
会 場：第2研修室  
講 師：ふみふみこ（漫画家）  
参 加 料：300円  
参加人数：10人

### ○「田中岑」展関連イベント ワークショップ「油絵具できいろ・いろいろ」

展示室で作品を鑑賞し、画家の目線から見た作品の持つ魅力を子どもたちに伝え、田中岑氏の晩年の作品に特徴的な黄色の油絵具を使用して、実際に油絵を描くワークショップを開催した。

日 程：10月5日  
会 場：体験学習室、企画展示室2  
講 師：鈴木俊輔（画家）  
参 加 費：800円  
参加人数：10人

### ○現代アート展『藤村豪&内野清香ふたりの喧嘩は三人目の愉しみ』関連ワークショップ「塗り替えられた過去についての本」

トリュフォー作品『逃げ去る恋』内の過去の出来事を塗り替えるワンシーンをもとに、参加者から、自身の塗り替えられた過去の出来事についての話を

集め、製本化するワークショップを開催した。

日 程：11月16日  
会 場：第2研修室  
講 師：藤村豪&内野清香  
参 加 費：500円  
参加人数：5人

### ○アートギャラリー第3期ワークショップ「ピンホールシネマ・ワークショップ」

参加者が「つくる」「のぞく」「みる」という体験を通して、映像の仕組みを理解し、作品を制作するおもしろさを実感できるワークショップを開催した。

日 程：11月24日  
会 場：逍遥展示空間  
講 師：フワリラボ（現代作家）  
参 加 費：1,400円  
参加人数：10人

### ○魔法の美術館ひかりのたまてばこワークショップ「光を感じるクリスマスアトリースをつくろう!!」

講師の作品を鑑賞後、参加者が光をテーマにしたオリジナルの作品を制作するワークショップを開催した。

日 程：12月14日  
会 場：体験学習室、企画展示室1  
講 師：小松宏誠（アーティスト）  
参 加 費：500円  
参加人数：19人

## ◎福祉プログラム

### ○ダンスワークショップ「美術館でダンス心と身体をときほぐす」

障がいがある人とない人を対象とし、心と身体をのびのびと解放させることを目的としたダンスワークショップを開催した。

日 程：9月28日  
会 場：ミュージアムギャラリー  
講 師：中嶋夏（舞踏家、〈霧笛舎〉〈心と身体の学級〉主宰）

参 加 費：50円  
参加人数：22人

### ○高齢者福祉プログラム

市民ミュージアム収蔵品を用いた、回想法プログラム実施に向けた基盤づくりを行った。



回想法に関するレクチャー

日 程：平成27年3月5日

講 師：野村豊子（日本福祉大学大学院教授、  
東洋大学客員教授）

回想法ツール制作などに向けたミーティング

日 程：平成27年3月19日

講 師：野村豊子（日本福祉大学大学院教授、  
東洋大学客員教授）

### ◎障害者福祉プログラム

「視覚障害者とつくる美術鑑賞ワークショップ@川崎市民ミュージアム ミュージアムの「はじまり」をめぐるタイムトラベルツアー」

逍遙展示空間において、視覚に障がいがある人とない人でグループを作り、対話をしながら常設オブジェを鑑賞するプログラムを実施した。

日 程：平成27年3月22日

会 場：第3研修室、逍遙展示空間

講 師：視覚障害者とつくる美術鑑賞ワークショップ

参加人数：20名

### ◎学芸員研究ノート

市民ミュージアムの学芸員がそれぞれの専門分野における調査研究の成果を、市民に伝える連続講座を開催した。

日程・内容・講師：

10月18日「古鏡は語る一考古資料と文献資料からみた古代の青銅鏡の役割一」（新井悟学芸員）34名

11月22日「一兵卒のみた日露戦争一戦地からの軍事郵便一」（大西舞学芸員）24名

12月20日「柳田国男と川崎一小学校社会科カリキュラムへの取り組みを中心に一」（高橋典子学芸員）17名

平成27年1月17日「写真の保存について」（林司学芸員）17名

平成27年1月17日「少女マンガのルーツをたずねて～手塚治虫から水野英子まで～」（吉村麗学芸員）11名

平成27年1月24日「美術としての映画について～映画メディアと表現の変容～」（山田渉学芸員）11名

平成27年1月24日「多摩に生きた画家、田中岑～その色と絵肌～」（喜安嶺学芸員）15名

平成27年1月31日「収蔵品をひも解く～日清・日露戦争の写真記録～」（深川雅文学芸員）21名

平成27年1月31日「映像で見る昭和の時代～関東大震災の記録と復興、戦前から開戦まで、敗戦と終戦直後まで～」（濱崎好治学芸員）27名

会 場：多摩区役所601会議室

参 加 料：無料

参加人数：177名

### ◎アトリエ一般開放

版画の普及を目指し、シルクスクリーンとリトグラフで制作活動をしている人を対象に、アトリエを一般開放し、市民活動の場を提供する事業を平成25年度から開始した。一般開放日にはアトリエ指導員が常駐し、利用者のサポートやプレス機・感光機等のメンテナンスを行った。また、指導員は初心者対象講座の講師も務めた。指導員には、制作活動支援を目的に若手版画家を起用し、アトリエを自主制作の場として提供した。年度末には、ミュージアムギャラリーで指導員の成果発表となる展覧会を開催した。

#### 【一般開放】

日 程：6月～平成27年3月の毎週日曜日及び第2・4土曜日 計46日／92回

午前の部10：00～13：00、午後の部13：30～16：30

会 場：アトリエ

指 導 員：長谷川文子（シルクスクリーン）・岡田晴菜、  
竹内佳奈（リトグラフ）

利 用 料：1コマ1,300円

利用人数：のべ90名

#### 【初心者対象講座】

○「リトグラフ初心者のための2日間連続講座」

日 程：6月14日・15日

会 場：アトリエ

講 師：岡田晴菜

参 加 料：3,000円

参加人数：3名

○「シルクスクリーン初心者のための2日間連続講座」

日 程：6月28日・29日

会 場：アトリエ

講 師：長谷川文子

参 加 料：3,000円

参加人数：10名

#### 【成果発表展】

○第2回版画アトリエ一般開放 指導員3人展  
「重なる情景」

会 期：平成27年3月17日～31日

会 場：アートギャラリー3

観 覧 料：無料

○オープンスタジオ&アーティスト・トーク

日 程：平成27年3月21日

会場：アートギャラリー3、アトリエ  
参加人数：22名

#### (4) さまざまな団体と新たな連携

##### ◎おやし de ミュージアム

川崎市内の市民団体「川崎おやし連」と市民ミュージアムの連携事業を実施した。各団体が、昔ながらの遊びや工作を体験できるブースを出店し、子どもから大人まで誰でも参加できるイベントを実施した。

日程：7月19日

場所：逍遙展示空間

講師・参加者：おやし考、いたか、しらはた21、  
ま・いい会、おいでよ会から31名  
参加人数：86名

##### ◎お正月 de ミュージアム

川崎市内の市民団体「川崎おやし連」と市民ミュージアムの連携事業を実施した。凧や羽子板作りなどのお正月の遊びや工作を体験できるイベントを実施した。

日程：平成27年1月12日

場所：逍遙展示空間他

講師・参加者：おやし考、いたか、しらはた 21、  
ま・いい会、おいでよ会から 29 名  
参加人数：450 名

#### (5) ボランティア活動

ミュージアムとの協働により、ミュージアムの事業をサポートするとともに、ボランティアが主体となる自主活動を企画し実施した。

##### ◎スクールプログラムサポート

社会科教育推進事業をはじめとした、スクールプログラムで来館する児童の見学時のサポート。  
活動参加人数：157名（登録者数29名）

##### ◎イベントサポート

ミュージアム主催のイベント、ワークショップや講座等のサポート。  
活動参加人数：34名（登録者数38名）

##### ◎チャイルドサポート

ママカフェ、ベビーカーツアーのサポート。  
活動参加人数：35名（登録者数11名）

##### ◎展示ガイド（博物館部門）

博物館展示室の常設の収蔵品についてのガイド。  
活動参加人数：81名（登録者数16名）

##### ◎展示ガイド（美術館部門）

常設オブジェとアートギャラリーについてのガイド。  
活動参加人数：58名（登録者数11名）

##### ◎ワークショップ

ミュージアムの収蔵品や展示に関連したワークショップを実施。  
活動参加人数：59名（登録者数28名）

##### ◎企画・運営

ボランティア主体となった企画の提案や運営。  
活動参加人数：94名（登録者数14名）

##### ◎ボランティア募集

前年度3月から新規ボランティアの募集を行い、25名が新規に登録した。  
ボランティアスタッフ登録人数75名（平成27年3月31日現在）

##### ◎研修等

###### ○ボランティア研修

「新規ボランティア研修」、「グループ別研修」のほか、「フォローアップ研修」を他館学芸員を講師に招き実施した。

###### ○ボランティアデー

展示ガイドやワークショップ等の、ボランティア活動を1日で体験できるイベントを実施した。また、ランチタイムミニコンサートとして、宮内中学校吹奏楽部のコンサートを中庭で開催した。

日程：10月19日

場所：逍遙展示空間他

参加人数：122名

ボランティア参加人数：36名

##### ◎ボランティア対象内覧会

ミュージアム主催企画展の内覧会を、友の会と合同で実施した。

## 2 実習生の受け入れ

### (1) 博物館担当

#### ◎館内実習

7月29日～8月9日  
日本大学 1名  
昭和女子大学 1名  
駒澤大学 1名  
学習院大学 1名  
国土館大学 1名  
聖心女子大学 1名  
関東学院大学 1名

### (2) 美術館担当

#### ◎館内実習

7月29日～8月9日  
横浜国立大学 1名  
日本映画大学 2名  
日本女子大学 1名

## 3 イベント

来館者が気軽に参加したり、楽しんだりできるイベントを開催している。10月にはアートを身近に楽しめるイベント「アートとあそぼう ブラーバ2014-かわさきアートフェスティバル-」を開催したほか、逍遙展示空間でコンサートを開催し、市民ミュージアムの活動をより広い層に紹介している。

#### ◎プロムナードコンサート

来館者が展示を鑑賞する合間に気軽に楽しんでもらうコンサート。出演者は公募している。

##### ○ぼろん

日 程：7月13日  
会 場：逍遙展示空間  
出 演：ぼろん（ピアノ）  
参加人数：97名

##### ○ファンタジーフルート

日 程：9月14日  
会 場：逍遙展示空間  
出 演：石井芳宏（フルート）、宇井加奈子

（フルート）、三田純子（フルート）、  
渡部寿珠（フルート）

参加人数：87名

##### ○神田斉

日 程：10月13日  
会 場：逍遙展示空間  
出 演：神田斉（ピアノ）  
参加人数：204名

##### ○クリスマスコンサート

日 程：12月14日  
会 場：逍遙展示空間  
出 演：リトルクラシック in Kawasaki  
大類朋美（ピアノ）、大島路子（ヴァイオリン）、  
レネ・ヴァン・ムンステル（チェロ）、荒幡  
陽子（フルート）、柳澤香澄（ファゴット）

参加人数：100名

#### ◎アートとあそぼう ブラーバ2014

##### -かわさきアートフェスティバル-

市民がアートを身近に感じてもらえる場を創出することを目的に、「BRA-BA（ブラーバ）」会員と市民ミュージアムが協力してアートフェスティバルを開催した。

日 程：10月12日・13日  
会 場：館全体  
料 金：無料  
参加人数：6,000名

#### [主なイベント内容]

○黒柳徹子×与勇輝トークショー「今、子どもたちに  
伝えたいこと」

日 程：10月12日  
会 場：映像ホール  
参加人数：270名

○ヒグマ春夫 パフォーマンスライブ

日 程：10月12日  
会 場：逍遙展示空間

○第1回ポートフォリオレビュー作品スライドショー

日 程：10月12日  
会 場：ミニホール

○Tokyo Voiz Choirライブ

日 程：10月12日  
会 場：逍遙展示空間

○ワークショップ「カンタン変身で顔シールを作る



- う！」  
 日 程：10月12日  
 会 場：研修室2  
 講 師：原游（画家）  
 参加人数：14名
- 山田太一×鬼海弘雄トークショー「豊かに生きるこ  
 との処方箋」  
 日 程：10月13日  
 会 場：映像ホール  
 参加人数：120名
- シンポジウム「建築レジェンドへの挑戦」  
 日 程：10月13日  
 会 場：映像ホール  
 出 演：五十嵐太郎（建築批評家・建築史家）、  
 西澤徹夫（建築家）、山中新太郎（建築  
 家）
- 第2回ポートフォリオレビュー@川崎市市民ミュージ  
 アム  
 日 程：10月13日  
 会 場：研修室3  
 講 師：一花義広（リプロアルテ代表）、小菅智和  
 （インディペンデントプロデューサー）
- 祝祭音楽劇「走れメロス」  
 日 程：10月13日  
 会 場：逍遥展示空間  
 出 演：カワサキアリス（劇団）
- フィナーレコンサート  
 日 程：10月13日  
 会 場：逍遥展示空間  
 出 演：小原孝（ピアニスト・作曲家）、桂米太  
 郎（落語家）、長谷川初範（俳優）  
 参加人数：200名
- ワークショップ「桂米多朗のミュージアム落語講  
 座」  
 日 程：10月13日  
 会 場：ガイダンスルーム
- ワークショップ「折り紙で切り絵入門」  
 日 程：10月13日  
 会 場：研修室2  
 講 師：藤田正俊（きりえ作家）  
 参加人数：15名
- 琵琶歌「新撰組」  
 日 程：10月12日・13日  
 会 場：総論展示室  
 出 演：Ash（演出家・琵琶奏者）
- 李容旭 ライブ・ワークショップ  
 日 程：10月12日・13日  
 会 場：エントランスホール
- 映画「物置のピアノ」上映&トークショー  
 日 程：10月12日・13日  
 会 場：映像ホール  
 出 演：以内千晶（監督）、橋内裕人（プロデュー  
 サー）、武重邦夫（企画製作）、芳根京  
 子（主演）  
 料 金：一般1,000円、大学・高校生・65歳以上  
 800円、小中学生600円、幼児など無料  
 参加人数：62名
- 撮って、プリント、展示してみよう！  
 日 程：10月12日・13日  
 会 場：研修室周辺  
 講 師：新納翔（写真家）
- 立体作品展示  
 日 程：10月12日・13日  
 会 場：ミュージアム各所
- 川崎発、写真の未来展  
 日 程：10月5日～13日  
 会 場：ミュージアムギャラリー2  
 出品作家：大栗恵、川本健司、千蔵ゆかり、名川明  
 宏、西山功一、矢島陽介、山下隆博
- フードマルシェ、ハンドメイド&ブックマルシェ、  
 福島県桑折町物産展  
 日 程：10月12日・13日  
 会 場：中庭

## 4 広報活動

市民ミュージアムの活動を市民の方々に理解していただくため、また、市民ミュージアムで開催される催し物をより多くの人に認知していただき来館していただくための活動を行っている。

### (1) 定期刊行物の作成と配布

下記の刊行物を市内の市民館、図書館、文化施設、情報プラザ、学校関係等および市外の類似施設、マスコミ関係等に配布した。

- 『ミュージアムニュース 91号・92号・93号』  
 〔仕様〕A4判 8ページ  
 〔発行〕年3回 8,000部発行
- 『ミュージアムカレンダー・年間スケジュール』  
 〔仕様〕524×297mm 6ツ折  
 〔発行〕年5回 15,000部発行

## (2) マスコミへの情報提供

新聞・雑誌・テレビなどのマスコミで紹介されることによる広報効果は非常に大きく、各種媒体との継続的で良好な関係を維持することは重要である。市民ミュージアムでのさまざまな企画事業を紹介するため300～350社に対して継続的にプレスリリースを行っている。

## (3) 企画展等の広報

各種企画事業のうち、企画展や企画上映など規模の大きな事業に関しては、3ヶ月程前から広報計画を立て、各担当者と協力して広報活動を行っている。

ポスター、チラシの配布先も事業の内容に合わせて、その都度調整している。それぞれの事業に関しては、各種媒体に掲載された記事を整理し、報告書を作成し、以後の事業の展開および効果的な広報活動の実施に役立っている。

その他に、川崎市と連携した広報活動や、館内外の広報掲示板の管理を行う等、地域に根ざした広報を心がけている。

## (4) ホームページ・SNSの運用

ホームページ・SNSを利用し、展覧会・イベント情報等を迅速に情報発信している。

また、利用者にとってより使い易いように一部ホームページのデザイン修正を行っている。

## 5 友の会

友の会は、市民ミュージアムの事業に協力し、地域の文化・芸術の振興を図る団体で、総務部、企画部、広報部の3つの部と4つの学習部会で構成されている。

友の会と市民ミュージアムの協力関係をより充実すべく、友の会会長、友の会役員と市民ミュージアムの職員による連絡会を毎月1回開催し、課題や今後のあり方について検討を重ねた。

正会員74名、賛助会員1名（平成27年3月31日現在）

### (1) 会議

#### ◎総会

日 程：6月14日（土）

場 所：ガイダンスルーム

議 案：平成25年度活動報告、収支決算報告及び会計監査報告並びに平成26年度活動計画、及び予算など

#### ◎役員会

例 会：毎月第4土曜日（休館中は、第4金曜日）

会 場：活動普及室

出席者：会長、副会長、会計、会計監査、総務部長、企画部長、広報部長及び各学習部会（古文書講読・写真・映像・版画）の代表者

## (2) 活動報告

#### ◎総務部

発送業務、ミュージアム主催のビデオ上映会への協力、会費納入管理、会員の募集・PR業務、会員の更新案内、会員証の発行、会員に対する諸通知の管理などの庶務事項一般を担当した。

#### ◎企画部

企画展への参加呼びかけ、他館見学、歩いて学ぶ会を企画・実施した。

#### ○他館見学

日 程：9月10日

内 容：東芝未来科学館見学

日 程：平成27年1月29日

内 容：川崎市藤子・F・不二雄ミュージアム見学

#### ○歩いて学ぶ会

日 程：12月2日

内 容：大山街道を歩く（梶ヶ谷駅～二子新地駅）

講 師：中平龍二郎（『ホントに歩く大山街道』著者）

#### ◎広報部

会報「友の会」を年2回及び月刊「友の会だより」を発行した。また、友の会WEB（ホームページ）を運営した。

## (3) 学習部会

#### ◎歴史部会「古文書」を読む会

例 会 日：毎月第4水曜日

会 場：研修室

会 員 数：8名

内 容：当地の地方古文書等を購読し、会員相互で議論を行った。

#### ◎写真部会

例 会 日：毎月第3日曜日

会 場：活動普及室他

会 員 数：5名

内 容：会員が撮影した作品の鑑賞、情報交換、写真展見学、撮影会の開催

◎映像部会

例 会 日：毎月第3木曜日

会 場：ミニホール

会 員 数：7名

内 容：「20世紀の時代を映像で学ぶ」を主題とした、ビデオ観賞会の企画・開催と意見交換

◎版画部会

会 日：毎月第1・3水曜日、第2・4金曜日

会 場：アトリエ

会 員 数：9名

内 容：シルクスクリーン版画と銅版画の制作

# 資料

## 川崎市市民ミュージアム条例

昭和 62 年 12 月 22 日  
条例第 45 号

### (目的及び設置)

第 1 条 考古、歴史、民俗、美術、映像等に関する資料及び作品について収集、展示、調査研究等を行うこと等により、市民の観覧、学習、研究等に資するとともに市民相互の交流を推進し、もって市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、川崎市市民ミュージアム(以下「市民ミュージアム」という。)を設置する。

### (位置)

第 2 条 市民ミュージアムの位置は、川崎市中原区等々力 1 番 2 号とする。

### (事業)

- 第 3 条 市民ミュージアムは、おおむね次の事業を行う。
- (1) 考古、歴史、民俗、絵画、工芸、漫画、写真、ポスター、映像等に係る実物、複製、模型等の資料及び作品(以下「資料等」という。)の収集、保管、展示等を行うこと。
  - (2) 資料等に関する講座、講演会、映写会、研究会等を開催すること。
  - (3) 資料等に関する説明及び助言を行うこと。
  - (4) 市民の文化活動の助長、奨励及び指導を行うこと。
  - (5) 資料等に関する専門的及び技術的な調査研究並びに解説書、目録、年報、調査研究報告書等の作成及び頒布を行うこと。
  - (6) 博物館、図書館、学校、研究所その他の関係機関と協力し、刊行物及び情報の交換、資料等の相互貸借等を行うこと。
  - (7) 施設及び設備(以下「施設等」という。)を利用に供すること。

### (職員)

第 4 条 市民ミュージアムに館長その他必要な職員を置く。

### (利用時間及び休館日)

第 5 条 市民ミュージアムの利用時間及び休館日は、次のとおりとする。ただし、市長は、必要と認めるときは、利用時間を変更し、又は臨時に開館し、若しくは休館することができる。

利用時間	午前 9 時 30 分から午後 5 時まで
休館日	(1) 月曜日(国民の祝日に関する法律(昭和 23 年法律第 178 号)に規定する休日(以下「休日」という。)を除く。) (2) 休日の翌日(土曜日、日曜日及び休日を除く。) (3) 12 月 29 日から翌年の 1 月 3 日までの日(前 2 号に掲げる日を除く。)

### (観覧料)

第 6 条 市民ミュージアムが行う企画展(以下「企画展」という。)の展示会場へ入場しようとする者は、別表第 1

に定める観覧料を納付しなければならない。

### (特別利用)

- 第 7 条 資料等について熟覧、模写、模造、拓本、撮影及び原板使用(以下「特別利用」という。)をしようとする者は、市長の許可を受けなければならない。
- 2 前項の許可を受けた者は、別表第 2 に定める区分に応じ同表に定める特別利用料を納付しなければならない。
  - 3 前項の特別利用料は、許可と同時に納付しなければならない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。
  - 4 市長は、第 1 項の許可を受けた者がその条件に違反したとき、又は違反するおそれがあるとき、その他市長が管理上支障があると認めるときは、当該許可を取り消し、又は特別利用を制限し、若しくは停止することができる。

### (施設等の利用許可)

第 8 条 別表第 3 に掲げる市民ミュージアムの施設等を利用しようとする者は、市長の許可を受けなければならない。

### (施設等の使用料)

- 第 9 条 前条の許可を受けた者(以下「施設等利用者」という。)は、別表第 3 に定める使用料を納付しなければならない。
- 2 前項の使用料は、前納とする。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

### (施設等の利用許可の制限)

第 10 条 市長は、管理上支障があるとき、その他施設等の利用を不適當であると認めるときは、第 8 条の許可をしない。

### (施設等の利用許可の取消し等)

- 第 11 条 市長は、施設等利用者が次の各号のいずれかに該当すると認める場合は、第 8 条の許可を取り消し、又は施設等の利用を制限し、若しくは停止することができる。
- (1) 利用の目的に反したとき。
  - (2) 秩序を乱し、他人の迷惑となる行為をしたとき。
  - (3) 偽りその他不正な行為により許可を受けたとき。
  - (4) 災害その他の事故により利用できなくなったとき。
  - (5) 工事その他市の事業の執行上やむを得ない理由により利用できなくなったとき。
  - (6) 前各号に定めるもののほか、この条例又はこれに基づく規則に違反したとき。

### (施設等の変更禁止)

第 12 条 施設等利用者は、施設等を利用する場合において、これを模様替えし、又はこれに特別の設備を付設してはならない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

### (施設等の利用権の譲渡等の禁止)

第 13 条 施設等利用者は、施設等を利用する権利を第三者に譲渡し、又は転貸してはならない。

### (原状回復)

第 14 条 施設等利用者は、施設等の利用を終了し、又は第 8 条の許可を取り消され、若しくは施設等の利用を制限さ

れ、若しくは停止されたときは、直ちにその施設等を原状に回復し、又は返還しなければならない。

(取消し等による損害の責任)

第15条 市は、第11条第5号に該当する場合を除き、第8条の許可の取消し又は施設等の利用の制限若しくは停止によって、施設等利用者に生じた損害については、その責めを負わない。

(受講料及び入場料)

第16条 市長は、第3条第2号に規定する事業を行うに当たっては、受講料及び入場料を徴収することができる。  
2 前項の受講料及び入場料の額は、市長がその都度定める。

(観覧料等の減免)

第17条 市長は、特に必要があると認めるときは、第6条に規定する観覧料、第7条第2項に規定する特別利用料及び第9条第1項に規定する使用料(以下「観覧料等」という。)を減額し、又は免除することができる。

(観覧料等の還付)

第18条 既納の観覧料等は、還付しない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

(入館等の制限)

第19条 市長は、他人の迷惑となるおそれのある者その他管理上支障があると認められる者については、入館を断り、又は退館させることができる。

(損害の賠償)

第20条 資料等又は施設等を損傷し、又は滅失させた者は、市長の指示に従いこれらを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない理由があると認めるときは、賠償額を減額し、又は免除することができる。

(協議会)

第21条 市民ミュージアムの円滑な運営を図るため、市民ミュージアムに川崎市市民ミュージアム協議会(以下「協議会」という。)を置く。

- 2 協議会は、市民ミュージアムの運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べるものとする。
- 3 協議会は、委員10人以内をもって組織する。
- 4 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、学識経験を有する者並びに市民のうちから、市長が委嘱し、又は任命する。
- 5 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 6 委員は、再任されることができる。
- 7 前各項に定めるもののほか、協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、市長が定める。

(委任)

第22条 この条例の施行について必要な事項は、規則で定める。  
附 則

この条例の施行期日は、市長が定める。(昭和63年10月7日規則第85号で昭和63年11月1日から施行)

附 則 (平成6年10月7日条例第30号)

この条例は、平成6年10月17日から施行する。

附 則 (平成12年12月21日条例第78号)

この条例は、平成13年4月1日から施行する。

附 則 (平成17年9月30日条例第87号)

この条例は、平成18年4月1日から施行する。

附 則 (平成18年6月28日条例第53号)

この条例は、平成18年10月1日から施行する。ただし、第5条及び別表第1の改正規定並びに別表第2の次に1表を加える改正規定(展示室及び逍遥展示空間に係る部分に限る。)は、平成19年4月1日から施行する。

附 則 (平成21年12月24日条例第47号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成22年4月1日から施行する。

(川崎市スポーツ振興審議会条例等の一部改正に伴う経過措置)

12 この条例の施行の日(以下「施行日」という。)前に教育委員会が行った処分その他の行為で、施行日においてこの条例の附則の規定による改正後の次に掲げる条例の規定により当該行為を行うべきものが市長となるものは、施行日以後においては、市長が行った処分その他の行為とみなす。

(1) 川崎市スポーツ振興審議会条例

(2) 川崎市とどろきアリーナ条例

(3) 川崎市体育館条例

(4) 川崎市スポーツセンター条例

(5) 川崎市武道館条例

(6) 川崎市市民ミュージアム条例

(7) 川崎市岡本太郎美術館条例

(8) 川崎市大山街道ふるさと館条例

別表第1(第6条関係)

1 普通観覧料

企画展の観覧料は、1人につき2,000円の範囲内で市長が企画展ごとに定める。

2 共通利用券

種別	金額
100円券12枚つづり	1,000円
100円券25枚つづり	2,000円

備考 共通利用券は、次に掲げる施設の入場等に利用することができる。ただし、当該各施設への団体(20人以上をいう。)の入場等については、この限りでない。

(1) 市民ミュージアムにおいて市民ミュージアムが行う企画展の展示会場への入場

(2) 川崎市岡本太郎美術館条例(平成11年川崎市条例第25号)に規定する川崎市岡本太郎美術館の常設展又は企画展の展示会場への入場

(3) 川崎市青少年科学館条例(昭和46年川崎市条例第24号)に規定する川崎市青少年科学館のプラネタリウムの一般投影又は特別投影の観覧

(4) 川崎市立日本民家園条例(昭和42年川崎市条例第19号)に規定する川崎市立日本民家園への入園



### 3 特別入場券

市長は、7,000 円の範囲内で定期券その他の特別入場券を発行することができる。

別表第 2（第 7 条関係）

区 分	単 位	特別利用料
熟 覧	1 点 1 日	200 円
模 写		1,000 円
模 造		1,000 円
拓 本		1,000 円
撮 影	1 点	300 円
原板使用	1 枚	2,000 円

別表第 3（第 8 条、第 9 条関係）

#### 1 施設使用料

種 別	金額			
	午前 9 時 30 分 から午後 0 時 30 分まで	午後 1 時 30 分から午後 5 時まで	午前 9 時 30 分から午後 5 時まで	
ホ ー ル	映像ホール	7,800 円	9,100 円	16,900 円
	ミニホール	3,000 円	3,500 円	6,500 円
研 修 室	研修室 1	1,200 円	1,400 円	2,600 円
	研修室 2	1,200 円	1,400 円	2,600 円
	研修室 3	1,200 円	1,400 円	2,600 円
展 示 室	企画展示室 1			46,500 円
	企画展示室 2			45,000 円
	アートギャラリー			75,000 円
	多目的ギャラリー 1			9,000 円
	多目的ギャラリー 2			7,500 円
逍遥展示空間	30 分につき 2,300 円			

#### 備考

- 土曜日、日曜日及び休日に利用する場合の施設使用料の額は、規定使用料の 2 割増相当額とする。
- ホール、展示室又は逍遥展示空間の利用について入場料を徴収する場合の施設使用料の額は、次の表の入場料金の区分に従い、規定使用料（前項の規定を適用する場合は、同項の規定により算出して得た額）に増額の割合を乗じて得た額とする。

入場料金	増額の割合
1,000 円未満	15 割
1,000 円以上 3,000 円未満	20 割
3,000 円以上	30 割

- 第 5 条ただし書の規定により同条の表に定める利用時間の変更がされた場合で当該変更に係る時間（午後 5 時から午前 9 時 30 分までの時間に限る。）に利用するときの施設使用料の額は、当該利用の許可に係る時間 30 分につき、ホール又は研修室を利用する場合にあっては利用日の午後 1 時 30 分から午後 5 時までの利用時間の区分（以下「午後の区分」という。）の規定使用料（前 2 項の規定を適用する場合は、これらの規定により算出して得た額。以下この項に

おいて同じ。）の 30 分当たりの額の 2 割増相当額（10 円未満の端数は、切り捨てる。）、展示室を利用する場合にあっては利用日の午前 9 時 30 分から午後 5 時までの利用時間の区分の規定使用料の 30 分当たりの額の 2 割増相当額（10 円未満の端数は、切り捨てる。）、逍遥展示空間を利用する場合にあっては規定使用料の 2 割増相当額（10 円未満の端数は、切り捨てる。）とする。

- 午後 0 時 30 分から午後 1 時 30 分までの時間（以下「中間時間」という。）においてホール又は研修室を利用する場合（午前 9 時 30 分から午後 0 時 30 分までの利用時間の区分（以下「午前の区分」という。）又は午後の区分を利用する場合に限る。）の施設使用料の額は、当該利用の許可に係る時間 30 分につき、午前の区分の規定使用料（第 1 項又は第 2 項の規定を適用する場合は、これらの規定により算出して得た額）の 30 分当たりの額とする。ただし、午前の区分と午後の区分の当該 2 区分を引き続き利用する場合の中間時間の施設使用料は、無料とする。
- 設備使用料については、市長が別に定める。

# 川崎市市民ミュージアム条例施行規則

平成22年3月31日

規則第36号

(趣旨)

第1条 この規則は、川崎市市民ミュージアム条例（昭和62年川崎市条例第45号。以下「条例」という。）の施行について必要な事項を定めるものとする。

(事務の委任)

第2条 次に掲げる事務は、川崎市市民ミュージアム館長（以下「館長」という。）に委任する。

- (1) 条例第7条に規定する特別利用（以下「特別利用」という。）の許可、許可の取消し等に関する事。
- (2) 条例第8条の規定による施設等（条例第3条第7号に規定する施設等をいう。以下同じ。）の利用の許可（以下「利用許可」という。）に関する事。
- (3) 条例第10条の規定による施設等の利用許可の制限に関する事。
- (4) 条例第11条の規定による施設等の利用許可の取消し等に関する事。
- (5) 条例第17条に規定する観覧料等（以下「観覧料等」という。）の減額又は免除に関する事。
- (6) 条例第18条の規定による観覧料等の還付に関する事。
- (7) 条例第19条の規定による入館等の制限に関する事。

(観覧券等の交付)

第3条 館長は、条例第6条の規定による観覧料の納付と引換えに観覧券、共通利用券又は特別入場券を交付するものとする。

(特別入場券)

第4条 市長は、条例別表第1の3の規定により次の特別入場券を発行することができる。

- (1) 定期券
  - (2) 共通入館券
  - (3) 優待券
  - (4) 前売券
- 2 前項の特別入場券を発行する場合及びその額は、その都度市長が定める。

(特別利用の申請等)

第5条 条例第7条第1項の規定により特別利用をしようとする者は、特別利用許可申請書（第1号様式）をあらかじめ館長に提出しなければならない。

- 2 館長は、特別利用を許可したときは、当該申請をした者に特別利用許可書（第2号様式）を交付するものとする。
- 3 館長は、特別利用を許可するときは、次に掲げる条件を付することができる。

- (1) 条例第3条第1号に規定する資料等（以下「資料等」という。）の模写、模造、拓本、撮影若しくは原板使用によって得たもの（以下「模写資料等」という。）を展示し、又は出版物等に掲載するときは、川崎市市民ミュージアム（以下「市民ミュージアム」という。）の所蔵に係るものであることを適切な方法で表示すること。

- (2) 無断で模写資料等の再複製、出版物等への掲載、上映、放送又はこれらに類する行為をしないこと。
- (3) 資料等を撮影したときは当該撮影によって得たフィルム等を、模写資料等を出版物等へ掲載したときは当該出版物等を本市に提供すること。
- (4) その他館長が必要と認める事項

(特別利用の不許可)

第6条 館長は、次に掲げる資料等については、特別利用を許可しない。

- (1) 特別利用によって資料等の保存に影響を及ぼすおそれがあると認めるもの
  - (2) 寄託された資料等で寄託者の同意を得ていないもの
  - (3) 著作権が存する資料等で著作権者等の同意を得ていないもの
  - (4) その他館長が特別利用することを不適当と認めるもの
- 2 特別利用は、館長の指示に従って行わなければならない。

(施設等の利用許可の申請)

第7条 条例第8条の規定により施設等の利用許可を受けようとする者は、施設等利用許可申請書（第3号様式）を館長に提出しなければならない。

(施設等の利用許可の申請期間)

第8条 施設等の利用許可の申請期間は、次に定めるところによる。ただし、館長が特に必要があると認めるときは、この限りでない。

- (1) 企画展示室又はアートギャラリーを利用する場合にあっては、利用日又は利用開始日（連続して利用しようとする場合の最初の日をいう。以下同じ。）の属する年度の前年度の4月1日から利用日の1月前まで申請することができる。
- (2) 映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー又は逍遥展示空間を利用する場合にあっては、利用日又は利用開始日の属する月の6月前の月の初日から利用日の14日前まで申請することができる。
- (3) 研修室を利用する場合にあっては、利用日の属する月の6月前の月の初日から利用日の3日前まで申請することができる。
- (4) 前2号の規定にかかわらず、企画展示室又はアートギャラリーの利用と併せて映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー、逍遥展示空間又は研修室を利用する場合にあっては、第1号の規定を準用する。
- (5) 第3号の規定にかかわらず、映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー又は逍遥展示空間の利用と併せて研修室を利用する場合にあっては、第2号の規定を準用する。

(施設等利用許可書の交付)

第9条 館長は、施設等の利用許可をしたときは、当該申請をした者に施設等利用許可書（第4号様式）を交付するものとする。

(施設等使用料の納付)

第10条 条例別表第3の1に規定する施設使用料及び同表の2に規定する設備使用料（以下「施設等使用料」という。）は、館長が指定する日までに納付しなければならない。

- 2 前項の施設等使用料の納付方法は、川崎市金銭会計規則（昭和39年川崎市規則第31号）の定めるところによる。

（設備使用料）

第11条 条例別表第3の2の規定に基づき、市長が定める設備使用料は、別表のとおりとする。

（特別の設備の付設等）

第12条 条例第12条ただし書の規定により施設等を模様替えし、又は特別の設備を付設しようとする者は、特別設備等許可申請書（第5号様式）を市長に提出し、その許可を受けなければならない。

- 2 前項の申請書は、施設等利用許可申請書と同時に提出しなければならない。

- 3 施設等の利用許可を受けた者（以下「施設等利用者」という。）が、第1項の許可を受けて施設等を模様替えし、又は特別の設備を付設したときは、利用後直ちに自己の負担においてこれを原状に回復し、又は撤去しなければならない。

（施設等利用中止の届出）

第13条 施設等利用者が、その利用を中止しようとするときは、施設等利用中止届出書（第6号様式）を館長に提出しなければならない。

（利用期間等の制限）

第14条 館長は、施設等の利用の公平を図るため必要があると認めるときは、同一利用者が1月以内に施設等を利用する期間又は回数を制限することができる。

（観覧料等の減免）

第15条 条例第17条の規定により館長が観覧料等を減額し、又は免除することができる場合及びその額は、次のとおりとする。

（1）観覧料

- ア 学校教育法（昭和22年法律第26号）第1条に規定する幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校その他これらに準ずる教育施設が教育課程に基づく教育活動として観覧を行う場合 全額
- イ 児童福祉法（昭和22年法律第164号）第7条第1項に規定する児童福祉施設が当該施設の活動として観覧を行う場合 全額
- ウ 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項の規定による身体障害者手帳、戦傷病者特別援護法（昭和38年法律第168号）第4条第1項又は第2項の規定による戦傷病者手帳、原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律（平成6年法律第117号）第2条第3項の規定による被爆者健康手帳、療育手帳（知的障害者の福祉の充実を図るため、児童相談所又は知的障害者更生相談所において知的障害と判定された者に対して支給される手帳で、その者の障害の程度その他の事項の記載があるものをいう。）、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の規定による精神障害者保健福祉手帳等（以下「身体障害者手帳等」という。）の交付を受けている者（これらの者の介護者を含む。）が観覧を行う場合 全額

- エ その他館長が特に必要があると認める場合 その都度館長が定める額

（2）特別利用料

- ア 市又は国若しくは他の地方公共団体がその事業の用途に供することを目的とする場合 全額

- イ 私立の博物館、美術館、図書館、学校、研究所等がその事業の用途に供することを目的とする場合 全額

- ウ 専ら学術研究の用途に供することを目的とする場合 全額

- エ その他館長が特別の理由があると認める場合 その都度館長が定める額

（3）施設等使用料

- ア 市又は国若しくは他の地方公共団体がその事業のために利用する場合 5割相当額

- イ 市が構成員となっている協議会、研究会等が主催する行事等のために利用する場合 5割相当額

- ウ その他館長が特別の理由があると認める場合 その都度館長が定める額

- 2 前項第1号の規定による観覧料の減額又は免除を受けようとする場合にあっては観覧料減免申請書（第7号様式）を、前項第2号の規定による特別利用料の減額又は免除を受けようとする場合にあっては特別利用料減免申請書（第8号様式）を、前項第3号の規定による施設等使用料の減額又は免除を受けようとする場合にあっては施設等使用料減免申請書（第9号様式）を、あらかじめ館長に提出しなければならない。ただし、前項第1号ウの場合にあっては、身体障害者手帳等の提示をもって、当該申請書の提出に代えることができる。

（観覧料等の還付）

第16条 条例第18条ただし書の規定により観覧料等を還付することができる場合及びその額は、次のとおりとする。

- （1）災害その他の事故により観覧又は特別利用ができない場合 観覧料又は特別利用料の全額

- （2）管理上の必要から入場を禁止し、若しくは制限し、又は特別利用の許可を取り消した場合 観覧料又は特別利用料の全額

- （3）条例第11条第4号又は第5号の規定により、館長が利用許可を取り消した場合 施設等使用料の全額

- （4）企画展示室又はアートギャラリーの利用者が利用日の6月前までに利用中止を届け出た場合 施設等使用料の全額

- （5）企画展示室又はアートギャラリーの利用者が利用日の3月前までに利用中止を届け出た場合 施設等使用料の5割相当額

- （6）企画展示室又はアートギャラリーと併せて利用しない場合の映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー又は逍遥展示空間の利用者が利用日の1月前までに利用中止を届け出た場合 施設等使用料の全額

- （7）企画展示室又はアートギャラリーと併せて利用しない場合の映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー又は逍遥展示空間の利用者が利用日の14日前までに利用中止を届け出た場合 施設等使用料の5割相当額

- (8) 企画展示室、アートギャラリー、映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー又は逍遥展示空間と併せて利用しない場合の研修室の利用者が利用日の3日前までに利用中止を届け出た場合 施設等使用料の全額
- (9) 企画展示室又はアートギャラリーと併せて利用する場合の映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー、逍遥展示空間又は研修室の利用者が利用日の6月前までに利用中止を届け出た場合 施設等使用料の全額
- (10) 企画展示室又はアートギャラリーと併せて利用する場合の映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー、逍遥展示空間又は研修室の利用者が利用日の3月前までに利用中止を届け出た場合 施設等使用料の5割相当額
- (11) 映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー又は逍遥展示空間と併せて利用する場合の研修室の利用者が利用日の1月前までに利用中止を届け出た場合 施設等使用料の全額
- (12) 映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー又は逍遥展示空間と併せて利用する場合の研修室の利用者が利用日の14日前までに利用中止を届け出た場合 施設等使用料の5割相当額
- (13) 前各号に定めるもののほか、館長が特別の理由があると認める場合 その都度館長が定める額

(遵守事項)

第17条 市民ミュージアムを利用する者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 建物、附属設備又は資料等を汚損若しくは損傷し、又はそれらのおそれのある行為をしないこと。
- (2) 他人に迷惑をかけ、又はそのおそれのある行為をしないこと。
- (3) 展示会場において許可を受けずに、撮影、模写等を行わないこと。
- (4) 所定の場所以外で飲食又は喫煙をしないこと。
- (5) 施設等利用者は、定員を超えて入場させないこと。
- (6) 利用許可された以外の施設等を利用しないこと。
- (7) 所定の場所以外で火気を使用しないこと。
- (8) 危険物又は不潔物を持ち込まないこと。
- (9) 許可を受けずに物品の販売又は飲食の提供をしないこと。
- (10) 前各号に定めるもののほか、館長が指定する事項

(整理員の配置)

第18条 施設等利用者は、市民ミュージアムの利用に際し、市民ミュージアム内外の秩序維持のため必要な整理員を置かなければならない。ただし、館長が必要がないと認める場合は、この限りでない。

(管理上の入室)

第19条 施設等利用者は、管理のために立ち入る係員の入室を拒むことができない。

(損傷等の届出)

第20条 施設等利用者は、施設等を損傷し、又は滅失したときは、文書により速やかに館長に届け出なければならない。

(利用後の点検)

第21条 施設等利用者は、施設等の利用を終了したときは、係

員に報告し、その点検を受けなければならない。

(協議会の会長及び副会長)

第22条 条例第21条の規定に基づく川崎市市民ミュージアム協議会(以下「協議会」という。)に会長及び副会長を置く。

- 2 会長及び副会長は、委員の互選とする。
- 3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(協議会の会議)

第23条 協議会の会議は、会長が必要に応じて招集する。

- 2 会議は、委員の半数以上の出席がなければ開くことができない。
- 3 議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。
- 4 協議会は、会長が必要であると認めるときは、関係者又は専門的事項について学識経験を有する者の出席を求め、その説明又は意見を聴くことができる。

(委員の委嘱又は任命)

第24条 条例第21条第4項の委員は、次に掲げる者のうちから委嘱し、又は任命する。

- (1) 本市の区域内に設置された学校の教育職員
- (2) 本市の区域内の社会教育関係団体等から推薦された者
- (3) 本市の区域内に住所を有する考古、歴史、民俗、美術、映像等に関する知識及び経験を有する市民
- (4) 学識経験者
  - 2 前項第3号の市民のうちから委嘱される委員は、公募によるものとする。

(協議会の庶務)

第25条 協議会の庶務は、市民ミュージアムにおいて処理する。

(委任)

第26条 この規則の施行について必要な事項は、市民・子ども局長が定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 川崎市市民ミュージアム協議会規則(平成18年川崎市教育委員会規則第9号)の規定により委嘱され、又は任命された委員で、この規則の施行の際現に在任する委員は、その任期が終了するまでの間、この規則の規定に基づき委嘱され、又は任命されたものとみなす。

別表(第11条関係)

1 映像ホール設備使用料

品名	金額	単位	備考
音響・調光設備	7,000円	1回 1式	操作室内ワイヤレスマイクロホンを除く。
ワイヤレスマイクロホン	1,000円	1回 1本	
アップライトピアノ	2,000円	1回 1台	
16mm映写機	1,000円	1回 1台	固定式、映写室内
映画用スクリーン	500円	1回 1張	



## 2 逍遥展示空間設備使用料

品名	金額	単位		備考
音響設備	3,000 円	1 回	1 式	ワイヤレスマイクロホンを除く。
ワイヤレスマイクロホン	1,000 円	1 回	1 本	
照明設備	5,000 円	1 回	1 式	ピンスポットライトを除く。
ピンスポットライト	1,000 円	1 回	1 台	
ピアノ	10,000 円	1 回	1 台	ベーゼンドルファー（調律別）
金屏風	1,000 円	1 回	1 双	
山台	200 円	1 回	1 台	
幕類	1,000 円	1 回	1 張	

## 3 共通設備使用料

品名	金額	単位		備考
レクチャーテーブル	500 円	1 回	1 台	
オーバーヘッドプロジェクター	500 円	1 回	1 台	
16 mm 映写機	500 円	1 回	1 台	移動式
液晶プロジェクター	500 円	1 回	1 台	
持込器具	100 円	1 回	1 キロワット	

### 備考

- 1 本表においては、映像ホール、ミニホール又は研修室の利用にあつては午前9時30分から午後0時30分までの利用時間の区分（以下「午前の区分」という。）、午後1時30分から午後5時までの利用時間の区分（以下「午後の区分」という。）をそれぞれ1回として、企画展示室、アートギャラリー、多目的ギャラリー又は逍遥展示空間の利用にあつては4時間までごとに1回として扱う。
- 2 映像ホール、ミニホール又は研修室を午後5時から午前9時30分までの時間に利用する場合の設備使用料の額は、4時間までごとに1回として扱う。
- 3 映像ホール、ミニホール又は研修室を午後0時30分から午後1時30分までの時間（以下「中間時間」という。）において利用する場合の設備使用料の額は、30分につき、午前の区分を単位として利用した場合の規定使用料の30分当たりの額（10円未満の端数は、切り捨てる。）とする。ただし、午前の区分と午後の区分の当該2区分を引き続き利用する場合の中間時間の設備使用料は、無料とする。

## 企画展一覧（開館～平成25年度）

### 昭和63年度

1. モンパルナスの大冒険 1988.11.1～12.1
2. 子ども風土記 12.17～1989.1.16
3. グラフィック・パワー展 1.21～2.12
4. 岡本かの子の世界展 2.18～3.19
5. 写真家・濱谷浩展 3.25～4.23

### 平成元年度

6. リュブリアナ国際ビエンナーレ日本展 4.2～6.11
7. 笑いの世界・世界の漫画展 7.8～8.13
8. 閻魔登場 8.22～9.24
9. TREND' 89 現代写真の動向展 9.30～10.22
10. アガム展 10.28～12.17
11. 写真展 記憶の記念日（よみうり写真大賞10年の歩みから）  
1990.1.4～2.12
12. 藤ノ木古墳とその時代展 2.27～4.5

### 平成2年度

13. 女性のまなざし－日本とドイツの女性写真家たち－  
4.10～4.22
14. 昭和のマンガ展 4.28～6.10
15. 円鋸勝三 彫刻展 6.20～7.22
16. ミュージアムコレクション展 8.4～9.16
17. 木簡－古代からのメッセージ－ 10.9～11.12
18. 一佐藤惣之助生誕百年記念－多彩な惣之助展 11.21～12.24
19. 近代芸術の諸相 PART I 1991.1.19～2.24
20. 近代芸術の諸相 PART II 3.1～4.14

### 平成3年度

21. 岡本太郎展 4.27～6.23
22. 縄文文化の交流展 7.13～8.25
23. 道祖神の源流 9.7～10.20
24. 色相の詩学展－現代絵画・平面からのメッセージ－  
11.2～12.15
25. '92 ミュージアムコレクション展 1992.1.4～2.23
26. アン・リベルテ－現代フランスの写真展－ 3.6～3.29

### 平成4年度

27. 棟方志功展 4.18～6.14
28. ネイチャーワールド 動物写真家・岩合光昭の世界展  
7.4～8.16
29. 版画にみるポップアートとその周辺 8.22～9.27
30. 写真展 ルイス・ボルトツ法則 10.10～11.23
31. オキナワ展 1993.1.10～2.14
32. 原田泰治アメリカに行く 3.2～3.28

### 平成5年度

33. T A R O 萬華鏡 4.24～7.4
34. 妖怪展－現代に蘇る百鬼夜行 7.24～8.29



35. ルーアン美術館展 フランス絵画-黄金の19世紀  
10.16 ~ 11.14
36. 鳥山明の世界 12.4 ~ 1994.1.30
37. バウハウス-芸術教育の革命と実験- 2.12 ~ 3.27

#### 平成6年度

38. 東海道-東と西の交歓- 4.16 ~ 5.29
39. 岩下哲士 美の世界 6.25 ~ 8.5
40. 「川崎の文化財」展 8.27 ~ 10.10
41. 生誕100年記念 濱田庄司展 10.29 ~ 12.11
42. 「弥生の食」展 1995.1.21 ~ 3.12

#### 平成7年度

43. 安野光雄の世界展 4.22 ~ 6.11
44. 映画生誕100年記念展-シネマの世紀- 7.22 ~ 9.17
45. 海と人生-川崎で海苔が採れた頃- 10.3 ~ 11.12
46. 現代写真の動向1995 ANOTHER REALITY  
11.21 ~ 1996.1.28
47. 愛する人々への熱いメッセージ シャガールの傑作版画展  
2.10 ~ 4.7

#### 平成8年度

48. アジアの民族造形-衣・食・住・祈り・学び・芸能・遊び-  
4.27 ~ 6.16
49. 日本の漫画300年 -日本最大の漫画コレクション- 拳公開-  
7.20 ~ 9.8
50. 弘法大師信仰展 10.5 ~ 11.10
51. ドイツ現代写真展 遠・近ベッヒャーの地平  
11.24 ~ 1997.1.26
52. マリー・ローランサン展 3.18 ~ 4.15

#### 平成9年度

53. 没後20年 中村正義展 4.26 ~ 6.1
54. 怪獣ミュージアム 開田裕治の世界 [KAIJU ~ガンダム]  
7.19 ~ 8.31
55. -現代マンガのパイオニア-没後50年岡本一平展  
9.20 ~ 11.3
56. バウハウスの写真 11.20 ~ 1998.2.1
57. 世紀末芸術の華  
オーブリー・ピアズリー展 2.21 ~ 4.5

#### 平成10年度

58. -写生・下絵を中心とした- 安田靉彦展 4.11 ~ 5.24
59. 少女まんがの世界展-女性作家8人のまなざしと表現-  
8.15 ~ 9.27
60. ミュージアムコレクション展 I メディアと大衆  
10.3 ~ 11.15
61. ミュージアムコレクション展 II 博物館の眼  
11.21 ~ 12.20
62. 大ザビエル展-その生涯と南蛮文化の遺宝-  
1999.1.15 ~ 3.14

#### 平成11年度

63. ミュージアムコレクション展 III  
芸術都市へ・かわさき 4.24 ~ 6.6
64. 木村伊兵衛写真賞の軌跡 6.20 ~ 8.1
65. ホイッスラーからウォーホールまで  
-版画に見るアメリカ美術の100年- 8.14 ~ 9.19
66. アンセル・アダムスの世界 10.26 ~ 12.12
67. 大江戸マルチ人物伝  
-池上太郎左衛門幸豊- 2000.2.26 ~ 4.9

#### 平成12年度

68. グラフィック・デザインの本物展  
-20世紀・機械時代のグラフィック革命- 4.22 ~ 6.11
69. アニメ黄金時代 7.15 ~ 8.31
70. 縄文の華 9.9 ~ 10.22
71. 陰翳礼賛 フランスの現代写真  
-ジャン=クロード・ルマニーの視点- 11.3 ~ 12.17
72. -都市と社会の100年・私たちの暮らし  
-新世紀元年1901 / 2001 2001.1.27 ~ 3.25

#### 平成13年度

73. 呪いと占い 4.28 ~ 6.10
74. 偶然の振れ幅 amplitude of chance -  
「出来事の成り立ち」を記述する美術- 7.20 ~ 8.26
75. 東海道宿駅制度400年記念  
東海道-日本橋、そして川崎宿へ- 9.15 ~ 10.21
76. outer ⇔ inter 現代写真の動向 11.3 ~ 12.24
77. 明治の版画  
-岡コレクションを中心に- 2002.2.9 ~ 3.31

#### 平成14年度

78. 森村泰昌写真展 「女優家Mの物語」  
~M式ジオラマ(25m)付き~ 4.27 ~ 7.7
79. 明治の面影・フランス人画家ピゴーの世界展 9.7 ~ 10.27
80. 夢幻巡礼 映画美術監督・木村威夫の世界展  
11.23 ~ 2003.1.19
81. ポスターのユートピア  
ロシア構成主義のグラフィックデザイン 2.15 ~ 4.6

#### 平成15年度

82. 古代を考える I -郡の役所と寺院- 4.19 ~ 6.15
83. フランスコミック・アート展 7.5 ~ 8.31
84. 光の狩人 森山大道1965 - 2003 9.13 ~ 11.3

#### 平成16年度

85. 街角に咲いた芸術  
~世紀末フランスの華麗なポスター~ 4.3 ~ 5.30
86. 日本の幻獣-未確認生物出現録- 7.3 ~ 9.5
87. 21世紀の本居宣長-学問・交流・情報- 9.18 ~ 11.7
88. CLAMP 四(Su) MANGAアートは時空(とき)を超える  
2005.1.22 ~ 4.10

## 平成 17 年度

89. 時代を切り開くまなざし－木村伊兵衛写真賞の 30 年  
－ 1975 - 2005 4.23 ~ 6.19
90. ロシア民族学博物館アイヌ資料展  
－ロシアが見た島国の人びと－ 7.2 ~ 8.28
91. アメリカ展帰国記念 川崎・砂子の里資料館所蔵  
浮世絵名品展 9.17 ~ 10.16
92. 大 OH! 水木しげる展 11.19 ~ 2006.1.9
93. メイド・イン・カワサキ展  
第 1 部「川崎モノづくり物語」 1.21 ~ 2.26  
第 2 部「都市・川崎を創造する - メイド・イン・  
カワサキ現代美術賞展 -」 3.11 ~ 4.2

## 平成 18 年度

94. 「弥生・古墳・飛鳥を考える  
－古墳の出現とその展開－」 4.29 ~ 6.25
95. 名取洋之助と日本工房 1931 - 1945 7.8 ~ 9.3
96. レイモン・サヴィニャック展 9.16 ~ 11.5
97. 「横山光輝の世界展」 11.18 ~ 2007.1.8
98. みんなのドラえもん展－魅力のひみつ－1.20 ~ 2.25

## 平成 19 年度

99. 昭和ブギウギ 1945-64 4.21 ~ 6.3
100. 安彦良和原画展「勇者ライディーン」から  
「機動戦士ガンダム THE ORIGIN」へ6.16 ~ 8.19
101. こどもの毎日  
－みんなこうして大きくなった－ 7.14 ~ 8.19
102. 産業都市・カワサキのあゆみ 100 年 9.1 ~ 10.14
103. 「つわもの」どもの光と影  
－稲毛三郎とその時代－ 10.27 ~ 12.9
104. みんなのデザイン  
－グッドデザインと私たちの生活－ 10.24 ~ 12.16
105. 斎藤寿一展 青・風・宙の版画 12.23 ~ 2008.1.27
106. 川崎が生んだ世界の人形作家  
与勇輝－神様のすみか展 2008.1.12 ~ 2.3
107. 昔の暮らし・今の暮らし 2.9 ~ 3.30
108. 少女マンガパワー！  
－つよく・やさしく・うつくしく－ 2.16 ~ 3.30

## 平成 20 年度

109. オキナワ／カワサキ  
－二つの地をつなぐ人と文化－ 4.26 ~ 6.8
110. ブルーノ・ムナーリのアートとあそぼう！  
～みてさわってたのしんで～ 7.12 ~ 8.31
111. 暮らしと着物展 7.19 ~ 8.31
112. 開館 20 周年記念  
「人間国宝 濱田庄司」展 10.4 ~ 11.30
113. 開館 20 周年記念「ともに生きる－欲望・矛盾・創造  
－都市・自然・人・食・メディア」展 10.23 ~ 12.7
114. 広重「名所江戸百景」の世界  
－江戸の人たちの名所感覚－展 12.13 ~ 2009.1.12
115. 複々製に進路をとれ

- 粟津潔 60 年の軌跡 1.24 ~ 3.29
116. 昔の暮らし・今の暮らし 2009 1.27 ~ 4.5
117. 川崎ぐるっと博物館 2008.5.15 ~ 12.7

## 平成 21 年度

118. 横浜開港 150 周年  
幕末明治期の川崎とニッポン 4.18 ~ 6.7
119. 星野富弘展－一枝の花とはいえ－ 6.6 ~ 6.28
120. ハービー山口写真展 ポートレイツ・オブホープ  
～この一瞬を永遠に～ 6.20 ~ 8.16
121. サンデー・マガジンの DNA 展 7.18 ~ 9.13
122. 川崎・縄文・1 万年  
－大地に刻まれた生活と温暖化－ 8.29 ~ 10.12
123. 灯りの情景展－灯りと人の物語－ 10.24 ~ 2010.1.11
124. 2009 川崎フロンターレ 12.12 ~ 2010.1.11
125. 昔の暮らし今の暮らし 2010  
－くらしの道具のうつりかわり－展 1.19 ~ 4.4
126. 第 43 回かわさき市美術展 2.5 ~ 2.27
127. 安田毅彦展－歴史画誕生の軌跡－ 3.13 ~ 4.18

## 平成 22 年度

128. 横山裕一 ネオ漫画の全記録：  
「わたしは時間を描いている」 4.24 ~ 6.20
129. 絵図でめぐる川崎  
失われた景観をさぐる展 7.17 ~ 9.5
130. まど・みちお え てん -ある詩人の 100 年の軌跡、  
童謡・抽象画・詩－展 8.21 ~ 10.3
131. アイヌ－美を求める心展  
AINU - In pursuit of beauty 9.18 ~ 11.7
132. 木村伊兵衛写真賞 35 周年記念展 11.13 ~ 2011.1.10
133. 2010 川崎フロンターレ展 12.11 ~ 2011.1.10
134. 昔の暮らし今の暮らし 2011 1.22 ~ 4.3
135. 第 44 回かわさき市美術展 2.5 ~ 2.26
136. かわさきガラス WORLD2011 3.5 ~ 3.27

## 平成 23 年度

137. 岩合光昭どうぶつ写真展 4.16 ~ 6.26
138. 実相寺昭雄展－ウルトラマンからオペラ  
「魔笛」まで－ 7.16 ~ 9.4
139. ニヶ領用水ものがたり展 7.23 ~ 9.11
140. ユーモアのすすめ 福田繁雄大回顧展 9.17 ~ 11.6
141. 2011 川崎フロンターレ展「挑」 12.10 ~ 2012.1.9
142. 昔の暮らし今暮らし 2012 1.24 ~ 4.1
143. 第 45 回かわさき市美術展 2.18 ~ 3.3
144. 画の道八十年をたどる 結城天童回顧展 3.10 ~ 3.25

## 平成 24 年度

145. 林忠彦賞 20 回記念写真展 6.2 ~ 6.24
146. 郷土・川崎を掘る  
川崎考古学研究所の活動の軌跡 6.30 ~ 8.26
147. 川崎市市民ミュージアム・美術館名品展  
“都市と人間のポリフォニー” 7.28 ~ 9.9

148. 中村正義の《顔》展 9.15 ~ 10.14  
 149. さわって、ふんで、声かけて！映像神話の現在形  
 スタジオ・アッズ・ロ展—KATARIBE— 9.22 ~ 11.4  
 150. 2012 川崎フロンターレ展 “一体感” 12.8 ~ 2013.1.14  
 151. 昔の暮らし今の暮らし 2013 1.26 ~ 4.1  
 152. 第 46 回かわさき市美術展 2.9 ~ 2.23  
 153. 与勇輝展—物語のなかに— 3.2 ~ 3.24

## 平成 25 年度

154. 受け継がれた文化財「川崎大師の寺宝と信仰」  
 「文化財は語る…」 4.20 ~ 6.2  
 155. 新世代アーティスト展 in Kawasaki  
 セカイがハンテンし、テイク 7.20 ~ 9.29  
 156. マンガ・アニメ祭り  
 Part1. マンガ+プラス展 7.13 ~ 8.25  
 Part2. 夏休みアニメ祭り 7.13 ~ 8.25  
 Part3. -アニメ化 40 周年- ルパン三世展 9.7 ~ 11.10  
 157. カワサキ・シティ 日本を牽引する街 10.12 ~ 12.15  
 158. 2013 川崎フロンターレ展 “Wing” 12.14 ~ 2014.1.13  
 159. 昔の暮らし今の暮らし 2014 1.25 ~ 3.30  
 160. 第 47 回かわさき市美術展 2.8 ~ 2.22

## ギャラリー展示一覧

### グラフィックギャラリー（開館～平成 17 年度）

1. アール・ヌーボーとアール・デコのポスター展  
 1988.11.1 ~ 1990.3.18  
 2. 現代日本のグラフィックデザイナー展 Part I  
 3.21 ~ 9.  
 3. 現代日本のグラフィックデザイナー展 Part II  
 9.12 ~ 1991.3.17  
 4. ヨーゼフ・ボイス・ポスター・コレクション  
 -造形空間と政治空間-展 3.20 ~ 6.23  
 5. 現代日本のグラフィックデザイナー展 Part III  
 6.25 ~ 10.27  
 6. 色相の詩学展 11.2 ~ 12.15  
 7. ホックニー展 12.17 ~ 1992.4.29  
 8. アニメーション映画 s 原画展 5.2 ~ 5.31  
 9. オリンピックポスター展 6.2 ~ 8.2  
 10. クレス・オルデンバーグ  
 -『手持ちのノート』-展 8.4. ~ 11.29  
 11. 色彩・共鳴展 12.1 ~ 1993.2.28  
 12. 現代日本のグラフィックデザイナー展 Part IV  
 3.2 ~ 8.8  
 13. 描かれた時の人 —マリリン、スターリン、  
 サラ・ベルナル、そして…  
 前期： 8.10 ~ 10.11  
 後期： 11.17 ~ 1994.2.6  
 14. 粟津 潔展 2.12 ~ 4.10  
 15. 田名網敬一〔版画の仕事〕1967-1994 4.15 ~ 6.19

16. 夏の思い出— Some Views of Summer 展 6.23 ~ 9.11  
 17. 世紀末パリの街角展 11.3 ~ 1995.2.12  
 18. 旅への誘い—ポスターに見る 100 年間の旅展 2.14 ~ 4.23  
 19. HEAR TAND ART・ポップのまなざし  
 -ポップ・アートの版画展- 4.25 ~ 7.16  
 20. シネマとギャラリー 戦後映画ポスター展示 7.22 ~ 9.17  
 21. 芸術の楽しみ—世紀末とアール・デコ時代の展覧会  
 ポスターを中心に 9.22 ~ 1996.1.7  
 22. 詩によせる想い— 3 人の画家と文学 1.9 ~ 4.29  
 23. 現代版画の比較鑑賞 抑制と放縦 5.1 ~ 8.18  
 24. 劇場への招待—ポスターの中のドラマ— 8.21 ~ 11.17  
 25. 向秀男の広告美学（前期・後期） 11.19 ~ 1997.6.8  
 26. 無垢なる魂 アトリエ・エレマン・ブレザンの作家たち  
 8.30 ~ 11.30  
 27. オリンピック・ポスター展 12.2 ~ 1998.3.15  
 28. 街は紫煙に包まれ…  
 世紀末の嗜好品ポスター 3.17 ~ 6.14  
 29. コレクション・コレクション 1  
 現代版画名品展 6.16 ~ 9.13  
 30. コレクション・コレクション 2  
 19 世紀ポスター名品展 9.15 ~ 12.20  
 31. コレクション・コレクション 3  
 20 世紀ポスター名品展 12.22 ~ 1999.4.4  
 32. コレクション・コレクション 4  
 現代日本のポスター展 4.6 ~ 7.4  
 33. アメリカ版画名品展 7.6 ~ 10.17  
 34. アール・ヌーヴォーの女性たち 10.19 ~ 2000.1.23  
 35. 時代のシンボルマーク 1.25 ~ 4.9  
 36. ミュージアムコレクションによる  
 「グラフィックデザインのモダニズム」展 4.11 ~ 7.9  
 37. 楽しいポスターミュージアム 7.11 ~ 10.22  
 38. 木村恒久原画展 10.25 ~ 12.24  
 39. コレクションによるホックニーの版画展 2001.1.5 ~ 4.15  
 40. 博覧会の時代 4.17 ~ 7.15  
 41. 特別企画 没後 100 年記念 ミュージアムコレクション  
 に見るロートレックとその時代 7.17 ~ 10.28  
 42. カッサンドルとサヴィニャック 10.30 ~ 2002.2.24  
 43. デザインの教室  
 現代ポスターの表現と効果 2.26 ~ 6.2  
 44. 折元立身 グラフィック・アート+オブジェ 6.8 ~ 9.1  
 45. 詩によせる想い —ベン・シャーン、コールフィールド、  
 ホックニーの挿絵の世界 9.3 ~ 11.17  
 46. 夢幻彷徨 木村威夫のイメージ画 11.23 ~ 2003.1.19  
 47. 革命期のロシア・ポスター 2.7 ~ 4.27  
 48. 色彩の魅力・版画の魅力 5.1 ~ 8.31  
 49. 楽しいポスター・ショッピング 9.2 ~ 12.21  
 50. 劇場への招待 12.23 ~ 2004.4.4  
 51. 街角に咲いた芸術・アメリカとヨーロッパ諸国  
 4.6 ~ 7.4  
 52. 現代日本デザイン 100 選  
 Japanese Design Today 7.10 ~ 8.1  
 53. スポーツの祭・展  
 「オリンピックのポスター展」 8.6 ~ 2005.1.16

54.	-シリーズ写真展：現代写真の母型 2005 - サイト・グラフィックス—風景写真の変貌—展	1.20 ~ 4.10
55.	川崎の美術—川崎を描く／川崎で描く—	2.7 ~ 5.7
56.	つたえる美術—ポスター、写真、マンガのはじめて物語—	7.5 ~ 11.13
57.	スイス・コミック・アート展	9.16 ~ 12.25
58.	毎日国際マンガグランプリ 2005 受賞作品展	2006.1.3 ~ 2.12
59.	第 27 回読売国際	2.18 ~ 4.23
60.	WRITING Line LIGHTING Line : 筆跡と光跡	7.11 ~ 2006.1.29

## 写真ギャラリー（開館～平成 17 年度）

1.	戦後日本写真の展開（1945 - 1980）	1988.11.3 ~ 1989.5.1
2.	写真発明 150 年記念企画写真と人間 I（1850 - 1930）	5.3 ~ 8.27
3.	写真発明 150 年記念企画写真と人間 II（1930 - 1970）	8.30 ~ 1990.2.28
4.	都市の視点—写真と都市・その交感の軌跡—	3.3 ~ 6.22
5.	風土往来	6.26 ~ 9.30
6.	ヒューマン・ドキュメント—アメリカ：1930's—1940's	10.2 ~ 1991.2.3
7.	濱谷浩の地平	2.6 ~ 4.21
8.	特別企画 アデュー、エルスケン展	4.24 ~ 6.30
9.	かたちとイメージ—写真における造形と表現	7.3 ~ 9.29
10.	Matrix of Photography—現代写真の母型 Part I 柴田敏雄展	10.2 ~ 11.17
11.	Matrix of Photography—現代写真の母型 Part II 安田千絵展	11.20 ~ 1992.1.12
12.	Matrix of Photography—現代写真の母型 Part III 伊奈英次・小林のりお・畠山直哉	1.15 ~ 3.1
13.	Matrix of Photography—現代写真の母型 Part IV 白岡順展	3.3 ~ 4.12
14.	くらしのフォークロア—日々のドキュメント再訪—	4.15 ~ 7.5
15.	子どもの情景	7.7 ~ 9.6
16.	写真を見る～より深く、より豊かに～展	9.8 ~ 1993.2.14
17.	写真展ザ・スタア～憧れと思ひで～	2.18 ~ 4.25
18.	街と人の物語	4.28 ~ 7.18
19.	自然のイメージ	7.21 ~ 9.26
20.	都市の歴史空間	9.29 ~ 11.28
21.	同時代の視覚（I）田村彰英展	1994.1.19 ~ 4.10
22.	ヒューマン・リレーションズ	4.16 ~ 6.19
23.	ヒューマン・ドキュメントアメリカ 1930～40年代	7.28 ~ 9.11
24.	川崎市市制 70 周年記念プロジェクト カワサキ・モニュメント	11.3 ~ 1995.1.16
25.	濱谷浩の世界（1）	1.15 ~ 4.23
26.	パリの記憶	4.26 ~ 7.16
27.	シネマとギャラリー スタアの肖像展示	7.22 ~ 10.15
28.	満州・シベリア 江成常夫+新正卓 二人展—戦後50年、二人の写真家があらためて問いかける戦争と日本人の歴史—	10.17 ~ 1996.1.15
29.	風土往来	1.24 ~ 4.21
30.	戦後女性写真の展開	4.24 ~ 7.21
31.	こどもの情景	7.24 ~ 10.27
32.	写真のタイポロジー—その発現と展開—	10.30 ~ 1997.2.11
33.	濱谷浩の世界（2）	2.19 ~ 6.8
34.	写真の楽しみ I	8.27 ~ 1998.1.11
35.	写真の楽しみ II	1.13 ~ 4.5
36.	現代英国写真：カラム・コルヴィン作品展 七つの大罪と四終	5.12 ~ 6.28
37.	写真の楽しみ III アメリカの光と影 1930 年代～1940 年代	7.15 ~ 9.23
38.	川崎物語—昭和 30～50 年代の川崎	9.30 ~ 1999.3.14
39.	写真の楽しみ IV 風土再見	3.27 ~ 5.23
40.	現代写真の母型 MATRIX OF PHOTOGRAPHY1999 I. 金村修	6.1 ~ 7.11
41.	現代写真の母型 MATRIX OF PHOTOGRAPHY1999 II. unit2000/視力	7.20 ~ 8.22
42.	現代写真の母型 MATRIX OF PHOTOGRAPHY1999 III. LIGHT/SPACE—朝岡あかね・安彦さちえ・ハイナー・シリング—	8.31 ~ 10.11
43.	風景写真の相貌	10.19 ~ 2000.1.16
44.	現代写真の母型 MATRIX OF PHOTOGRAPHY1999 IV. 鈴木理策/吉村朗	1.25 ~ 4.9
45.	ミュージアムコレクションによる「グラフィック・デザインのモダニズム」展	4.11 ~ 7.9
46.	こどもの情景	7.12 ~ 10.1
47.	白岡順写真展「秋の日」	10.11 ~ 2001.2.4
48.	デジタルプリントでよみがえる笠倉家の乾板写真	2.7 ~ 5.13
49.	こどもの情景	5.23 ~ 9.30
50.	PORTRAITS：北島敬三写真展（現代写真家シリーズ：同時代のまなざしⅢ）	10.23 ~ 2002.2.3
51.	ヒューマン・イメージ	2.20 ~ 7.17
52.	新寄贈作品 資料展	2.20 ~ 7.17
53.	こどもの情景	7.20 ~ 10.14
54.	宮本隆司写真展 AFTER1995-2002	11.1 ~ 2003.1.19
55.	ロシア：1905 年×1917 年	2.7 ~ 5.11
56.	風土往来	5.21 ~ 8.17
57.	南仏写真記録プロジェクト ニュー・パースペクティブ—若き 6 人の写真家による南仏風景へ向けられた新たなまなざし—	8.29 ~ 11.24
58.	川崎物語—昭和 20 年代から 40 年代の川崎区—	12.4 ~ 2004.3.31
59.	パリの記憶	4.13 ~ 6.13
60.	谷岡ヤスジの世界展—天才キャラクターだもんね！	



- 6.15 ~ 9.26
61. 第10回口サンゼルス・オリンピック  
(1932年)の記録 9.30 ~ 2005.1.16
62. -シリーズ写真展:現代写真の母型2005  
-サイト・グラフィックス-風景写真の変貌-展 1.20 ~ 4.10

## 漫画ギャラリー (開館~平成17年度)

1. 特別展 手塚治虫の世界 1988.11.1 ~ 1989.4.23
2. 特別展 藤子不二雄の世界 4.25 ~ 9.3
3. 現代風俗をえぐった異色の漫画家  
富田英三展 9.5 ~ 12.3
4. はがき漫画展 12.5 ~ 1990.1.28
5. 似顔絵漫画展 1.30 ~ 5.13
6. 団団珍聞(まるまるちんぶん)展 5.15 ~ 9.16
7. 小島功展 9.18 ~ 1991.1.20
8. -告発の漫画家-まるやまふみお展 1.22 ~ 5.19
9. 近藤日出造展 5.21 ~ 9.29
10. 『パンチ』に描かれた日本像展 10.1 ~ 1992.3.1
11. やなせたかしの世界展 3.3 ~ 8.30
12. 漫画集団60年史展 9.1 ~ 1993.3.21
13. 明治の風刺画家・田口米作展 3.23 ~ 8.15
14. 漫画に記録された関東大震災展 8.17 ~ 1994.2.27
15. 子供漫画の開拓者 新関健之助展 3.1 ~ 9.11
16. ガロ30(サーティー)  
-伝説を創り続ける漫画雑誌の30年- 9.15 ~ 10.30
17. 読売国際漫画大賞傑作選展 11.3 ~ 1995.4.23
18. 読売国際漫画大賞傑作選展パートII 4.25 ~ 7.16
19. シネマとギャラリー 映画と漫画展示 7.22 ~ 9.17
20. 漫画にみる1945年 9.20 ~ 1996.2.18
21. 漫画にみる1946年 2.20 ~ 7.14
22. 漫画に記録された東京裁判展  
-清水昆の原画を中心に- 7.20 ~ 10.20
23. 読売国際漫画大賞傑作選 東アジアの漫画I・中国編  
10.22 ~ 1997.2.23
24. 第18回読売国際漫画大賞受賞作品展覧会 2.25 ~ 3.23
25. 読売国際漫画大賞受賞作品展覧会 諸国めぐり 3.25 ~ 6.8
26. 漫画作家 畑中純の挑戦-豊かな大地と水と人間と-  
6.14 ~ 8.24
27. 一平が育てた弟子たち 8.30 ~ 11.30
28. 漫画動物園「まったくZOO ZOOしいやつらだ」  
12.2 ~ 1998.3.29
29. 第19回読売国際漫画大賞展〔一般の部・大賞-入選の作品〕  
4.3 ~ 5.31
30. 第19回読売国際漫画大賞展〔一般の部・佳作、ジュニアの部〕  
6.5 ~ 8.2
31. 出版資料に見る少女まんが展 8.7 ~ 10.11
32. いい仕事してますねエ・・・  
-ヒトコマ漫画・職人づくし- 10.13 ~ 1999.2.28
33. 第20回読売国際漫画大賞展〔前半〕 3.2 ~ 5.5
34. 第20回読売国際漫画大賞展〔後半〕 5.7 ~ 7.4
35. 太平洋戦争前夜の漫画雑誌展 7.6 ~ 10.31
36. 明治ボンチ本の世界展 11.2 ~ 2000.2.27
37. 第21回読売国際漫画大賞展〔前半〕 2.29 ~ 4.30
38. 第21回読売国際漫画大賞展〔後半〕 5.2 ~ 7.2
39. アニメになったマンガ作品 7.4 ~ 10.9
40. 『滑稽新聞』の風刺漫画 10.11 ~ 2001.2.25
41. 第22回読売国際漫画大賞展 2.27 ~ 5.27
42. 楠勝平・つりたくにこ／2人の軌跡  
-新しいマンガ表現にかけた青春- 5.29 ~ 9.2
43. 19世紀フランス人漫画家  
ロビタが描いた未来 9.4 ~ 12.2
44. アジアINコミック  
-私たちはどこへ行くのか? - 12.4 ~ 2002.2.3
45. 第23回読売国際漫画大賞展 2.5 ~ 8.18
46. 『ジャパン・パンチ』創刊140年記念  
ワーグマンの描いた幕末・明治 8.20 ~ 10.27
47. 上村一夫の世界展 10.2 ~ 2003.1.26
48. 第24回読売国際漫画大賞展 2.7 ~ 7.13
49. 出版資料に見る日仏コミック交流史展 7.15 ~ 9.7
50. 漫画に描かれた日露戦争前夜  
-政治・外交・社会- 9.9 ~ 2004.2.1
51. 第25回読売国際漫画大賞展 2.3 ~ 4.11
52. 19世紀フランスの諷刺とユーモア 4.13 ~ 6.13
53. 谷岡ヤスジの世界展  
-天才キャラクターだもんね! 6.15 ~ 9.26
54. 漫画に見る日本のスポーツ史 9.30 ~ 12.26
55. 毎日国際マンガグランプリ2004  
受賞作品展 2005.1.5 ~ 2.6
56. 第26回読売国際漫画大賞受賞作品展 2.8 ~ 4.10

## アートギャラリー (平成18年度~25年度)

1. シリーズ・日本のグラフィックデザイナー  
亀倉雄策のポスター展 2006.4.25 ~ 6.25
2. つたえる美術2  
見るこども・見られるこども 2006.5.13 ~ 9.3
3. 第1回「名取洋之助写真賞」受賞作品展  
-清水哲朗「路上少年」・伊原美代子「海女」 7.8 ~ 9.3
4. 眩暈の装置 松本俊夫をめぐる  
インターメディアの鉅脈 9.16 ~ 11.26
5. 川崎フロンターレ10周年記念展  
- challenge the future - 12.9 ~ 2007.1.8
6. individuals - 交差する4人 1.23 ~ 2.25
7. 第27回読売国際漫画大賞 受賞作品展 2.18 ~ 4.23
8. オフ・ストライプス / OFF STRIPES:  
縞模様の繊細なる瞬き 4.21 ~ 7.8
9. 「星と宇宙のファンタジー」 7.21 ~ 9.24
10. 映像の現在形2007  
「映像の創出-イメージと装置」,  
「これはこれを撮影するカメラである」,  
「私があなただけを見るようにあなたは私を見る」,  
「シーイング/ヒアリング/スピーキング」,



- 「アイ・アム・(ナット)・シーン」 10.6 ~ 12.24
11. シリーズ写真展：現代写真の母型 2008  
「写真ゲーム - 11人の新たな写真表現の可能性 -」展  
2008.1.26 ~ 3.30
  12. シリーズ・日本のグラフィックデザイナー  
田中一光の華展 2007.10.6 ~ 12.2
  13. 川崎フロンターレ展 2007 One for goal! Goal for one! 12.8 ~ 2008.1.14
  14. 「シリーズ写真展：現代写真の母型 2008」写真ゲーム  
- 11人の新たな写真表現の可能性 - 2008.1.26 ~ 3.30
  15. 「コレクション・ピックアップ」  
学芸員が選ぶ収蔵作品展 4.12 ~ 7.13
  16. 「顔」 7.19 ~ 11.24
  17. 川崎フロンターレ展 2008 With Supporters  
12.7 ~ 2009.1.12
  18. 「戦後の作家たち」 1.20 ~ 4.12
  19. 幕末明治の諸相 - 岡コレクションより - 4.16 ~ 6.28
  20. リトグラフと画家  
- ポスターの印刷技術展 4.16 ~ 6.28
  21. 「熊切圭介写真展 60年代の光と影」 7.2 ~ 10.4
  22. 「女性を撮る」 7.2 ~ 10.4
  23. 「変革の渦 - Graphic Design in 60's - 70's」 7.2 ~ 10.4
  24. 「メディアとアート歪んだ瞬間 - 未来派、構成主義、  
バウハウス、現代作品から探る -」 10.10 ~ 2010.1.17
  25. 「カメラ毎日」の時代平成21年度寄贈資料を中心に 2009.12.1 ~ 2010.4.11
  26. 「岡本かの子 その母性と母性像」 1.21 ~ 4.11
  27. 「シリーズ・日本のグラフィックデザイナー  
グラフィック'55の作家たち」 1.21 ~ 4.11
  28. 木村伊兵衛写真賞 35周年記念展  
第1期 4.17 ~ 6.27  
第2期 7.3 ~ 10.3  
第3期 10.9 ~ 2011.1.16  
第4期 1.22 ~ 4.10
  29. 「マガジカバーの世界展〜ロートレック、ミュシャ、  
ビアズリー〜」展 4.17 ~ 6.27
  30. 詩人 佐藤惣之助 7.3 ~ 10.3
  31. 「漫画収蔵品」展 - 漫画をコレクションし、  
展示するとは? - 7.3 ~ 10.3
  32. 「メディアとアート 明晰な幻」展 10.9 ~ 2011.1.16
  33. 映画美術監督 久保一雄の仕事 1.22 ~ 4.10
  34. 「シリーズ・日本のグラフィックデザイナー  
宇野亜喜良のポスター」展 1.22 ~ 4.10
  35. 岩合光昭どうぶつ写真展  
関連企画「いきもの写真展」 4.16 ~ 6.26
  36. 幕末明治の浮世絵 4.16 ~ 7.3
  37. シリーズ・日本のグラフィックデザイナー  
福田繁雄と川崎市市民ミュージアム 7.9 ~ 10.10
  38. 世界初の写真技法ダゲレオタイプ  
- 修復と表現 - 7.9 ~ 10.10
  39. シリーズ・川崎の美術 川崎の7人 7.9 ~ 10.10
  40. 岡本太郎生誕 100年記念 パパは漫画家  
- 岡本一平とその芸術 - 10.15 ~ 2012.1.9
  41. 岡本太郎生誕 100年記念 岡本家と大貫晶川  
~ 芸術一家のはじまり ~ 10.15 ~ 2012.1.9

42. 中田和昭写真展  
- 工都川崎と昭和のこどもたち - 10.15 ~ 2012.1.9
43. ラク描キセヨークリエイティヴユニット トーチカの軌跡  
2.4 ~ 4.1
44. アール・デコの女性と装飾 2.4 ~ 4.1
45. 19世紀末〜20世紀前半アメリカ漫画資料展  
5.29 ~ 7.29
46. ブラウン管時代のビデオアート〜ネット時代のビデオ  
5.29 ~ 7.29
47. シリーズ川崎の美術  
田中岑 91層の色彩 5.29 ~ 7.29
48. 日活創立 100年記念資料展  
- 煌めきのかなたに 8.4 ~ 12.4
49. 濱谷浩写真展：「こども風土記」「地の貌」  
「American America」を中心に 8.4 ~ 12.4
50. シリーズ・日本のグラフィック・デザイナー：  
中村誠のポスター展 12.4 ~ 2013.3.31
51. いろとかたちの実験：ヨーゼフ・アルバーズ  
『フォーミュレーション：アーティキュレーション』展  
12.4 ~ 2013.3.31
52. 素描とスケッチの愉しみ 12.4 ~ 2013.3.31
53. シリーズ・川崎の美術 響きあうアート 4.6 ~ 6.30
54. カワサキ・ドキュメント 4.6 ~ 6.30
55. 夜が明ける頃 7.6 ~ 9.29
56. 1980年代の大衆文化 10.5 ~ 12.28
57. タベルことになつたこと 2014.1.11 ~ 3.30

#### 特別資料室展示一覧（開館〜平成 18 年度）

1. 川崎のむかし展 1992.7.1 ~ 1993.8.31
2. 石に刻まれた中世 - 収蔵板碑を中心に -  
1993.9.7 ~ 1994.8.31
3. 川崎の民具展 9.27 ~ 1995.8.31
4. 掘り出された川崎 9.3 ~ 1996.9.1
5. かわさき歴史探検 1 - 中原区の巻 - 9.3 ~ 1997.8.31
6. かわさき歴史探検 2 - 多摩区・麻生区の巻 -  
9.9 ~ 1998.2.28
7. かわさき歴史探検 3 - 川崎区・幸区の巻 -  
3.17 ~ 8.30
8. かわさき歴史探検 4 - 高津区・宮前区の巻 -  
9.15 ~ 1999.2.28
9. 新収蔵資料展 3.16 ~ 8.29
10. 丘陵 - 人々とくらし - 9.14 ~ 2000.2.27
11. むかしの川崎 3.14 ~ 9.10
12. 出土品が語る川崎の歴史 9.23 ~ 2001.2.25
13. かわさきの近代 3.13 ~ 9.9
14. ヒトとモノの動き展 9.29 ~ 2002.2.24
15. 収蔵資料展 - 岡コレクション - 3.9 ~ 5.12
16. 特別公開 川崎市重要歴史記念物指定  
古筆手鑑と指定文化財 4.6 ~ 5.12
17. むかしの暮らし モノのうつりかわり 5.28 ~ 9.1

18. 中原街道と中原区の文化財 9.14 ~ 12.15
19. ベリー来航 150年黒船がやって来た！！  
2003.1.5 ~ 4.6
20. 大むかしの川崎 4.27 ~ 8.31
21. なりわいー生産と道具ー 9.13 ~ 11.30
22. 昔の暮らし今の暮らしII 12.13 ~ 2004.4.11
23. 川崎の歴史I「先人の社会と文化」 4.27 ~ 6.6
24. 川崎の歴史II「都市川崎の形成と発展」6.22 ~ 9.20
25. 近世出版文化と在村の知識人 10.2 ~ 12.5
26. あかりの情景展 2005.3.26 ~ 9.25
27. 資料が語る川崎の歴史 10.8 ~ 2006.1.29
28. 新収蔵考古資料展 2.11 ~ 7.2
29. 暮らしをはかるーいろいろな単位ー 7.22 ~ 10.22
30. 昔の暮らし、今の暮らし  
ー道具に見る暮らしのうつり変わり 11.23 ~ 2007.2.18

## 企画上映一覧（映画）

### 昭和 63 年度

1. 映画における川崎の情景 1988.11.1・2
2. 人間賛歌～ミュージアム・フィルムコレクションから  
11.3 ~ 11.13
3. ルネ・クレール巴里好日 11.19・20
4. 美空ひばりと歌謡スターたちの系譜 12.3 ~ 12.18
5. サイレント映画大全 1989.1.7 ~ 2.26
6. 幻想の魔術師  
イジイ・トルンカアニメーションフェア 3.25 ~ 4.5

### 平成元年度

7. イジイ・バルタの映像世界 5.13・14
8. 笑いのフィルモロジー：  
日本映画に見るコメディの系譜 6.17 ~ 8.6
9. アニメあ・ら・かると公開イベント 10.22
10. 独立プロダクションの系譜 9.15 ~ 9.24
11. 企画展「TREND'89」  
併催企画「ロバート・フランク作品上映」
12. ドラマの中の昭和  
ミュージアム・フィルムコレクションから  
1990.2.3 ~ 2.18
13. ディレクターズ・カンパニーの監督たち 3.24 ~ 4.5

### 平成 2 年度

14. 映画における女性のまなざし 4.14 ~ 4.29
15. 監督による告白の女優論 7.7 ~ 7.29
16. ヤン・ペシエックとポーランド芸術の冒険 9.1
17. 8ミリ映画の黄金時代 9.7 ~ 9.19、1991.3.15 ~ 3.17
18. ヤン・シュワンクマイエル映画祭 1990.10.2 ~ 10.14
19. 日本映画のお婆ちゃん／北林谷栄 1991.1.19 ~ 1.27

### 平成 3 年度

20. 御隠居日記／東野英治郎の歩み 6.22 ~ 6.30
21. ATG 映画の 30 年 6.7 ~ 6.23
22. プロデューサー三浦朗の軌跡 10.10 ~ 10.13
23. オーストリア映画 1991 /  
マンズール・マダヴィ特集 11.3 ~ 11.24
24. ノン・フィクションの物語論 1992.1.25 ~ 2.11

### 平成 4 年度

25. 近代映画協会の 40 年 4.4 ~ 4.26
26. ドイツの新しいアニメーション 5.2 ~ 5.31
27. レンフィルム祭 7.4 ~ 8.2
28. もう一つの東宝映画／新東宝の世界 11.21 ~ 11.29
29. 監督・中村登／大船調の冒険 1993.3.6 ~ 3.28

### 平成 5 年度

30. サタジット・レイ映画祭 6.12 ~ 7.4
31. 妖怪映画特集 8.7・8
32. マノエル・デ・オリヴェイラとポルトガル映画の諸相  
11.6 ~ 11.28
33. 狂った太陽の季節／  
日活ルネサンス 1956 - 1971 1994.3.2 ~ 3.30

### 平成 6 年度

34. 英国アニメーション 4.23・24
35. 田名網敬一／記憶のイメージ 6.4・5
36. ハリウッド・ニンフェット／  
メアリー・ピッグフォードとその時代 7.16 ~ 7.31
37. 叙情とシュール／ガロ 30〔映画篇〕 9.23・24
38. まなざしの力／ケン・ローチ回顧展 11.12 ~ 12.4

### 平成 7 年度

39. 映画生誕 100 年記念・映画対談シリーズ 5.14 ~ 9.10
40. デコールの前衛とリアリズム／  
美術監督・久保一雄 7.22 ~ 9.9
41. 戦後ポーランド映画の系譜 10.21 ~ 11.1
42. 残雪プレミア上映 11.23
43. 神代辰巳 1 周忌・エレジー／虚無とざわめき 1996.2.24・25

### 平成 8 年度

44. 岩波映画出身者の監督たち 7.6 ~ 8.4
45. 韓国映画祭～知られざる映画大国～  
第一期戦後の黄金期 10.19 ~ 11.7
46. 青春映画と 70 年代 1997.2.8 ~ 3.16

### 平成 9 年度

47. 中村正義展記念上映
48. 韓国映画祭～知られざる映画大国～  
第二期 新しい波 6.1 ~ 7.5
49. 韓国映画の現在形 7.6 ~ 7.12
50. 怪獣映画祭 7.21 ~ 8.10
51. レトロスペクティブ／

	ジョルジュ・ド・ボールガール	10.18 ~ 11.16	2004.2.7 ~ 2.22
52.	メガホンを持った俳優たち	1998.3.7 ~ 3.22	
<b>平成 10 年度</b>			
53.	10 周年コレクション上映 自由という地平 1 戦後独立プロの多面性	7.4 ~ 7.20	
54.	自由という地平 2 「日本ニュース」とその時代	8.1 ~ 8.16	
55.	自由という地平 3 撮影監督・宮島義勇と独立プロ運動	8.29 ~ 9.13	
56.	自由という地平 4 まなごしの力/ケン・ローチ・レトロスペクティヴ	9.19 ~ 10.11	
57.	かながわ・ゆめ国体公開競技スポーツ芸術 スポーツ映画フェスティバル	10.20 ~ 10.29	
58.	自由という地平 5 撮る者と撮られる者の対話	11.7 ~ 11.22	
59.	自由という地平 6 アラヴィンタン映画展	11.28 ~ 12.20	
60.	キリスト教伝来と日本人	1999.1.15 ~ 2.28	
61.	マノエル・デ・オリヴェイラ映画祭	2.11 ~ 2.20	
62.	チェコ・アニメーションの世界	3.6 ~ 3.21	
<b>平成 11 年度</b>			
63.	「自由」への旅- 1970 年代以降のレンフィルム	5.15 ~ 6.20	
64.	映画における〈沖縄〉	8.7 ~ 9.5	
65.	1970 年代の ATG 映画	11.6 ~ 12.12	
66.	具流八郎の世界	2.5 ~ 2.27	
<b>平成 12 年度</b>			
67.	「今井正」の軌跡- 映画の中の日本	6.3 ~ 7.16	
68.	戦後日本のセル・アニメーション	7.22 ~ 8.20	
69.	記録映画の作劇術	11.18 ~ 12.10	
70.	1980 年代の ATG 映画	2.10 ~ 3.20	
<b>平成 13 年度</b>			
71.	〈映画〉を聴く 真鍋理一郎の映画音楽	7.7 ~ 8.12	
72.	インド芸術映画の巨匠 ゴーヴィンダン・アラヴィンダン映画展	10.13・14	
73.	アルゴプロジェクトの挑戦	2002.2.2 ~ 3.21	
<b>平成 14 年度</b>			
74.	脚本家・井手雅人の仕事	6.22 ~ 8.11	
75.	夢幻礼賛 映画美術監督 木村威夫の世界	11.23 ~ 2003.1.19	
<b>平成 15 年度</b>			
76.	映画ドラえもん大集合	6.21 ~ 7.27	
77.	開館 15 周年記念「映画の中の子どもたち」	11.1 ~ 11.3	
78.	銀幕を彩る女優たち	11.15 ~ 12.14	
79.	アルゴ 2 ニュー・エンタテインメントのゆくえ		
<b>平成 16 年度</b>			
80.	独立プロダクションの映画作家たち I・II 今井正・山本薩夫	4.17 ~ 2005.3.6	
81.	「街角に咲いた芸術」展関連上映パリ、世紀末。	5.1・2	
82.	嵐を呼ぶ! 映画クレヨンしんちゃん祭り	6.26 ~ 7.11	
83.	独立プロダクションの映画作家たち III・IV 勅使河原宏・家城巳代治	9.18 ~ 11.21	
84.	日本のネオ・ホラーフィルム	7.24 ~ 8.8	
85.	「谷岡ヤスジの世界展」関連上映 幻のアニメ 「やっちまえ!!Doit!」復活上映	9.20	
86.	映画を聴く vol.2 録音技師・久保田幸雄 ドキュメンタリーの音、劇映画の音	10.9 ~ 10.31	
87.	新潟中越地震 山古志災害復興支援上映会 「掘るまいか」	11.27・28	
88.	独立プロダクションの映画作家たち V・VI 新藤兼人・吉村公三郎	12.18 ~ 2005.1.16	
89.	CLAMP 映画祭	1.29 ~ 3.12	
90.	独立プロダクションの映画作家たち VII・VIII 大島渚・吉田喜重	2.26 ~ 3.6	
<b>平成 17 年度 (毎週土日および祝祭日に定期上映)</b>			
91.	CLAMP 映画祭再上映	4.10	
92.	シリーズ「魅惑の韓国映画」I 韓国映画のスターたち カン・スヨン	4.16・17	
93.	シネマテーク・コレクション 演じることと演出すること	4.23・24	
94.	「小川美潮ライブ」関連上映 初期の市川準	4.29 ~ 5.1	
95.	シネマテーク・コレクション ヌーヴェル・ヴァーグの先導者岡本喜八と増村保造	5.3 ~ 5.5	
96.	シネマテーク・コレクション ゴーヴィンダン・アラヴィンダン特集	5.7・8	
97.	シネマテーク・コレクション ドキュメントとフィクションの狭間で	5.14・15	
98.	シリーズ「魅惑の韓国映画」II 韓国映画のスターたち アン・ソンギ	5.21・22	
99.	市川雷蔵の「若親分」	5.28 ~ 6.5	
100.	シネマテーク・コレクション 東宝争議の主役たち 1	6.11・12	
101.	シリーズ「魅惑の韓国映画」III 6・25 動乱 (朝鮮戦争) を考える	6.18・19	
102.	デジモン、犬夜叉、名探偵コナン 人気アニメーション大集合	6.25 ~ 7.17	
103.	「ロシア民族学博物館アイヌ資料展」関連上映 アイヌと記録映画作家・姫田忠義	7.18 ~ 8.21	
104.	われらサラリーマン- 東宝のサラリーマン映画	7.18 ~ 9.4	
105.	戦後 60 年特別上映 「平和記念都市ひろしま」	8.6 ~ 8.14	

106. 今村昌平の世界 9.10 ~ 10.2  
 107. 牛山純一と日本映像カルチャーセンター 10.8 ~ 10.10  
 108. シリーズ「魅惑の韓国映画」IV 韓国映画のスターたち イ・ボヒとハ・ミョンジュン 10.15・16  
 109. 江利チエミの「サザエさん」 10.22 ~ 11.3  
 110. レンフィルムの監督たち 11.5 ~ 11.13  
 111. シリーズ「魅惑の韓国映画」V 韓国映画の監督たち ヴェテランたちの活躍 11.19・20  
 112. 「大水木しげる」展関連上映 妖怪たちがやってくる！！ 11.26・27  
 113. シネマテーク・コレクション ジュルジュ・ド・ポールガール：ヌーヴェル・ヴァーグのプロデューサー 12.3 ~ 12.11  
 114. シリーズ「魅惑の韓国映画」VI 韓国映画の監督たち キム・ウンチョン 12.17・18  
 115. シネマテーク・コレクション 今井正の魅力 12.23 ~ 12.25  
 116. シネマテーク・コレクション 東宝争議の主役たち2 山本薩夫 2006.1.7 ~ 1.9  
 117. シリーズ「魅惑の韓国映画」VII 自由と独立を求めて 1.14・15  
 118. 「伴淳三郎」物語 1.21 ~ 1.29  
 119. 関川秀雄の世界 2.4 ~ 2.12  
 120. シリーズ「魅惑の韓国映画」VIII 韓国映画の監督たち イム・グォンテクとペ・チャンホ 2.18・19  
 121. シネマテーク・コレクション 独立プロダクションの映画作家たち 舞台演出家、脚本家の視線 2.25・26  
 122. シネマテーク・コレクション につぼん風土記 3.4 ~ 3.12  
 123. シリーズ「魅惑の韓国映画」IX 韓国映画の監督たち 21世紀への胎動 3.18・19  
 124. シネマテーク・コレクション 東宝争議の主役たち3 撮影監督・宮島義勇 3.21 ~ 3.26

## 平成 18 年度

125. 藤純子－任侠の華  
 126. シリーズ「魅惑の韓国映画」X 王朝時代の女性たち  
 127. 高林陽一の京都  
 128. 赤木圭一郎利那の輝き、永遠(とわ)の伝説。  
 129. 土本典昭の水俣  
 130. シリーズ「魅惑の韓国映画」XI 結婚の行方  
 131. 寺山修司非日常のすすめ  
 132. 「弥生・古墳・飛鳥を考える」展関連上映  
 133. 熊井啓黒い霧の正体に迫る  
 134. シリーズ「魅惑の韓国映画」XII 現代家族考  
 135. 仮面ライダーとスーパー戦隊シリーズ  
 136. 円谷英二と空想科学映画の世界  
 137. シネマテーク・コレクション 戦争がもたらしたものは何か

138. シネマテーク・コレクション 小川紳介、三里塚から牧野村へ。  
 139. 昼下りのメロドラマ  
 140. シネマテーク・コレクション 松本俊夫：「映像」の変革  
 141. シンポジウム「50 - 60年代の芸術状況と松本俊夫」 松本俊夫+湯浅譲二（音楽家）  
 142. 対談「松本俊夫の実験映画を巡って」 松本俊夫+西村智弘（美術評論家・映像作家）  
 143. 対談「アヴァンギャルディスムの未来」 松本俊夫+西嶋憲生（映像研究者）  
 144. 現代ドキュメンタリー映画の潮流  
 145. シリーズ「魅惑の韓国映画」XIII 現代社会考男の場合、女の場合  
 146. 「横山光輝の世界」展関連上映  
 147. インディペンデント映画の挑戦  
 148. かわさきデジタルショートフィルムフェスティバル  
 149. シリーズ「魅惑の韓国映画」XIV 1970年代セレクション  
 150. シネマテーク・コレクション 独立プロダクションの映画作家たち  
 151. シネマテーク・コレクション 柳町光男と橋浦方人  
 152. オムニバス映画の魅力  
 153. フランキー堺の『与太郎戦記』  
 154. 東南アジアの風 福岡市総合図書館 フィルム・アーカイヴ・コレクションから  
 155. シリーズ「魅惑の韓国映画」XV 1990年代セレクション  
 156. 加東大介の『大番』  
 157. シネマテーク・コレクション 山本薩夫の仕事

## 平成 19 年度

158. シネマテーク・コレクション 勅使河原宏の仕事  
 159. シネマテーク・コレクション レンフィルム・コレクション  
 160. 大森一樹と“アイドル”映画  
 161. ハナ肇と山田洋次  
 162. 「昭和ブギウギ 1945 - 64」展関連上映スターの時代  
 163. シネマテーク・コレクション 小川紳介、三里塚への道。  
 164. 梶芽衣子の「さそり」  
 165. 人情派バンザイ！ 映画監督・久松静児  
 166. 没後10年・勝新太郎と「兵隊やくざ」の世界  
 167. 「OFF STRIPES 縞模様の繊細なる瞬き」展 関連上映 しましまえいが  
 168. シネマテーク・コレクション 記録映画作家・姫田忠義  
 169. 小林旭の銀座旋風児  
 170. 「安彦良和原画展」関連上映 伝説の勇者たち綺羅星のごとく  
 171. シネマテーク・コレクション



インディペンデントというスタイル

172. 大映京都の怪談
173. 川崎ゆかりの映画人たち・坂本九の巻
174. 「星と宇宙のファンタジー」展関連上映
175. キャメラマンは国境を越える永田鉄男と栗田豊通
176. 国際合作の可能性
177. 今東光のと“河内”の世界
178. シネマテーク・コレクション  
独立プロダクションの映画作家たち
179. シネマテーク・コレクション  
これが女の生きる道！- A T Gの軌跡-
180. 「産業都市・カワサキのあゆみ 100 年  
-進化しつづけるモノづくりの街-」展関連上映
181. シネマテーク・コレクション 今井正と家城巳代治
182. 映像の現在形 2007「映像の創出イメージと装置」展  
関連上映 飯村隆彦の世界
183. 田宮次郎のアクション映画
184. “一番星”と“やもめのジョナサン”  
『トラック野郎』の世界
185. シネマテーク・コレクション 記録映画選集
186. “必殺”の世界
187. 五味川純平と「人間の條件」
188. 高橋英樹剣客と俠客
189. シネマテーク・コレクション ジョルジュ・ド・ボー  
ルガール：ヌーヴェル・ヴァーグとプロデューサー
190. 映画監督谷口千吉
191. 亀井文夫の戦後
192. 「少女マンガパワー！」展関連上映
193. 春休みはポケモン！

## 平成 20 年度

194. シネマテーク・コレクション  
小説の快楽、映画の愉楽
195. 艶姿七変化特集・長谷川一夫
196. 「オキナワ／カワサキ」展関連上映  
太陽の国オキナワ
197. シネマテーク・コレクション  
アンチ・ヒロイズムー敗者の美学ー
198. 特集石原裕次郎
199. 幼子の祈りーかつて子供だったおとなたちのために
200. 一投一打のドラマ野球映画特集
201. 「くらしと着物」展関連上映  
所作ごと麗し、きものの粋
202. メタモルフォーゼ変身する人間
203. ふるさとのくらし記録映画
204. 記憶と祈り映画のなかの“公害”
205. 「ジャパン ブラジルクリエイティブアートセッション」  
関連上映 ブラジル映画特集
206. Lupin the Movie カワサキより愛をこめて
207. ロシア映画特集 アラノヴィッチとソクーロフ
208. 「ともに生きる」展関連上映
209. 特集・新藤兼人

210. 脚本家荒井晴彦
211. 風刺と諧謔コメディの地平
212. 「てなもんや」シリーズと「沓掛時次郎」
213. 粟津潔展関連上映「知りすぎていた男粟津潔」
214. 戦後の作家展関連上映映画監督・大島渚
215. SLC ファクトリーアニメーション・ワークショップ
216. 無垢なる詩人 G. アラヴィンダン
217. 生誕百年記念松本清張第一弾
218. 「昔のくらし今のくらし」展関連上映

## 平成 21 年度

219. 特集上映今井正
220. 「幕末・明治期の川崎とニッポン」展関連上映
221. 生誕 100 年記念松本清張第 2 弾
222. 特集上映オタル・イオセリアーニ
223. 生誕 100 年記念松本清張特集第 3 弾
224. 郷土を知るー川崎の伝統と行事ー
225. 元祖・クールビューティ！江波杏子の「女賭博師」
226. 「サンデー・マガジンの DNA」展関連上映  
タイムスリップ僕らの時代
227. 山本薩夫監督特集演出のダイナミズム
228. シネマテーク・コレクション 家族へのまなざし
229. わが街・昭和の風景
230. シネマテーク・コレクション  
映画監督・神山征二郎
231. ドキュメンタリー選集
232. 川崎ゆかりの映画人たち  
実相寺昭雄の巻大回顧展プレ・イベント
233. シネマテーク・コレクション  
アルゴプロジェクト 20 年目の傑作選
234. 特別上映長篇記録映画『セレベス』
235. 映画監督・岡本喜八、戦争を“啜う”
236. 第 64 回毎日映画コンクール表彰式川崎開催記念  
ドキュメンタリー映画賞特集
237. シネマテーク・コレクション  
レンフィルムへの誘い
238. インディペンデントというカタチ
239. 映画監督・家城巳代治の流儀
240. スピンオフ映画のプロトタイプ  
熊虎親分とピラニア軍団

## 平成 22 年度

241. シネマテーク・コレクション  
アラヴィンダン悲哀とユーモアのなかで
242. シネマテーク・コレクション  
勅使河原宏リアルに向こう側
243. 吉村公三郎 名匠が捉えた男の魅力
244. 超・サラリーマン東映編
245. シネマテーク・コレクション 54 年目の水俣病事件
246. 映画監督・熊井啓の視座
247. シネマテーク・コレクション  
三島由紀夫と立松和平



- 248. シネマテーク・コレクション 記録を超えて
- 249. 泉鏡花悲恋の系図
- 250. 川崎ゆかりの映画人たち 女優・川崎弘子
- 251. シネマテーク・コレクション  
自主制作のシルエット
- 252. シネマテーク・ドキュメンタリー・セレクション  
4つの視線
- 253. シネマテーク・コレクション  
思想の自由を求めて 今井正と中尾駿一郎
- 254. ザッツ・ジャパニーズ・ホラー  
山本迪夫監督作品から
- 255. シネマテーク・コレクション  
思想の自由を求めて新藤兼人と黒田清己
- 256. アンコール上映長篇記録映画「セレバス」
- 257. シネマテーク・コレクション 1980年代の息吹
- 258. 「詩人佐藤惣之助」展関連上映  
昭和歌謡のヒット・メーカー佐藤惣之助
- 259. 蘇る登戸研究所
- 260. シネマテーク・コレクション  
記録映画作家・姫田忠義「日本文化のふるさと」
- 261. シネマテーク・コレクション 山内久の“若者たち”
- 262. 生誕100年映画監督・山本薩夫
- 263. 1980年代のレンフィルム
- 264. 「アイヌー美を求める心」展関連上映  
記録映画作家・姫田忠義「アイヌの暮らし」
- 265. シネマテーク・コレクション 映画音楽〈武満徹〉
- 266. 有吉佐和子百花繚乱
- 267. クロード・シャブロール追悼  
プロデューサー ジョルジュ・ド・ボールガール
- 268. 追悼上映 人形アニメーション作家 川本喜八郎
- 269. シネマテーク・コレクション ATG 特集  
第1弾－ニッポンの最も熱い日々－
- 270. 特集上映 脚本家馬場当
- 271. 新春特集向田邦子と久世光彦
- 272. シネマテーク・コレクション ATG 特集  
第2弾「変貌の時代」
- 273. 「映画美術監督久保一雄の仕事」展関連上映
- 274. 毎日映画コンクール表彰式川崎開催記念  
過去受賞作品アンコール上映  
「歴代受賞作品特集（1970年代）」
- 275. シネマテーク・コレクション 映画監督中川信男
- 276. シネマテーク・コレクション  
パペット・アニメーション！
- 277. 日本映画大学設立記念 日本映画学校卒業生作品  
選

### 平成 23 年度

- 278. シネマテーク・コレクション青春の物語
- 279. インドの映像詩人G・アラヴィンダン
- 280. 司馬遼太郎 vs 吉川英治
- 281. アニメーション 特集東映動画
- 282. シネマテーク・コレクション 石井隆特集

- 283. シネマテーク・コレクション  
ドキュメンタリー傑作選 vol.1
- 284. 映像の魔術師フェデリコ・フェリーニ
- 285. シネマテーク・コレクション  
レン・フィルムの輝き
- 286. シネマテーク・コレクション  
カメラの前と後ろで
- 287. 太郎の愛した映画たち
- 288. 特集上映 奇才・実相寺昭雄
- 289. 日活創立100年記念イベント  
特集・日活サスペンス&「事件記者」
- 290. 川崎の祭りと日本の伝統文化
- 291. シネマテーク・コレクション ATG の挑戦
- 292. 親子上映会 第1部 シネマテーク・コレクション
- 293. 親子上映会  
第2部 CON - CAN MOVIE FESTIVAL 提供  
ショートムービー傑作選
- 294. 育児とクリエイティビティ
- 295. 坂本九生誕70年記念 映画の中の九ちゃん
- 296. 川崎の物語
- 297. 川崎ゆかりの映画人 今村昌平
- 298. 新春特集 お正月映画
- 299. 「昔のくらし 今のくらし」展関連上映  
日本のおばあちゃん
- 300. ロシア映画特集  
カネフスキー3部作+レンフィルム
- 301. 毎日映画コンクール表彰式川崎開催記念  
過去受賞作品アンコール上映「歴代受賞作品特集」
- 302. 「キカイ デミルコト  
－日本のビデオアートの先駆者たち－」
- 303. シネマテーク・プロジェクト  
第4弾 フレデリック・ワイズマン選集
- 304. 活動弁士の語りによる無声映画鑑賞会

### 平成 24 年度

- 305. 生誕100年・新藤兼人
- 306. いのちということ
- 307. シネマテーク・コレクション  
G. アラヴィンダン特集
- 308. 「郷土・川崎を掘る」展関連イベント 16ミリ上映会
- 309. アニメーション特集  
川崎市市民ミュージアム×CALF
- 310. 美術館名品展 関連上映
- 311. プロモーション特別上映  
「父をめぐる旅－異才の日本画家 中村正義の生涯」
- 312. 日活100周年記念上映 日活アクションの世界
- 313. 脚本家・田村孟
- 314. 『ベイビーズ』上映会
- 315. サッカー映画上映会
- 316. 坂本九顕彰事業 九ちゃんの夢
- 317. 毎日映画コンクール表彰式開催記念  
過去受賞作品アンコール上映「歴代受賞作品特集」

- 318. 「与勇輝展－物語のなかに－」 関連上映
- 319. 「昔のくらし今のくらし 2013」 関連上映
- 320. ポルトガル映画界の新鋭

## 平成 25 年度

- 321. シネマテーク・コレクション 戦後の風景
- 322. 生誕 100 年・森繁久彌
- 323. 追悼特集 大島渚のドキュメンタリー
- 324. シネマテーク・コレクション  
境界を越える ATG 映画
- 325. 親子上映会－「かぞく」そして「いのち」を想う－
- 326. 夏休みアニメ祭り edge of the animation  
実写とアニメの境界を
- 327. 夏休みアニメ祭り
- 328. 「－アニメ化 40 周年－ ルパン三世展」 関連上映
- 329. シネマテーク・コレクション  
アルゴの仕事～ 90 年代、独立プロの行方～
- 330. 洋画特集－憧憬の欧州－
- 331. 「1980 年代の大衆文化」 関連上映 back to 1988
- 332. 開館 25 周年記念フェスティバル  
「～食とアートと音楽と」 関連上映
- 333. 「カワサキ・シティ 日本を牽引する街」 関連上映
- 334. 脚色術－原作と脚本の関係
- 335. 追悼 小説家・山崎豊子
- 336. 蘇ったフィルムたち～  
東京国立近代美術館フィルムセンター復元作品特集
- 337. 毎日映画コンクール表彰式川崎開催記念  
過去受賞作品アンコール上映「歴代受賞作品特集」
- 338. 「タベルことにまつわること」、「昔のくらし  
今のくらし 2014」 関連上映 タベルこと、イキルこと

# 平成 26 年度 市民ミュージアム 利用者統計表

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
常設展		-	-	6,435	7,815	9,260	9,635	10,189	11,130	8,693	7,122	-	4,614	74,893
企画展	有料	-	-	287	1,059	1,356	1,771	916	877	2,154	2,768	-	0	11,188
	無料	-	-	1,185	1,837	1,413	2,996	2,738	6,156	2,777	3,352	-	0	22,454
映像ホール	有料	-	-	278	508	278	273	247	1,135	113	147	-	52	3,031
	無料	-	-	175	225	182	322	453	488	306	161	-	63	2,375
ミニホール		-	-	112	11	126	99	117	16	83	1	-	37	602
館内イベント・講座等		-	-	313	431	315	445	301	857	651	1,439	-	98	4,850
ミュージアムライブラリー（映像）		-	-	217	285	422	294	349	266	210	62	-	104	2,209
ミュージアムライブラリー（図書）		-	-	529	753	858	664	643	549	469	223	-	296	4,984
研修室等利用者		-	-	93	212	172	87	81	259	27	28	-	0	959
ミュージアムギャラリー1		-	-	755	0	0	857	0	627	523	712	-	0	3,474
ミュージアムギャラリー2		-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0
館外展示入館・出張プログラム等		1,059	91	0	135	0	29	34	148	74	543	803	19	2,935
合計		1,059	91	10,379	13,271	14,382	17,472	16,068	22,508	16,080	16,558	803	5,283	133,954
利用者累計			1,150	11,529	24,800	39,182	56,654	72,722	95,230	111,310	127,868	128,671	133,954	
開館日数		0	0	24	27	27	24	27	26	23	8	0	13	199
1日平均利用者数		-	-	432	492	533	728	595	866	699	2,070	-	406	673

## 展示室別内訳

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
企画展示室1	有料	-	-	119	856	1,095	1,508	457	739	2,154	2,768	-	0	9,696
	一般			103	680	915	1,195	303	490	1,543	2,062		0	7,291
	シニア			10	105	82	171	124	189	96	84		0	861
	高校・大学生			5	33	84	129	27	57	53	48		0	436
	小人			0	0	0	0	0	0	379	493		0	872
	その他			0	0	0	0	0	0	0	0		0	0
	一般（団体）			1	13	14	9	3	3	73	68		0	184
	シニア（団体）			0	25	0	3	0	0	3	2		0	33
	高・大生（団体）			0	0	0	1	0	0	0	3		0	4
	その他（団体）			0	0	0	0	0	0	7	8		0	15
	無料	-	-	787	543	823	1,638	429	449	1,791	1,993	-	0	8,453
	招待券			17	201	260	381	133	281	267	366		0	1,906
	障がい者等			7	113	76	87	62	60	269	236		0	910
	友の会			0	8	9	12	3	9	4	4		0	49
	小・幼児			3	181	440	1,145	188	68	1,173	1,378		0	4,576
	取材			3	5	5	0	3	0	20	0		0	36
その他			757	35	33	13	40	31	58	9		0	976	
企画展示室2	有料	-	-	168	203	261	263	459	138	0	0	-	0	1,492
	一般			68	109	112	145	242	76	0	0		0	752
	シニア			53	85	59	80	172	33	0	0		0	482
	高校・大学生			5	7	10	20	18	14	0	0		0	74
	小人			1	0	0	0	0	0	0	0		0	1
	その他			0	0	0	0	0	0	0	0		0	0
	一般（団体）			7	0	5	15	27	14	0	0		0	68
	シニア（団体）			34	2	75	1	0	1	0	0		0	113
	高・大生（団体）			0	0	0	2	0	0	0	0		0	2
	その他（団体）			0	0	0	0	0	0	0	0		0	0
	無料	-	-	398	1,294	590	1,358	2,309	5,707	986	1,359	-	0	14,001
	招待券			186	168	191	211	281	100	0	0		0	1,137
	障がい者等			34	63	55	46	49	9	0	0		0	256
	友の会			10	13	5	17	2	2	0	0		0	49
	小・幼児			54	1,005	322	1,058	1,947	2,562	56	0		0	7,004
	取材			13	1	5	5	0	0	0	0		0	24
その他			101	44	12	21	30	3,034	930	1,359		0	5,531	
映像ホール	有料	-	-	278	508	278	273	247	1,135	113	147	-	52	3,031
	一般			159	224	173	140	139	399	78	56		35	1,403
	優待割引			0	1	4	2	0	0	0	0		0	7
	学生			15	9	11	9	1	20	12	21		0	98
	シニア			58	140	44	56	48	358	21	27		4	756
	小中学生			1	0	11	3	0	2	0	0		8	25
	友の会			5	10	3	9	2	26	2	6		0	63
	スカラチケット			40	124	32	54	57	330	0	37		5	679
	無料	-	-	175	225	182	322	453	488	306	161	-	63	2,375
	招待券			0	0	1	0	0	0	0	0		0	1
障がい者等			65	161	85	69	41	241	50	38		20	770	
幼児			0	0	27	1	0	0	0	0		29	57	
モニター			110	64	69	252	412	247	256	123		14	1,547	

# 平成 26 年度歳出予算

単位：千円

事業名等		予算	備考
市民ミュージアム予算合計		789,207	
市民ミュージアム運営管理事業費		421,203	
市民ミュージアム非常勤職員経費		22,598	
01	報酬	17,141	非常勤職員報酬
04	共済費	5,417	非常勤職員共済費
09	旅費	40	
市民ミュージアム運営管理事業費		346,364	
04	共済費	406	
07	賃金	3,562	臨時職員賃金
08	報償費	378	収集委員・評価委員等謝礼
11	需用費	48,662	光熱水費・消耗品・印刷製本費等
		(35,686)	電気料・水道料
12	役務費	1,522	電話料・郵便料等
13	委託料	283,246	総合管理委託・学芸業務委託等
		(170,456)	学芸業務委託
		(103,016)	総合管理委託
14	使用料及び賃借料	428	事務機器・賃借料等
16	原材料費	39	塗料等
18	備品購入費	7,874	資料作品購入・研究用図書購入等
		(7,000)	資料作品購入
19	負担金補助及び交付金	247	博物館協会会費等
市民ミュージアム運営管理事業費（アドバイス業務分）		983	
05	謝礼金	133	
13	委託料	850	
市民ミュージアム企画広報事業費		36,194	
08	報償費	750	
11	需用費	1,990	
12	役務費	5,994	
13	委託料	27,290	広報物作成等
14	使用料及び賃借料	170	
市民ミュージアム教育普及事業費		15,064	
08	報償費	1,520	
11	需用費	832	
12	役務費	43	
13	委託料	12,655	
		(10,537)	社会科教育推進事業費
14	使用料及び賃借料	14	
市民ミュージアム運営協議会経費		242	
市民ミュージアム運営協議会経費		242	
01	報酬	242	委員報酬
市民ミュージアム施設整備事業費		367,762	
市民ミュージアム施設整備事業費		367,762	
13	委託料	12,762	
15	工事請負費	355,000	空調設備改修

( ) は内数

## 川崎市市民ミュージアム協議会

### 1. 設置主旨

川崎市市民ミュージアムの円滑な運営を図るため、専門家や学校教育・社会教育機関の代表、公募による一般市民が委員になり、館長の諮問に応じ、運営に関する意見を述べる。

※根拠条例 川崎市市民ミュージアム条例第21条

### 2. 委員構成

学校教育関係 2名

社会教育関係 1名

市民 2名

学識経験者 4名

### 3. 開催経過

#### ○第1回川崎市市民ミュージアム協議会

日時 平成26年7月29日

場所 川崎市市民ミュージアム会議室

議事 平成26年度事業計画について  
市民ミュージアム評価について  
評価対象事業について

#### ○第2回川崎市市民ミュージアム協議会

日時 平成26年12月9日

場所 川崎市市民ミュージアム会議室

議事 平成26年度実施済み事業について  
市民ミュージアム評価について  
評価対象事業について

#### ○第3回川崎市市民ミュージアム協議会

日時 平成27年3月18日

場所 川崎市市民ミュージアム会議室

議事 平成26年度第2回までの実施済み事業について  
市民ミュージアム評価について  
平成27年度事業について

## 川崎市市民ミュージアム資料等収集委員会

### 1. 設置趣旨

川崎市市民ミュージアムにおいて資料及び作品の適正かつ公正な収集を図るため、学識経験者をもって審議する。

### 2. 委員構成

平成25年9月より、開催の都度、審議が必要な収集予定資料に応じた専門的知識を有する人材を複数人委員として委嘱することで、複数の専門家の意見を踏まえた収集資料の審議を行う。

### 3. 開催経過

平成26年度の会議の開催はありません。



## 川崎市市民ミュージアム資料等評価委員

### 1. 設置趣旨

川崎市市民ミュージアムが収集し、及び寄贈又は寄託を受けようとする資料及び作品の適正かつ公正な収集を図るため、収集を予定している資料等の真贋の鑑定及び購入価格の評価等を行う。

### 2. 開催

26年度の開催はありません。

## かわさき市美術展運営委員会

### 1. 設置趣旨

かわさき市美術展の開催にあたり、専門的な知識や視点に基づき、市民ミュージアムの文化芸術の向上及び円滑な事業の運営を目的に設置する。

### 2. 委員構成

美術作家または美術評論家	(2名)
学識経験者	(3名)
川崎市文化団体関係者	(1名)

### 3. 開催

#### ○第48回かわさき市美術展第1回運営委員会

日 時：5月19日

会 場：川崎市市民ミュージアム研修室3

議 題：第48回かわさき市美術展募集内容  
について  
審査委員について

#### ○第48回かわさき市美術展第2回運営委員会

日 時：平成27年1月11日

会 場：川崎市市民ミュージアム研修室3

議 題：第48回かわさき市美術展審査結果報告  
について  
表彰式について

#### ○第48回かわさき市美術展第3回運営委員会

日 時：平成27年3月17日

会 場：川崎市市民ミュージアム研修室3

議 題：第48回かわさき市美術展実施報告  
について  
第49回かわさき市美術展にむけて

## 施設概要

敷地面積	25,358㎡
建築面積	8,386㎡
延床面積	19,542㎡
常設展示室	2,551㎡
博物館展示室	1,491㎡
アートギャラリー	1,060㎡
企画展示室	1,334㎡
企画展示室 1	597㎡
企画展示室 2	590㎡
ミュージアムギャラリー1・2	147㎡ (82㎡ + 65㎡)
逍遥展示空間	747㎡
映像ホール	342㎡ 266席
ミニホール	57㎡ 40名
(椅子席・ビデオのみ)	
研修室 1	70㎡ 24名
(机・椅子固定)	
研修室 2	60㎡ 30名
研修室 3	56㎡ 36名
収蔵庫	2,433㎡ (9室、前室を含む)
その他	12,083㎡
ミュージアムショップ	40㎡
ラウンジ	62席
身障者設備	
トイレ	5ヶ所
車いす	4台
乳幼児設備	
ベビーベッド	2台
授乳室	1室
ベビーカー	3台

## 設計

建築設計者 (株)計画連合 (担当 菊竹 清訓)  
 展示設計者 (株)トータルメディア開発研究所

## 当時の総工費

建築工事費 88億円  
 展示工事 23億円  
 資料収集 21億円  
 運営費 10億円  
 合計で約 150億円

## 収蔵品

平成 26 年度分  
 購入作品・資料 0点

寄 贈 423点  
 寄 託 57点 (継続を含む)

総点数 約 213,070点 (平成 27 年 3 月 31 日)

考 古 約 72,000点  
 歴 史 約 29,200点  
 民 俗 約 12,800点  
 美術文芸 約 10,070点  
 グラフィック 約 8,600点  
 写 真 約 20,200点  
 漫 画 約 36,000点  
 映 画 約 12,200点  
 ビデオ 約 12,000点

## 指定文化財

神奈川県指定 1件

鰐口 1口

川崎市指定 21件

紙本墨画淡彩仙女図 2幅

青銅製鰐口 1口

古筆手鑑「披香殿」 1帖

後北条氏の虎の印判状 (永禄元年) 1通

後北条氏の虎の印判状 (天正 7 年) 1通

後北条氏の虎の印判状 (天正 15 年) 1通

関東下知状 附 極札 1枚 1通

板碑 1基

有馬古墓群後谷戸グループ古墓出土火葬骨蔵器

附 坏 19箇 3組3箇

有馬古墓群台坂上グループ古墓出土火葬骨蔵器

附 簪状骨製品 1本3組7箇

生田古墓群生田 8601 番地古墓出土火葬骨蔵器

附 鹿角製刀子柄 1本 2組4箇

生田古墓群鴛鴦沼古墓出土火葬骨蔵器

附 鉄板状製品 1枚1組2箇

菅生古墓群長沢 1822 番地古墓出土火葬骨蔵器 2組4箇

野川古墓群野川南耕地A地点古墓出土火葬骨蔵器

附 鉄板状製品 1枚 鉄釘 13本 1組2箇

稗原古墓群A地点古墓出土火葬骨蔵器

附 和銅開寶 1枚 1組2箇

无射志国荏原評銘文字瓦 1点

万福寺遺跡群縄文時代草創期出土品 一括

宿河原縄文時代低地遺跡出土品 一括

下原遺跡縄文時代後・晩期出土品 一括

梶ヶ谷神明社上遺跡出土品 一括

獅子頭 3頭

大師河原の漁撈具 一括

## 職 員

(平成 26 年 4 月から平成 27 年 3 月まで)

### 川崎市市民・子ども局

#### 川崎市市民ミュージアム

館 長	土谷 憲司
副館長	大野 秀人
担当課長	柿崎 祐一
担当課長	馬場 良幸
課長補佐	河野 正伸
課長補佐	小松 史尚
担当係長	朝倉 千亜希
担当係長	御簾納 誠
職 員	岩村 史紀
職 員	穴戸 望
	内海 美佳 (嘱託)
	河合 洋介 (嘱託)
	後藤 愛美 (嘱託)
	澤口 恭子 (嘱託)
	菅井 薫 (嘱託)
	鈴木 恵梨子 (嘱託)
	武田 智子 (嘱託)
	田代 香里 (嘱託・11 月から)
	宮尾 美奈子 (嘱託・10 月まで)

### 公益財団法人川崎市生涯学習財団

学芸室長	望月 一樹
学芸総務課長	中田 秀逸
課長補佐	深川 雅文
主 査	高橋 典子
主 査	濱崎 好治
主 任	林 司
	新井 悟
	岩槻 歩 (27 年 1 月まで)
	平井 直子
	阿部 久瑠美 (嘱託・4 月まで)
	大西 舞 (嘱託)
	喜安 嶺 (嘱託)
	佐藤 美子 (嘱託)
	佐藤 友理 (嘱託)
	矢嶋 翔 (嘱託・5 月から)
	吉村 麗 (嘱託・5 月から)
	平林 悠紀子 (嘱託)
	山田 渉 (嘱託・5 月から)
	加藤 晴美 (嘱託)

平成 26 年度  
川崎市市民ミュージアム年報  
2014 年 4 月～2015 年 3 月

平成 27 年 5 月発行  
編集・発行／川崎市市民ミュージアム  
川崎市中原区等々力 1-2  
電話 044-754-4500  
印刷／株式会社ホクシン



KAWASAKI  
CITY  
MUSEUM